

**和歌山県高齢者等生活意識調査
(高齢者一般調査)**

報 告 書

令和2年3月

**和歌山県 福祉保健部
福祉保健政策局 長寿社会課**

〈 目 次 〉

1. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 回収状況	1
2. 高齢者一般調査の結果	3
(1) 回答者	3
(2) 回答者の属性	4
(3) 仕事や収入について	9
(4) 近所づきあい、外出の状況などについて	10
(5) 買い物などの日常生活について	14
(6) 通院状況などについて	22
(7) 健康について	24
(8) 普段の暮らしぶりについて	29
(9) 今後の住宅での暮らし、住み替えなどについて	30
(10) 自宅での看取りの考え方などについて	35
(11) 高齢者の生活支援や介護の仕事について	39
(12) 介護保険制度などについて	44
(13) 認知症について	48
(14) 自由意見	50
3. 調査間の比較	52
(1) 回答者の属性	52
(2) 日常生活について	54
(3) 医療等の状況について	57
(4) 健康について	58
(5) 住まい、住み替えなどについて	60
(6) 看取りなどについて	62
(7) 高齢者の生活支援や介護の仕事について	64
(8) 介護保険制度について	66
(9) 認知症について	68
参考資料：アンケート調査票	70

1 調査の概要

(1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収しました。

高齢者一般調査	令和元年10月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人	合計3,000人を抽出
要支援・要介護者調査	令和元年10月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人	合計2,000人を抽出
第2号被保険者調査	令和元年10月1日現在、県内在住の40～64歳の人	合計2,000人を抽出

(2) 回収状況

調査票の回収状況は以下の通りです。

	高齢者一般調査	要支援・要介護者調査	第2号被保険者調査
配布・発送数	3,000	2,000	2,000
配布実数※	2,985	1,988	1,992
回収数	1,868	950	904
回収率	62.6%	47.8%	45.4%

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**高齢者一般調査**について報告するものです。

(調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、平成27年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数（回答者数）は図表中に「N=」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率（%）です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

- ◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の категорияに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

都市地域	都市地域以外
和歌山市	田辺市（旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町）
海南市	新宮市（旧熊野川町）
橋本市	紀の川市（旧粉河町・那賀町・桃山町）
有田市	紀美野町
御坊市	かつらぎ町
田辺市（旧田辺市）	九度山町
新宮市（旧新宮市）	高野町
紀の川市（旧打田町・貴志川町）	湯浅町
岩出市	広川町
	有田川町
	美浜町
	日高町
	由良町
	印南町
	みなべ町
	日高川町
	白浜町
	上富田町
	すさみ町
	那智勝浦町
	太地町
	古座川町
	北山村
	串本町

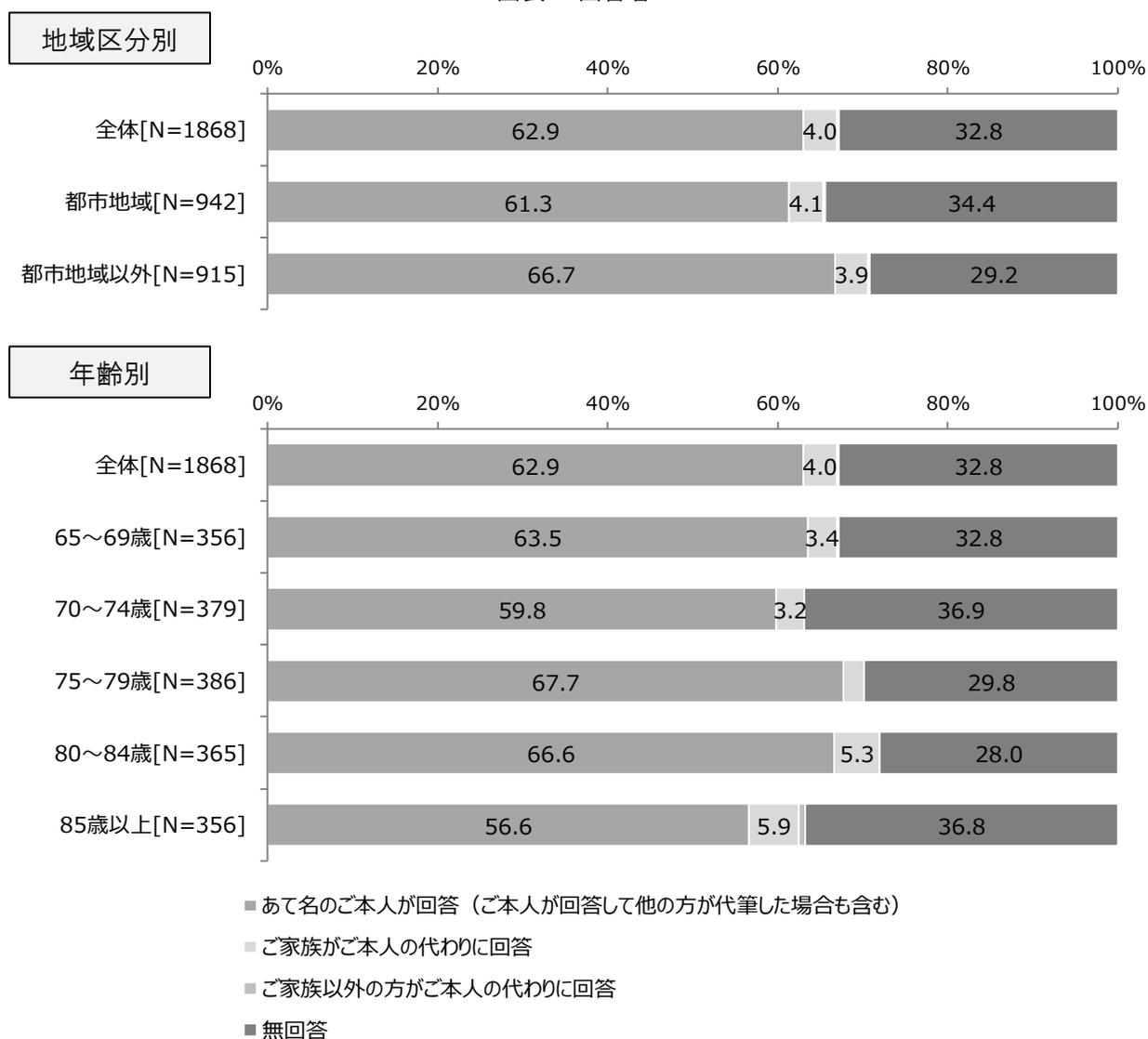
2 高齢者一般調査の結果

(1) 回答者

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が62.9%となっています。

図表 1 回答者



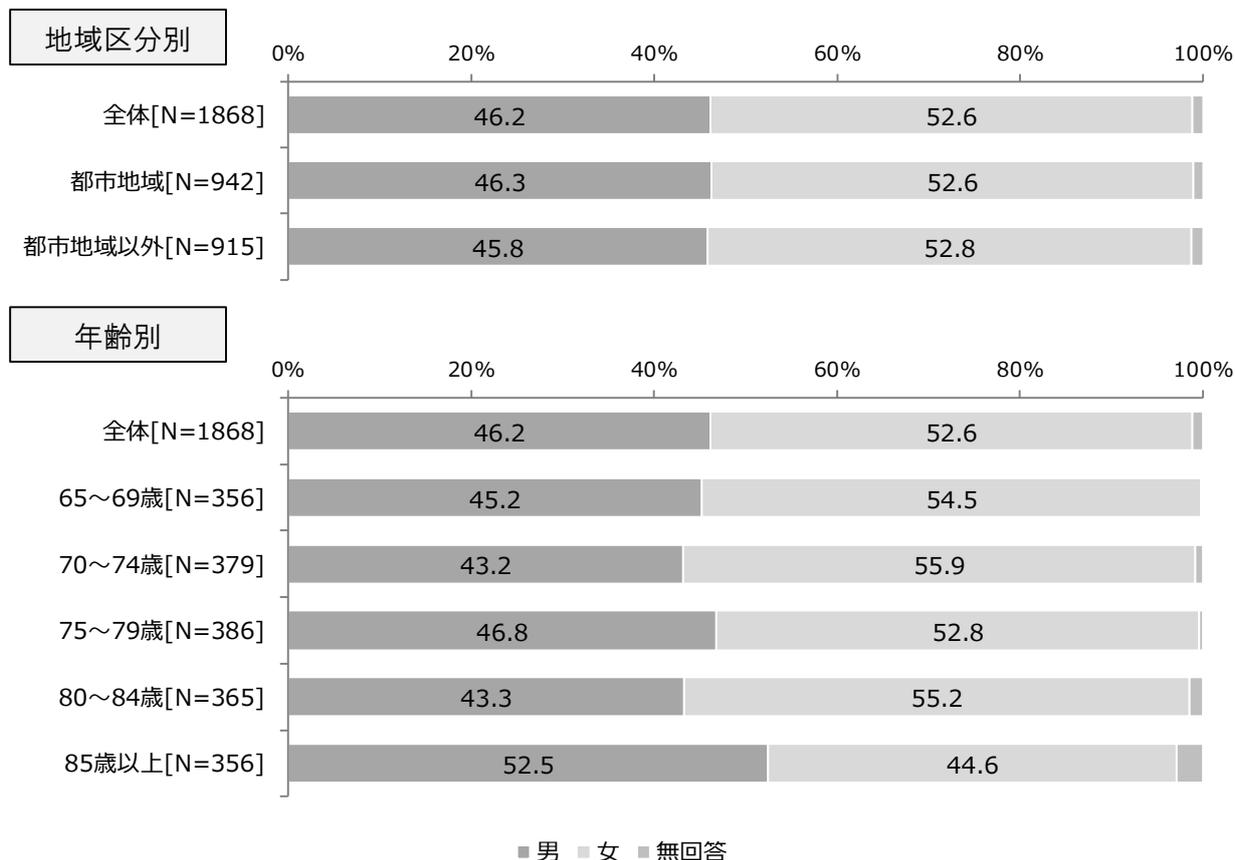
(2) 回答者の属性

①性別

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

回答者の性別は、「女」が52.6%、「男」が46.2%となっています。

図表 2 性別



②年齢区分

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

年齢区分は、「75～79歳」が21.2%、「70～74歳」が20.5%、「80～84歳」が19.7%、「65～69歳」が19.3%、「85～89歳」が18.7%となっています。

図表 3 年齢区分



③居住市町村

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

居住市町村については、以下の通りとなっています。

図表 4 居住市町村

全体[N=1868]		
和歌山市	35.8	広川町 0.8
海南市	5.9	有田川町 2.8
橋本市	6.2	美浜町 0.8
有田市	3.0	日高町 0.8
御坊市	2.4	由良町 0.7
田辺市 (旧田辺市)	6.2	印南町 0.9
田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	1.6	みなべ町 1.3
新宮市 (旧新宮市)	3.2	日高川町 1.1
新宮市 (旧熊野川町)	0.2	白浜町 2.7
紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	3.1	上富田町 1.2
紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)	3.2	すさみ町 0.7
岩出市	3.8	那智勝浦町 2.1
紀美野町	1.4	太地町 0.4
かつらぎ町	2.1	古座川町 0.5
九度山町	0.6	北山村 0.1
高野町	0.4	串本町 2.4
湯浅町	1.4	

④世帯区分

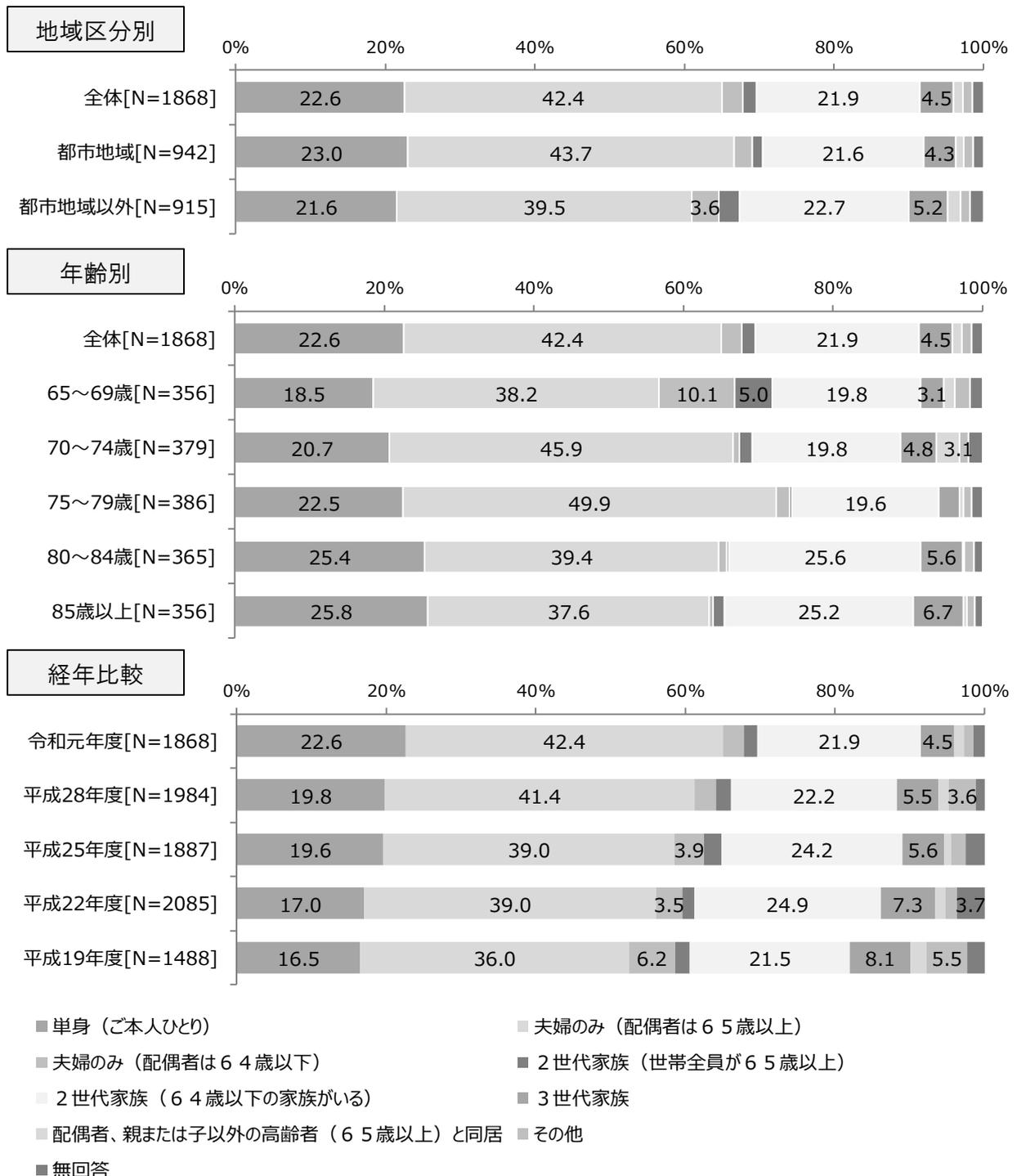
問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の世帯については、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が42.4%、「単身（ご本人ひとり）」が22.6%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が21.9%等となっています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が多くなっています。年齢別では、75～79歳で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」、85歳以上で「単身（ご本人ひとり）」の割合が比較的多くなっています。

経年比較を見ると、「単身（ご本人ひとり）」と「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の世帯が増えてい

図表 5 世帯区分



⑤ 昼間独居の状況

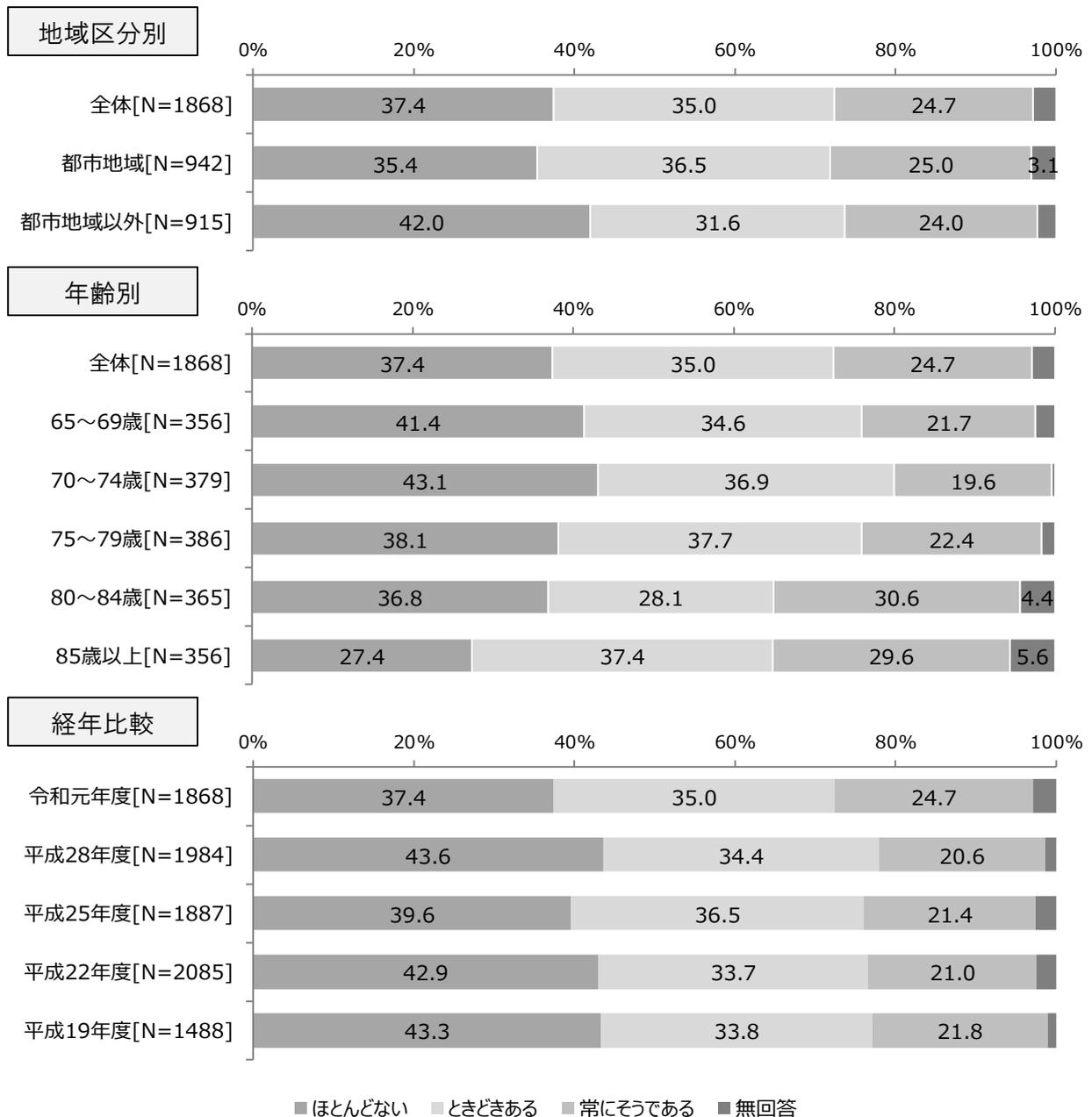
問5 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

昼間独居の状況について聞いたところ、「ほとんどない」が37.4%、「ときどきある」が35.0%、「常にそうである」が24.7%となっています。

地域区分別では、都市地域以外の「ほとんどない」の割合が高くなっています。年齢別では、80～84歳で、「常にそうである」の割合が高くなっています。

経年比較では、「常にそうである」が増え、「ほとんどない」が減っています。

図表 6 昼間独居の状況



⑥別居の生活支援者の有無

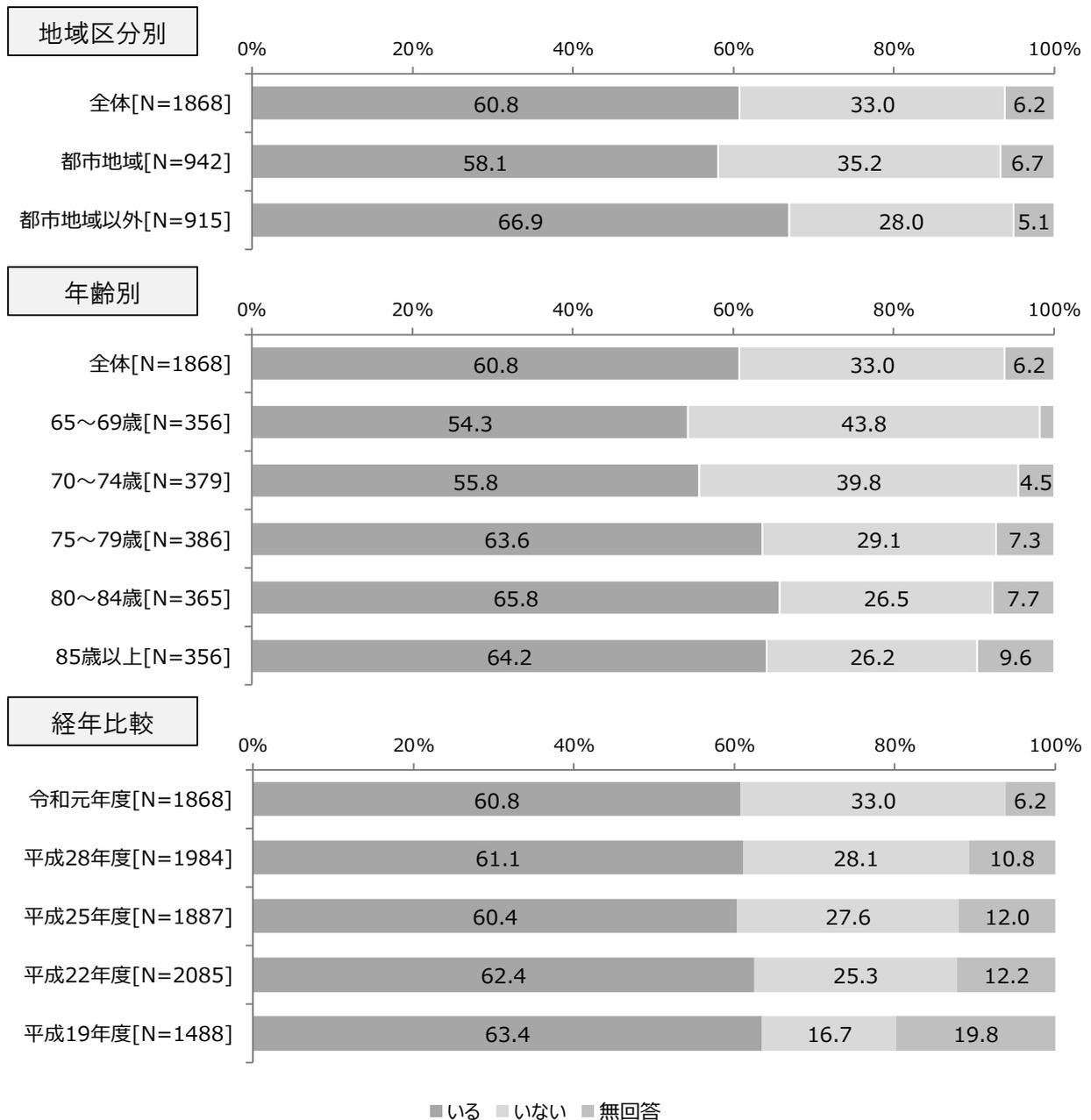
問6 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいいますか。
(いずれか1つに○)

別居で生活を支援してくれる家族等の有無について聞いたところ、「いる」が60.8%、「いない」が33.0%となっています。

年齢別では75歳以上に比べて74歳以下の「いない」の割合が高くなっています。

経年比較では「いる」が減り、「いない」が増えています。

図表 7 別居の生活支援者の有無



(3) 仕事や収入について

①収入のある仕事

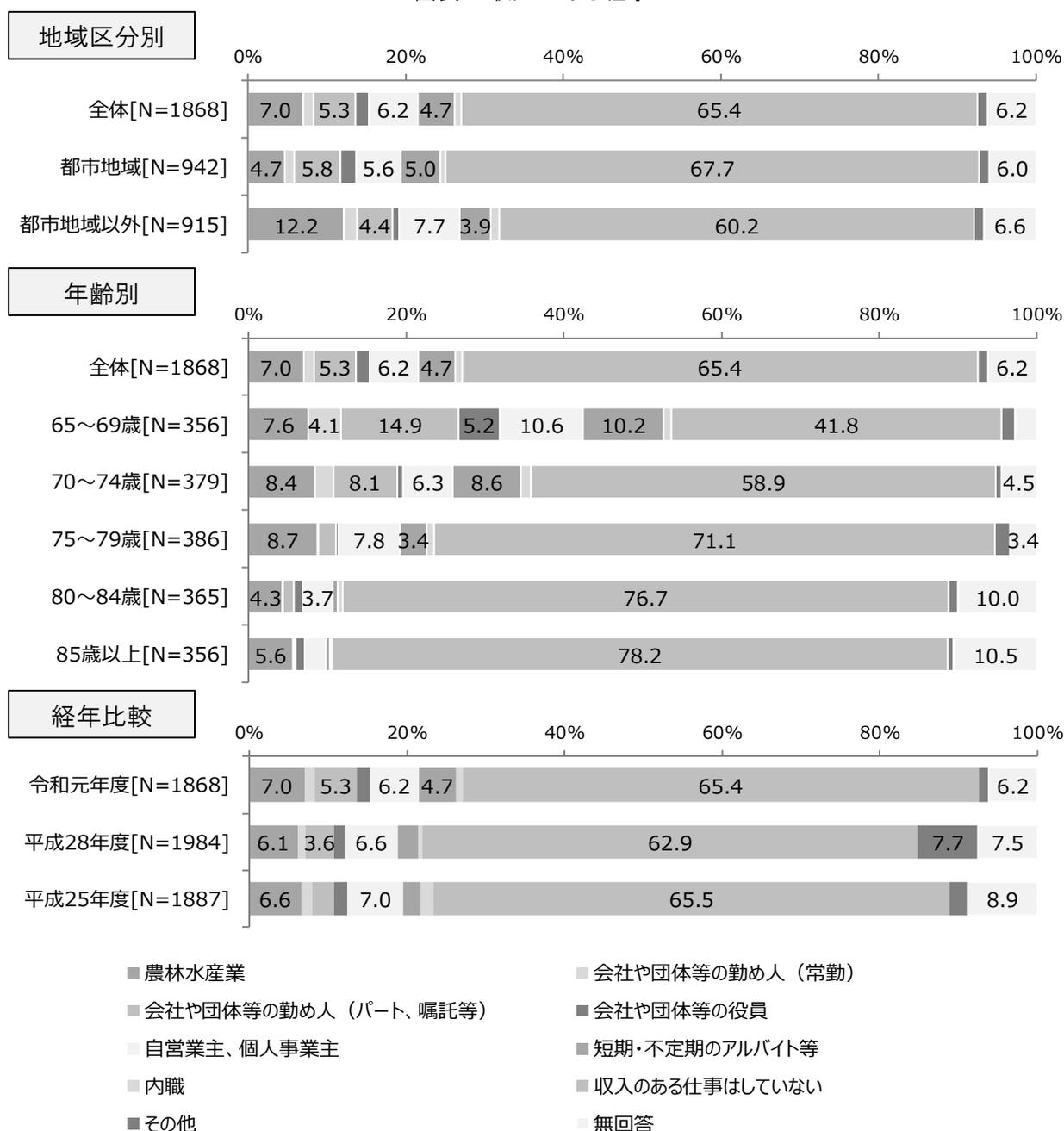
問7 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

収入のある仕事については、「収入のある仕事はしていない」が65.4%と多く、仕事については、「農林水産業」が7.0%、「自営業主、個人事業主」が6.2%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が5.3%、「短期・不定期のアルバイト等」が4.7%等となっています。

地域区別では、都市地域以外で「農林水産業」の割合が高くなっています。都市地域では、都市地域以外と比べて、「収入のある仕事はしていない」という人が多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「収入のある仕事はしていない」の割合が高くなります。

図表 8 収入のある仕事



(4) 近所づきあい、外出の状況などについて

①近所とのつきあい

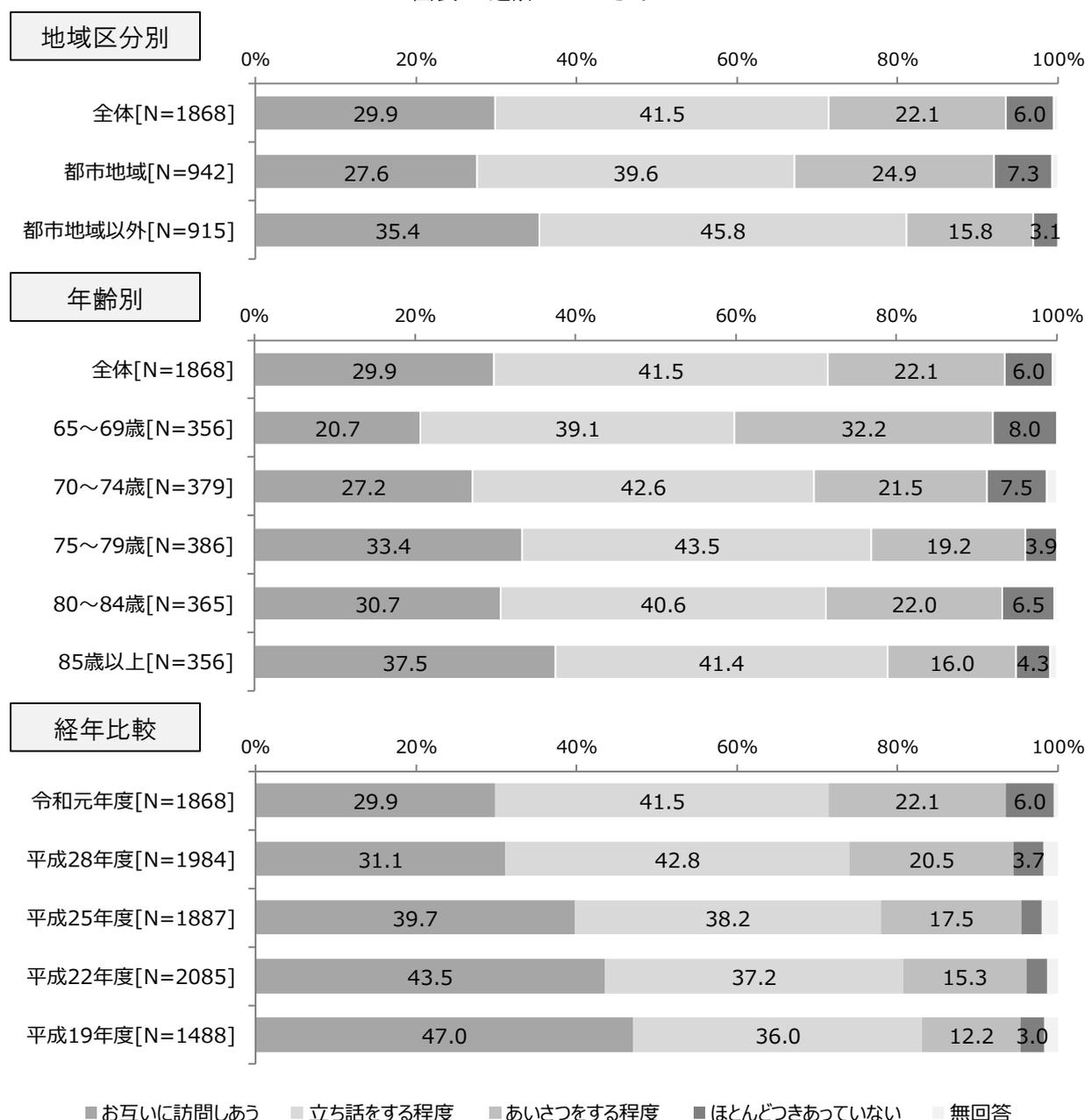
問8 あなたはふだん、最も親しいご近所さんとどのようなつきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

近所とのつきあいについて聞いたところ、「立ち話をする程度」が41.5%と最も多く、次いで、「お互いに訪問しあう」が29.9%、「挨拶をする程度」が22.1%等となっています。

地域区分別で見ると、都市地域と比較して、都市地域以外で「お互いに訪問しあう」の割合が高くなっています。年齢別では、65～69歳で、「お互いに訪問しあう」という人が70歳以上に比べて少なくなっています。

経年比較では、「お互いに訪問しあう」という人は年々減っています。

図表 9 近所とのつきあい



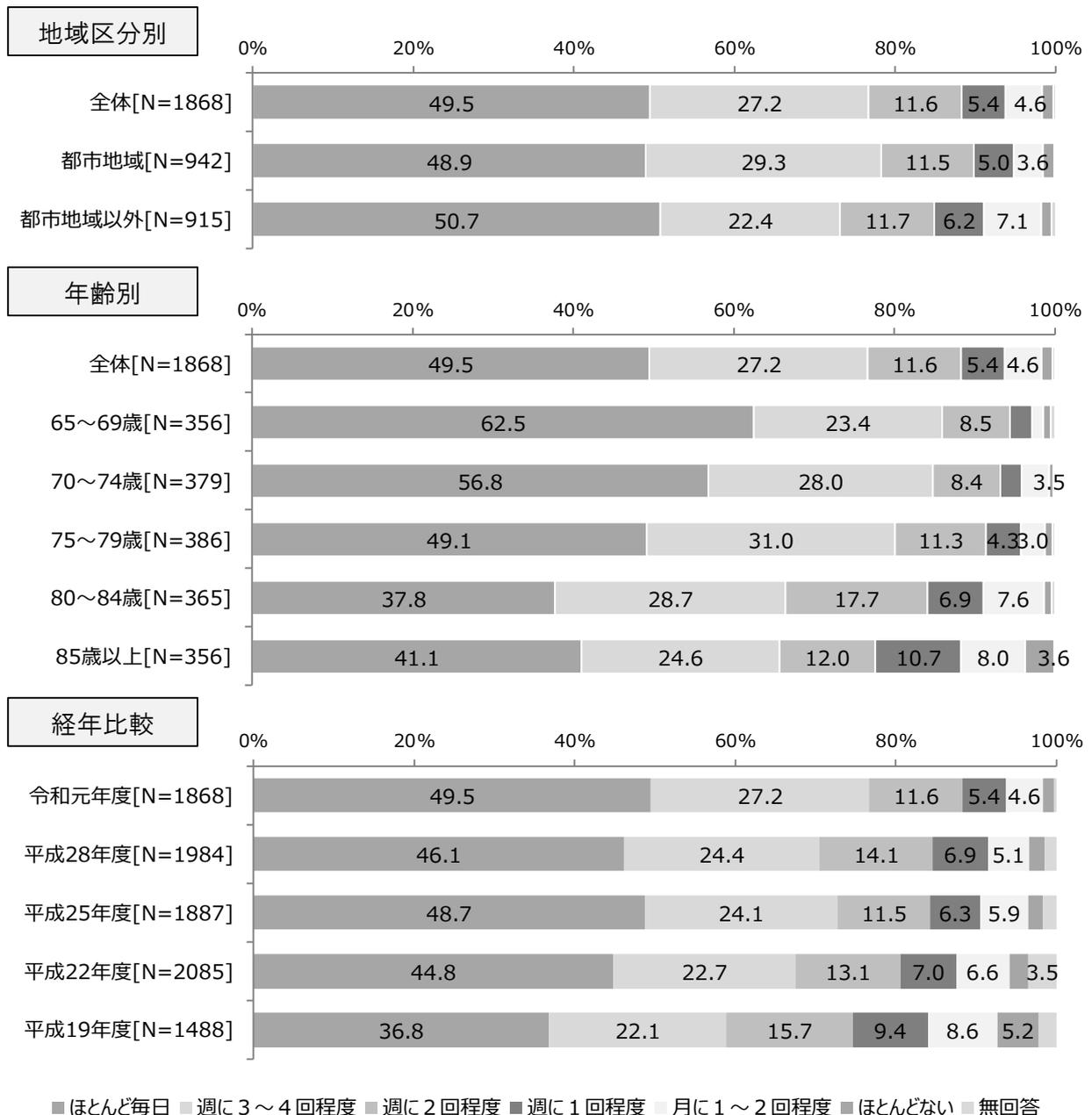
②外出の頻度

問9 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

外出の程度については、「ほとんど毎日」が49.5%とほぼ半数、次いで、「週に3～4回程度」が27.2%となっています。

年齢別で見ると、80～84歳まで年齢が上がるにつれ、「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。経年比較では、「ほとんど毎日」「週に3～4回程度」という人がやや増えています。

図表 10 外出の頻度



③外出方法

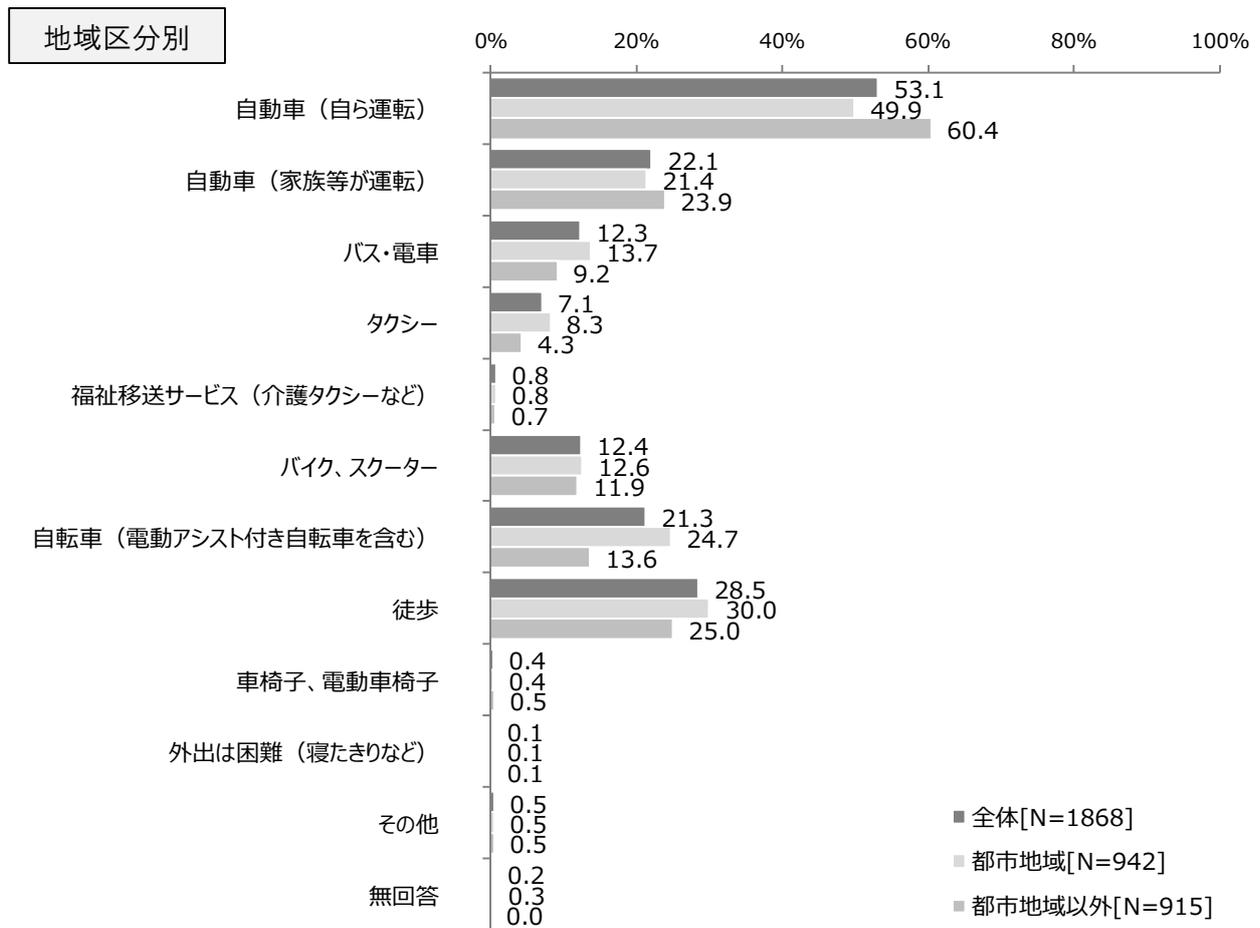
問10 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

外出方法について聞いたところ、「自動車（自ら運転）」が53.1%と半数以上となっています。次いで、「徒歩」が28.5%、「自動車（家族等が運転）」が22.1%、「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」が21.3%等となっています。

地域区別では、都市地域以外で「自動車（自ら運転）」の割合が高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「自動車（自ら運転）」が減り、「自動車（家族等が運転）」や「徒歩」が増える傾向にあります。

図表 11 外出方法（複数回答）



年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
自動車（自ら運転）	53.1	73.0	67.4	56.0	36.0	32.0
自動車（家族等が運転）	22.1	12.9	17.6	23.1	27.5	29.5
バス・電車	12.3	6.2	9.3	12.2	19.8	14.1
タクシー	7.1	2.2	2.4	5.8	12.3	12.9
福祉移送サービス（介護タクシーなど）	0.8	0.0	0.3	0.4	0.6	2.5
バイク、スクーター	12.4	13.7	17.5	13.2	12.3	4.7
自転車（電動アシスト付き自転車を含む）	21.3	16.7	20.7	20.8	27.8	20.4
徒歩	28.5	22.5	24.4	26.8	31.9	37.4
車椅子、電動車椅子	0.4	0.0	1.0	0.3	0.3	0.5
外出は困難（寝たきりなど）	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
その他	0.5	0.7	0.5	0.3	0.8	0.2
無回答	0.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.6

④最寄り駅等までの時間

問11 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

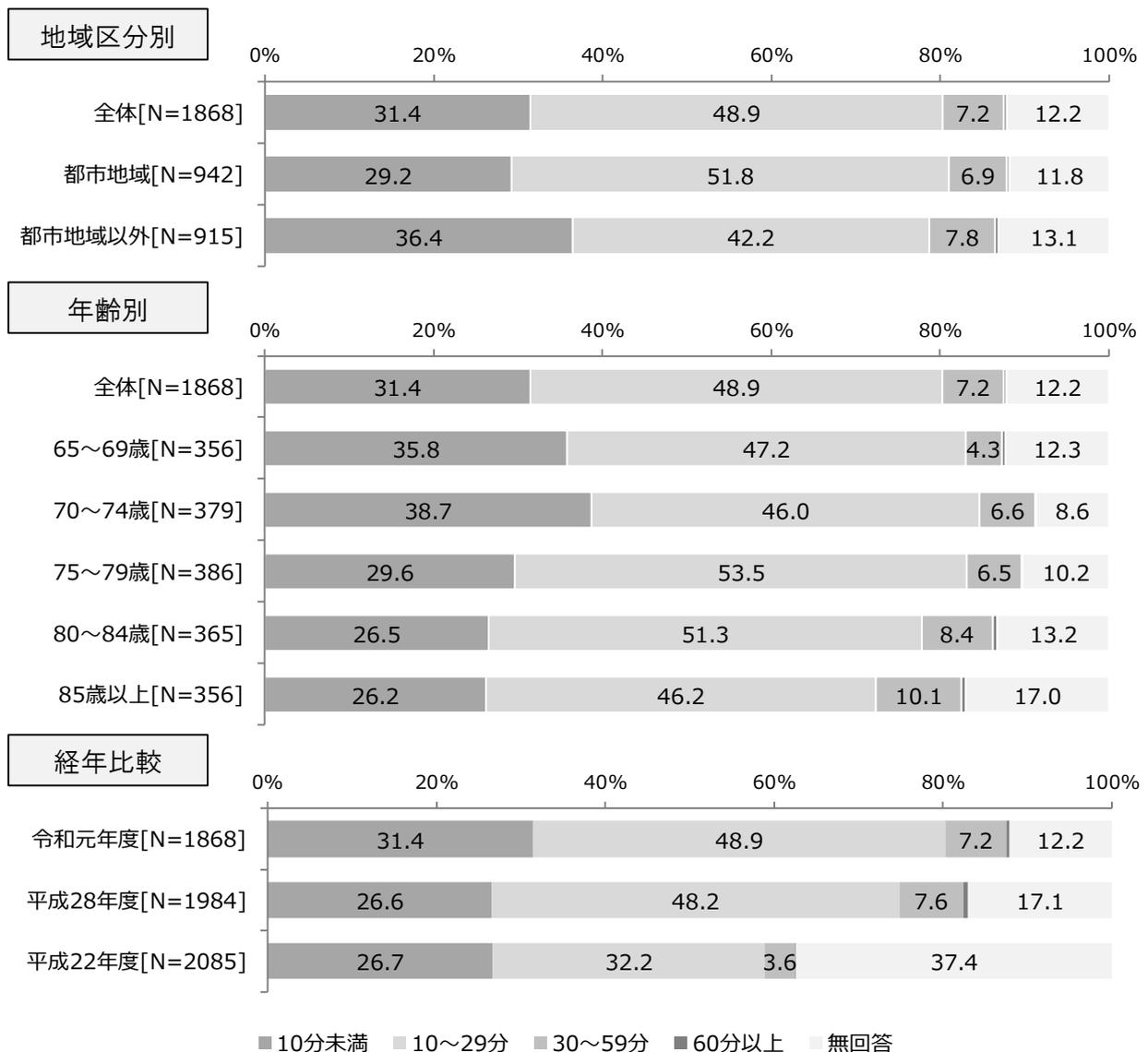
最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかるかを聞いたところ、「10～29分」が48.9%と最も多く、「10分未満」は31.4%となっています。

地域区別では、都市地域以外で「10分未満」の割合が高くなっています。

年齢別に見ると、74歳以下は75歳以上に比べて「10分未満」が多くなっています。

経年比較では、「10分未満」が増えています。

図表 12 最寄り駅等までの時間



(5) 買い物などの日常の状況について

① 買い物の方法

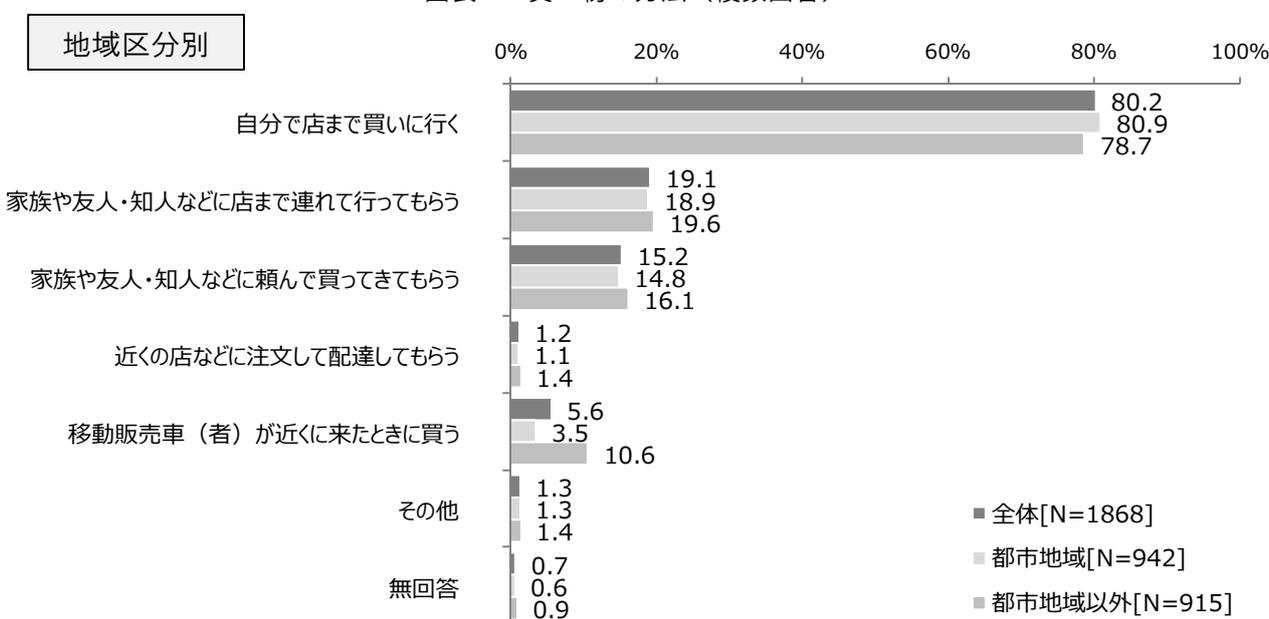
問12 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。(よく使う方法すべてに○)

買い物の方法としては、「自分で店まで買いに行く」が80.2%と多くなっています。その他、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が19.1%、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が15.2%等となっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれ、「自分で店まで買いに行く」という人が少なくなり、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が多くなっています。

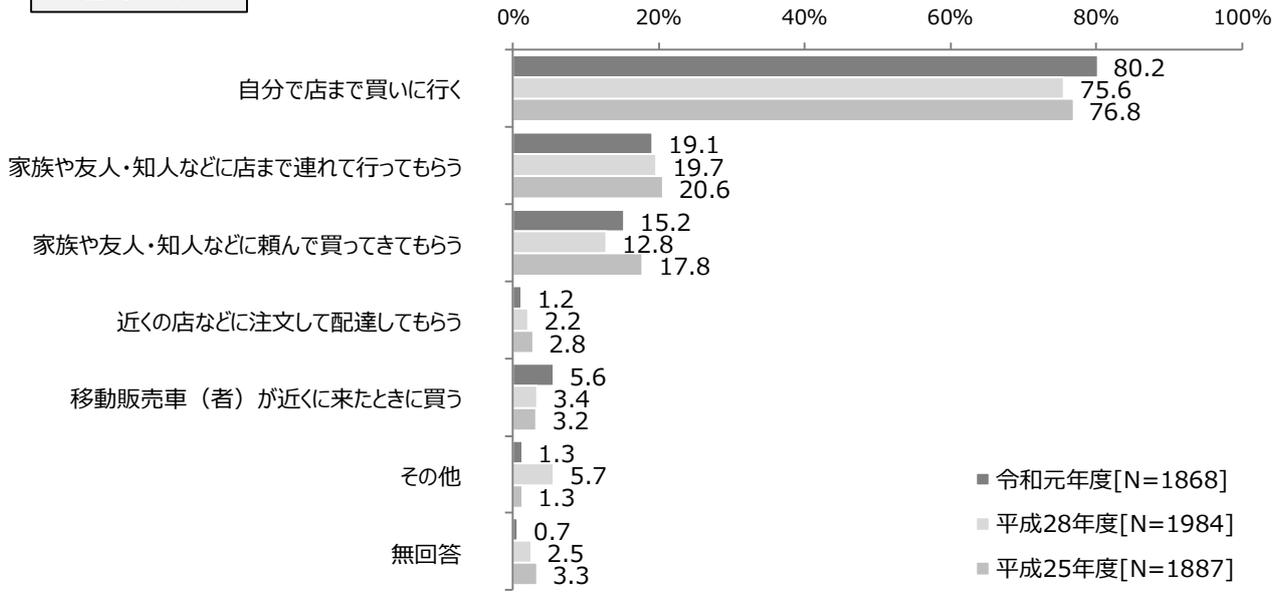
経年比較では、「自分で店まで買いに行く」という人がやや増えています。

図表 13 買い物の方法（複数回答）



年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
自分で店まで買いに行く	80.2	91.5	87.0	84.0	72.9	65.1
家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう	19.1	10.6	13.7	16.4	27.7	27.6
家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう	15.2	8.3	13.1	13.0	18.4	23.6
近くの店などに注文して配達してもらう	1.2	0.4	1.1	1.1	1.7	1.8
移動販売車（者）が近くにきたときに買う	5.6	3.4	3.3	4.3	7.0	10.4
その他	1.3	1.0	1.0	1.9	0.6	2.1
無回答	0.7	0.4	0.7	0.3	1.2	0.8

経年比較



②買い物で不便なことや困っていること

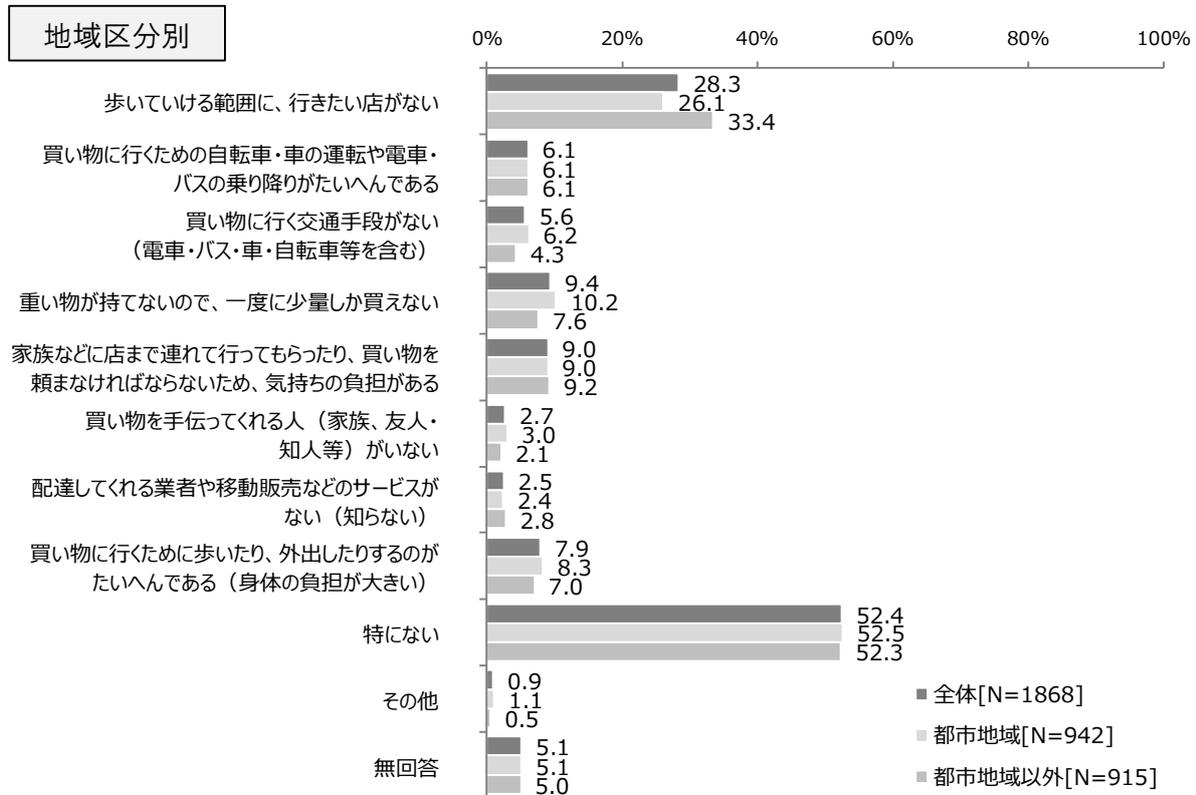
問13 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

買い物で不便なことや困っていることについて聞いたところ、「特にない」が52.4%と半数を占めます。不便なことや困っていることとしては、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が28.3%、「重い物が持てないので、一度の少量しか買えない」(9.4%)、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が9.0%等となっています。

地域区分別で見ると、都市地域以外で、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「歩いて行ける範囲に、行きたい店がない」、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が増えています。

図表 14 買い物で不便なことや困っていること（複数回答）



年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
歩いていける範囲に、行きたい店がない	28.3	24.7	24.6	25.8	33.5	33.4
買い物に行くための自転車・車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである	6.1	2.4	3.0	3.8	10.3	11.4
買い物に行く交通手段がない（電車・バス・車・自転車等を含む）	5.6	1.5	1.0	4.7	11.8	9.2
重い物が持てないので、一度に少量しか買えない	9.4	4.8	4.7	8.9	13.7	15.2
家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある	9.0	5.0	3.3	6.5	13.8	17.1
買い物を手伝ってくれる人（家族、友人・知人等）がいない	2.7	1.5	1.9	3.4	3.2	3.6
配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない（知らない）	2.5	1.4	1.7	2.0	2.7	4.7
買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）	7.9	1.3	2.2	5.0	13.5	18.0
特にない	52.4	62.4	65.5	55.1	40.2	38.0
その他	0.9	0.8	-	0.2	1.1	2.6
無回答	5.1	5.1	2.6	5.2	7.2	5.4

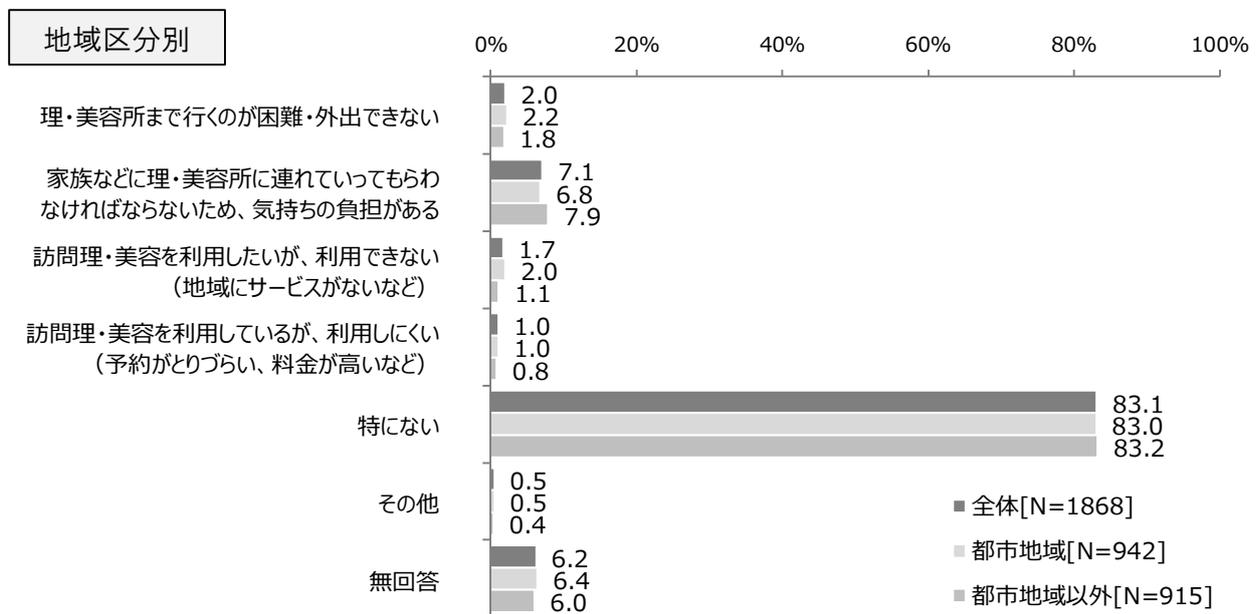
③理・美容で困っていること

問14 あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

理・美容で困っていることについて聞いたところ、「特にない」が83.1%と多くなっています。困っていることとしては、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が7.1%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が増えています。

図表 15 理・美容で困っていること（複数回答）



年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
理・美容所まで行くのが困難・外出できない	2.0	0.9	1.0	1.1	2.6	4.7
家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある	7.1	1.5	1.6	4.9	12.7	15.5
訪問理・美容を利用したいが、利用できない（地域にサービスがないなど）	1.7	1.2	0.0	1.5	2.3	3.6
訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい（予約がとりづらい、料金が高いなど）	1.0	0.2	0.4	1.2	1.7	1.3
特にない	83.1	90.8	91.6	84.5	75.2	72.8
その他	0.5	0.5	0.6	0.4	0.3	0.7
無回答	6.2	5.1	4.8	7.0	7.6	6.8

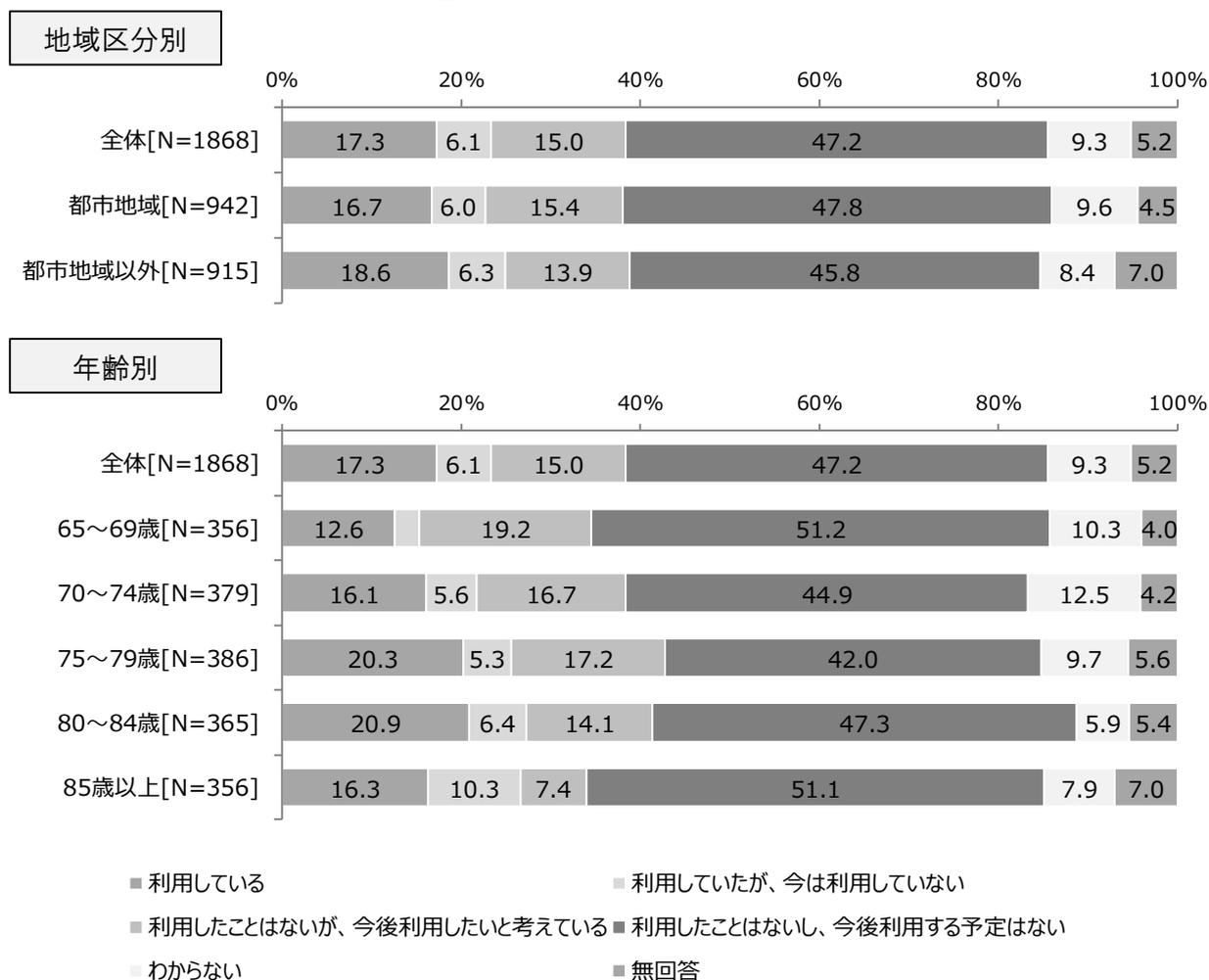
④体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無

問15 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

介護予防のためのサービスの利用の有無については、「利用したことはないし、今後利用する予定はない」が47.2%、「利用している」17.3%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」15.0%、「利用していたが、今は利用していない」6.1%となっています。

年齢別では75～79歳、80～84歳で「利用している」が多くなっています。

図表 16 体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無



⑤利用している介護予防サービス

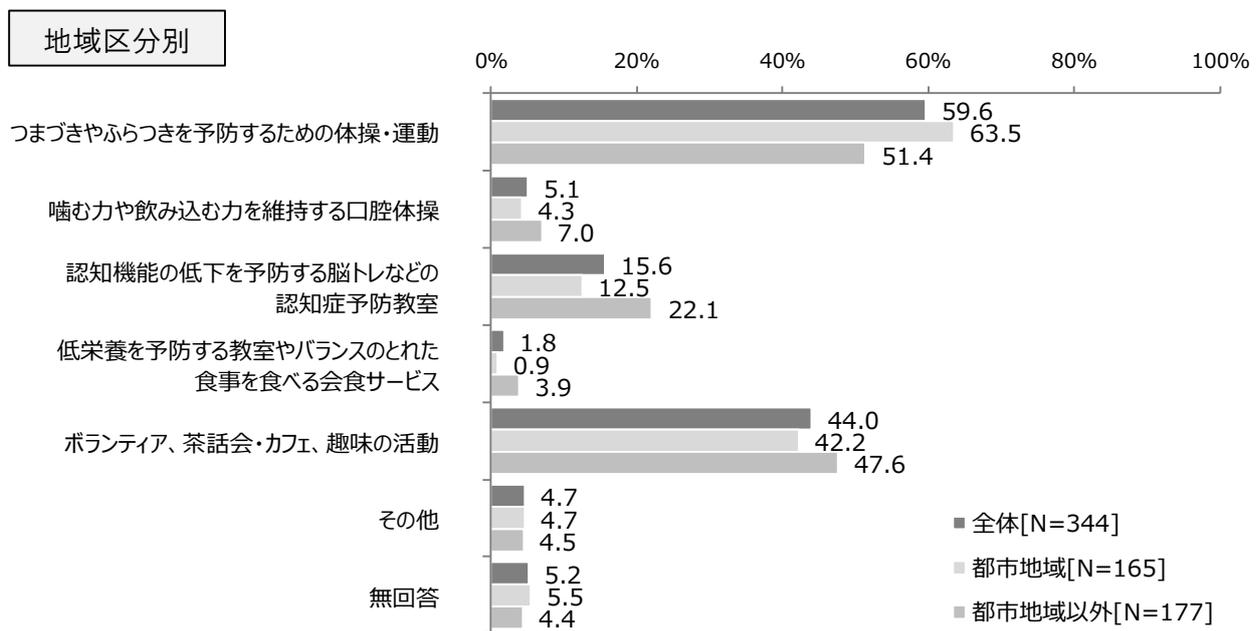
問16 前の問で「1.」と答えた方(かた)にお聞きします。次の(1)、(2)をご回答ください。
 (1)現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

利用している介護予防のサービス内容は、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が59.6%、「ボランティア、茶話会、カフェ、趣味の活動」が44.0%等となっています。

地域区分別では都市地域では「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」、都市地域以外の「認知症予防教室」が相対的に多くなっています。

年齢別では80～84歳の「認知症予防教室」が28.1%と、他の層に比べて多くなっています。

図表 17 利用している介護予防サービス（複数回答）



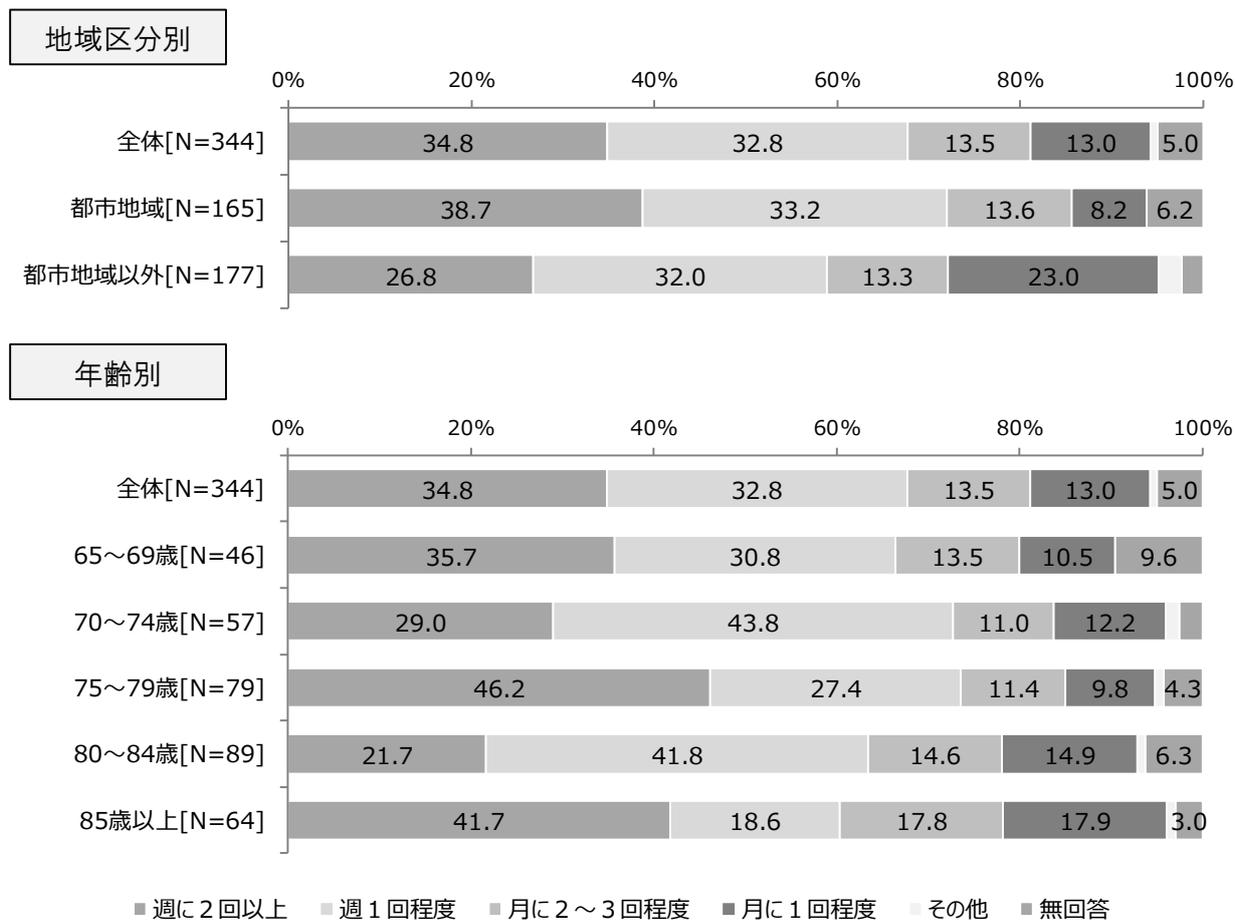
年齢別	全体 [N=344]	65～69歳 [N=46]	70～74歳 [N=57]	75～79歳 [N=79]	80～84歳 [N=89]	85歳以上 [N=64]
つまづきやふらつきを予防するための体操・運動	59.6	61.2	61.9	65.7	54.9	53.5
噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操	5.1	0.8	1.2	6.7	7.7	7.0
認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室	15.6	4.8	9.6	12.1	28.1	18.6
低栄養を予防する教室やバランスのとれた食事を食べる会食サービス	1.8	0.0	1.5	1.5	1.4	4.6
ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動	44.0	36.9	41.2	42.4	47.6	49.7
その他	4.7	0.0	6.1	3.5	6.4	6.0
無回答	5.2	15.3	0.0	3.8	5.1	4.8

⑥介護予防サービスの利用頻度

問16 (2)現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

介護予防サービスの利用頻度については「週に2回以上」が34.8%、「週1回程度」が32.8%となっています。地域区分別では都市地域の「週に2回以上」が38.7%と、都市地域以外に比べて多くなっています。年齢別では、70～74歳、75～79歳で週1回以上の利用者が多くなっています。

図表 18 介護予防サービスの利用頻度



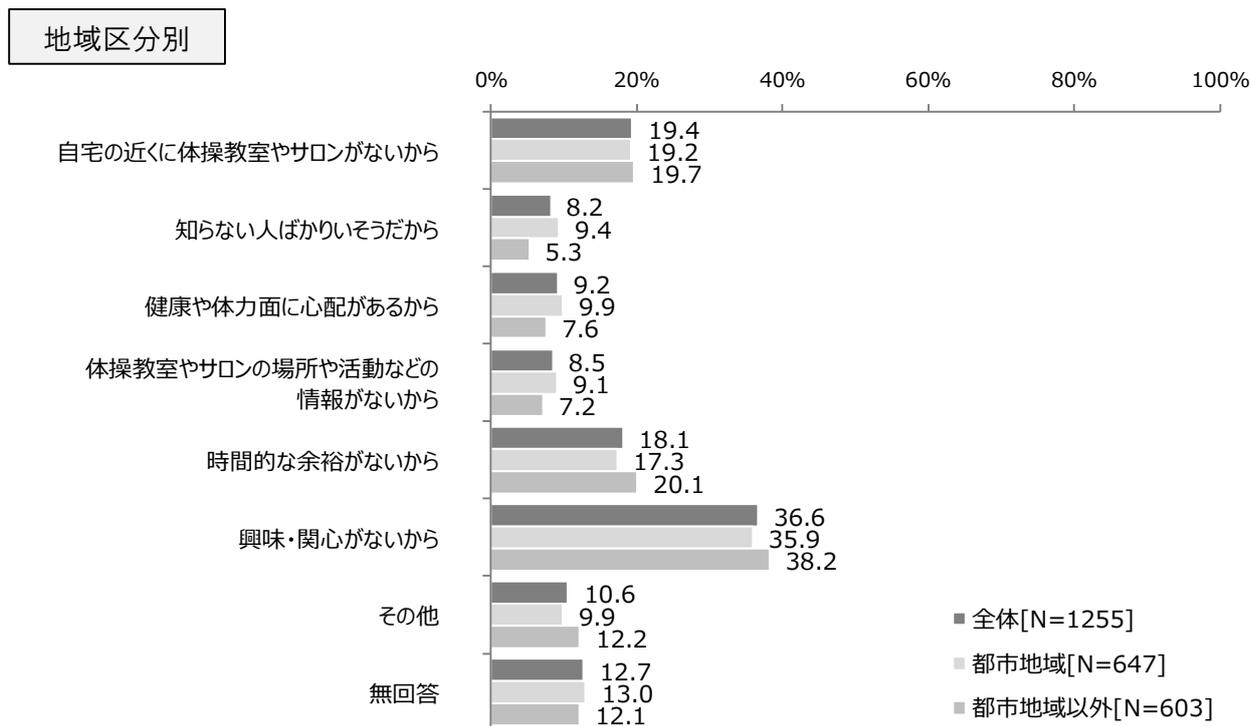
⑦介護予防サービスを利用しない理由

問17 問15で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはない、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由を下記からご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

介護予防サービスを利用しない理由については、「興味・関心がないから」が36.6%、「自宅の近くに体操教室やサロンがないから」が19.4%、「時間的な余裕がないから」が18.1%等になっています。

年齢別では、75歳以上で「自宅の近くに体操教室やサロンがないから」が多くなっています。

図表 19 介護予防サービスを利用しない理由（複数回答）



年齢別	全体 [N=1255]	65～69歳 [N=260]	70～74歳 [N=262]	75～79歳 [N=249]	80～84歳 [N=233]	85歳以上 [N=237]
自宅の近くに体操教室やサロンがないから	19.4	10.6	14.8	22.3	28.5	21.3
知らない人ばかりいそうだから	8.2	10.8	8.0	9.3	7.4	5.4
健康や体力面に心配があるから	9.2	8.2	6.6	7.6	14.1	10.0
体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから	8.5	10.9	5.7	9.2	11.2	5.6
時間的な余裕がないから	18.1	31.3	19.1	16.4	13.6	9.3
興味・関心がないから	36.6	35.7	42.6	40.1	29.3	34.9
その他	10.6	6.9	13.2	9.6	11.1	12.4
無回答	12.7	8.7	9.5	9.5	19.0	17.5

(6) 通院状況などについて

①通院の頻度

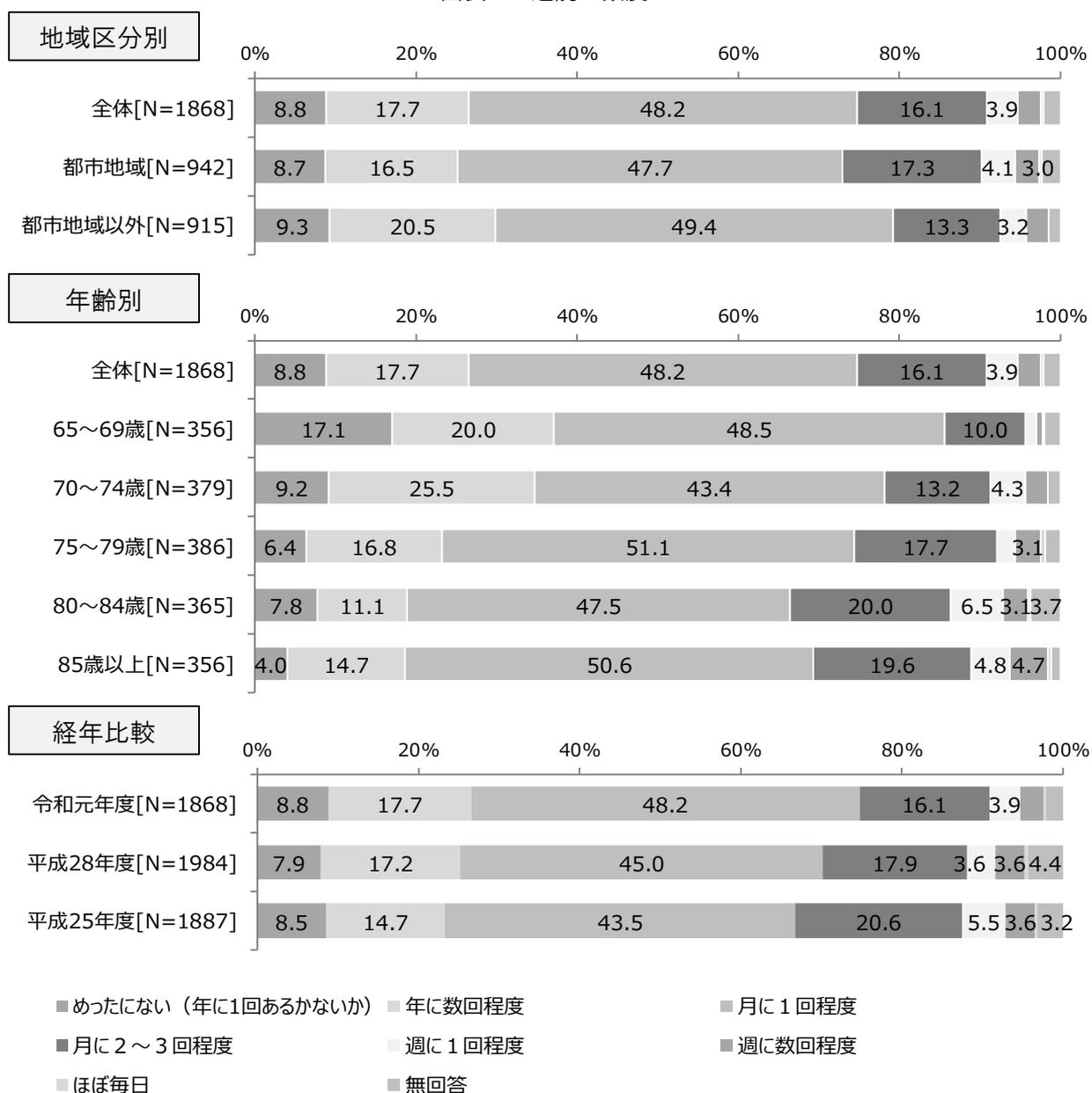
問18 あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

通院の程度としては、「月に1回程度」が48.2%と最も多く、次いで、「年に数回程度」が17.7%、「月に2～3回程度」が16.1%と続いています。

地域区分別では、都市地域で、「月に2～3回程度」がやや多く、都市地域以外は「年に数回程度」がやや多くなっています。年齢別では、年齢が上がるにつれ、通院頻度の上がる傾向があります。

経年比較では、「月に1回程度」が増えています。

図表 20 通院の頻度



②かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

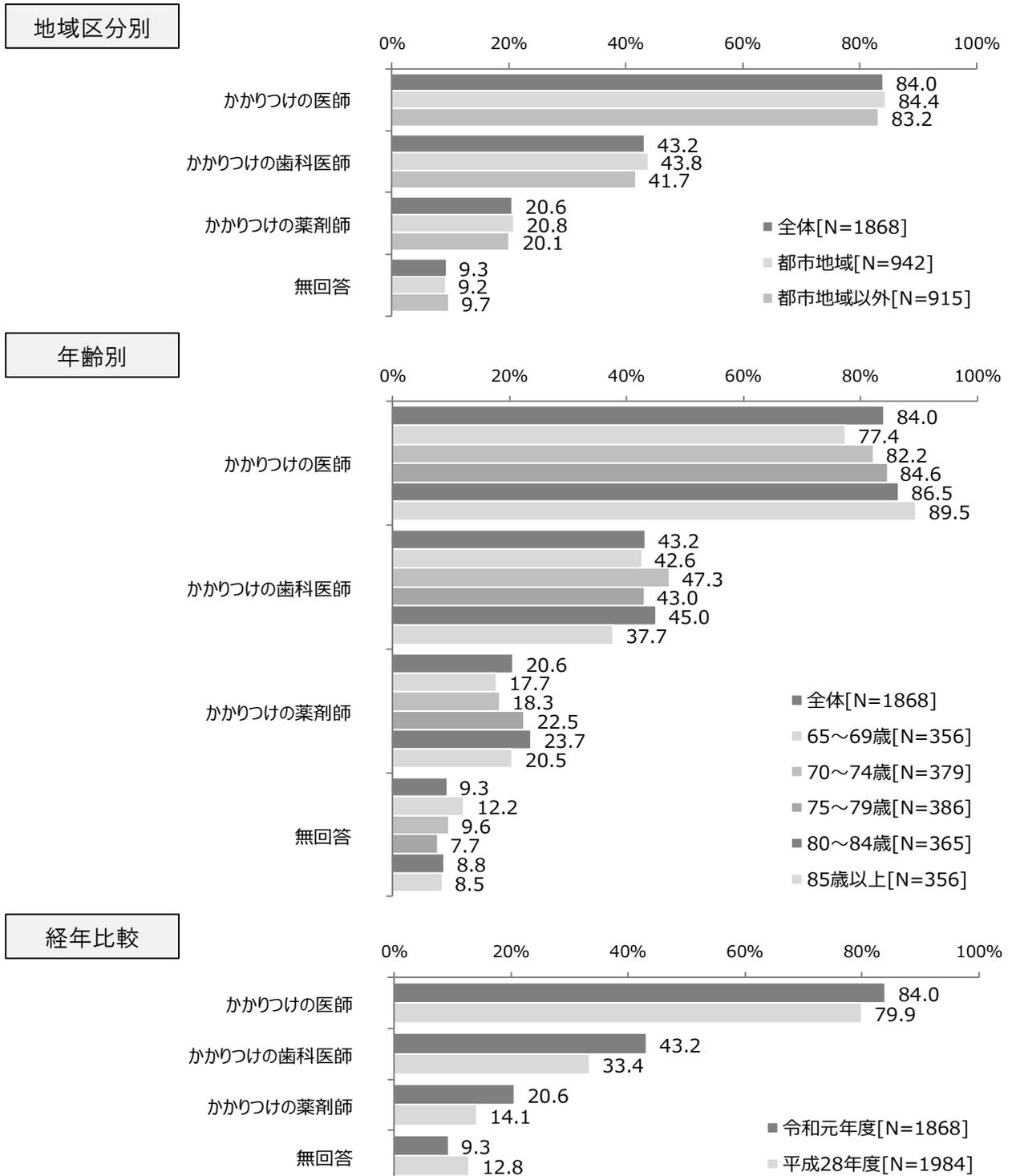
問19 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無については、「かかりつけの医師」は84.0%、「かかりつけの歯科医師」は43.2%、「かかりつけの薬剤師」は20.6%の人がいると回答しています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれ、「かかりつけの医師」がいる人が多くなっています。

経年比較では、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師が増えています。

図表 21 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



(7) 健康について

①現在の健康状態

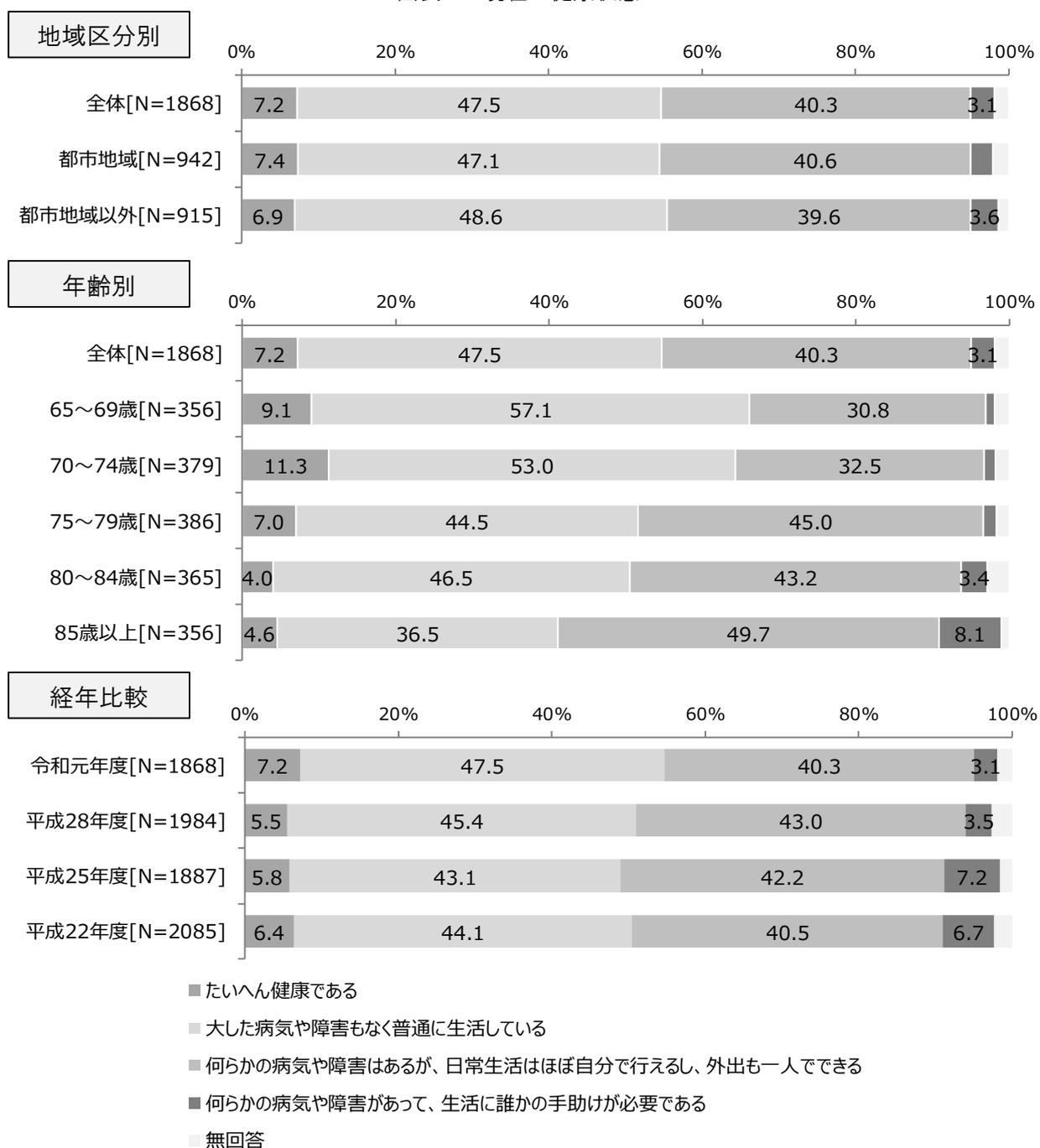
問20 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

現在の健康状態については、「大した病気や障害もなく普通に生活している」が47.5%、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる」が40.3%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、なんらかの病気や障害のある人が多くなっています。

経年比較では、「たいへん健康である」と「大した病気や障害もなく普通に生活している」の計が増えてい

図表 22 現在の健康状態



②運動の有無

問21 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

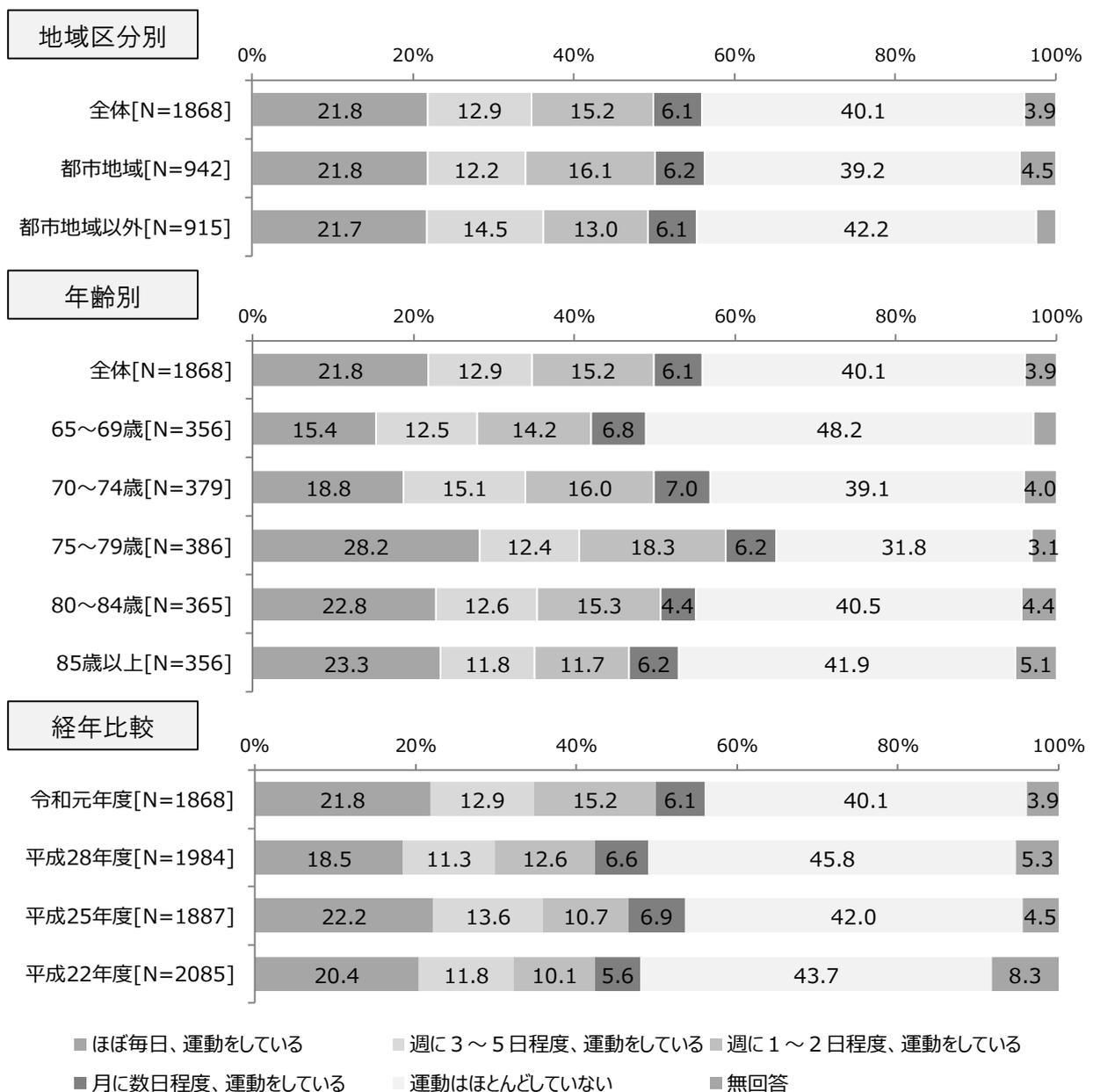
運動の有無については、「運動はほとんどしていない」が40.1%と多く、「ほぼ毎日、運動をしている」は21.8%となっています。

地域区分別では、都市地域以外で、「運動はほとんどしていない」という人がやや多くなっています。

年齢別で見ると、75～79歳で、「ほぼ毎日、運動をしている」という人が多くなっています。

経年比較では、「運動はほとんどしていない」が減っています。

図表 23 運動の有無

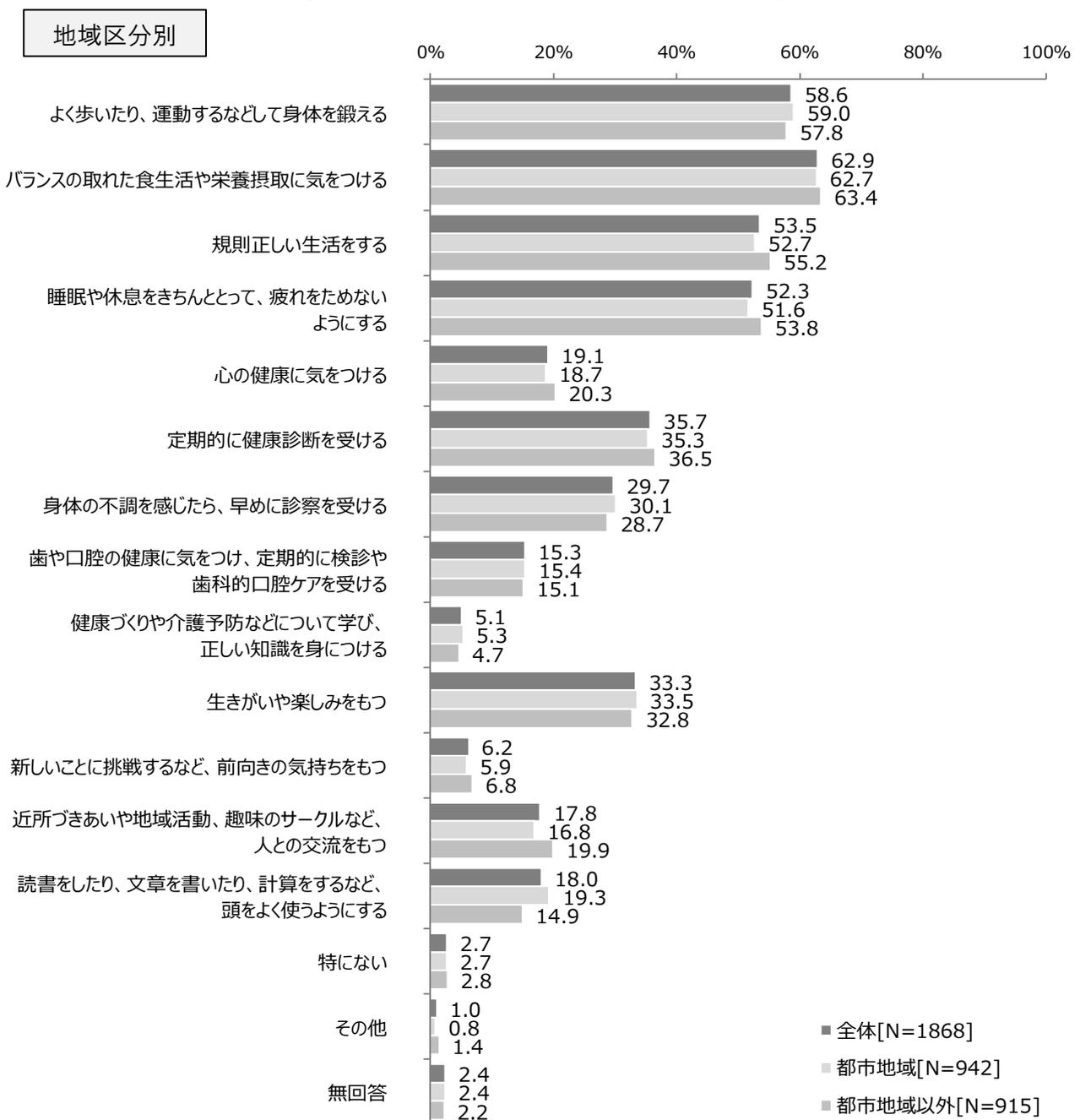


③健康づくりや介護予防のために重要と思うこと

問22 あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことが重要だと思いますか。(特に重要と思うこと5つまでに○)

健康づくりや介護予防のために重要と思うことについて聞いたところ、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が62.9%と最も多く、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が58.6%、「規則正しい生活をする」が53.5%、「睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする」が52.3%と続いています。

図表 24 健康づくりや介護予防のために重要と思うこと（複数回答）



年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える	58.6	65.5	60.7	62.4	52.5	51.7
バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける	62.9	64.0	67.0	62.7	58.8	61.8
規則正しい生活をする	53.5	56.0	55.5	51.7	49.5	54.6
睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする	52.3	54.0	52.7	52.5	52.1	50.0
心の健康に気をつける	19.1	24.1	18.4	13.5	19.3	21.0
定期的に健康診断を受ける	35.7	42.3	37.7	37.0	29.4	31.7
身体の不調を感じたら、早めに診察を受ける	29.7	25.2	24.6	32.6	30.8	35.1
歯や口腔の健康に気をつけ、定期的に検診や歯科的口腔ケアを受ける	15.3	11.5	22.4	14.5	14.3	13.6
健康づくりや介護予防などについて学び、正しい知識を身につける	5.1	3.4	4.7	5.3	6.5	5.6
生きがいや楽しみをもつ	33.3	35.9	38.3	31.1	32.3	28.8
新しいことに挑戦するなど、前向きな気持ちをもつ	6.2	7.8	6.7	6.0	6.0	4.4
近所づきあいや地域活動、趣味のサークルなど、人との交流をもつ	17.8	13.0	18.1	17.6	21.0	19.0
読書をしたり、文章を書いたり、計算をするなど、頭をよく使うようにする	18.0	12.7	16.0	17.9	20.1	23.3
特にない	2.7	4.7	2.2	2.4	2.9	1.3
その他	1.0	0.1	0.0	2.1	0.9	2.0
無回答	2.4	2.2	1.7	2.7	2.5	2.8

④健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

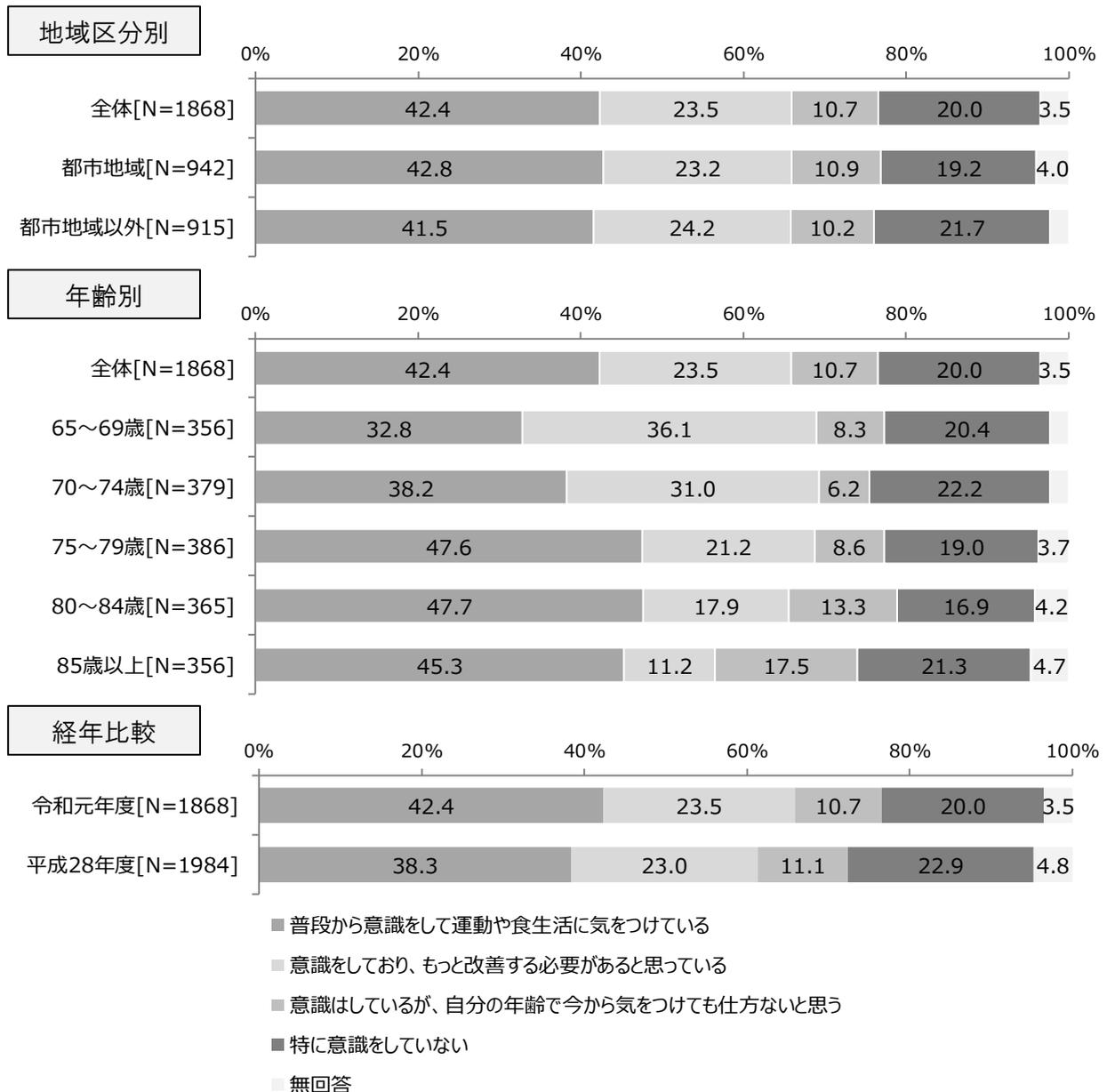
問23 あなたは、ご自身の健康づくりや介護予防に関して、日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が42.4%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が23.5%、「特に意識をしていない」が20.0%、「意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う」が10.7%となっています。

年齢別で見ると、75歳以上で、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」という人が多くなっています。

経年比較では、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」人が増えています。

図表 25 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと



(8) 普段の暮らしぶりについて

問24 以下の質問に、「はい」か「いいえ」で教えてください。(いずれか1つに○)

JST版活動能力指標（「一人暮らし高齢者が自立し活動的に暮らす」ために必要な能力を測定する尺度）は、「新機器利用」では和歌山県が全国平均を上回っていますが、それ以外の領域は全国平均を下回っています。

図表 26-1 普段の暮らしぶりについて

		※無回答除 (%)		JST版活動評価指数 (はい：1点、いいえ：0点)	
		はい	いいえ	(全国)	
新機器利用	携帯電話を使うことができますか	84.4	15.6	<u>2.7</u> > (2.3)	
	ATMを使うことができますか	70.2	29.8		
	ビデオやDVD（ブルーレイ）プレーヤーの操作ができますか	60.2	39.8		
	携帯電話やパソコンでメールができますか	51.4	48.6		
情報収集	外国のニュースや出来事に感心がありますか	76.7	23.3	<u>2.6</u> < (2.9)	
	健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか	82.5	17.5		
	美術品、映画、音楽を鑑賞することができますか	52.6	47.4		
	教育・教養番組を視聴していますか	46.5	53.5		
生活マネジメント	詐欺、ひったくり、空き巣等の被害にあわないように対策をしていますか	71.0	29.0	<u>2.5</u> < (2.8)	
	生活の中でちょっとした工夫をすることがありますか	72.2	27.8		
	病人の看病ができますか	58.9	41.1		
	孫や家族、知人の世話をしていますか	44.7	55.3		
社会参加	地域の祭りや行事などに参加していますか	42.0	58.0	<u>1.3</u> < (1.7)	
	町内会・自治会で活動していますか	32.3	67.7		
	自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか	29.9	70.1		
	奉仕活動やボランティア活動をしていますか	24.5	75.5		

※JST版活動能力指標



9.1 < (9.7)

(9) 今後の在宅での暮らし、住み替えなどについて

①現在の住まいの種類

問25 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

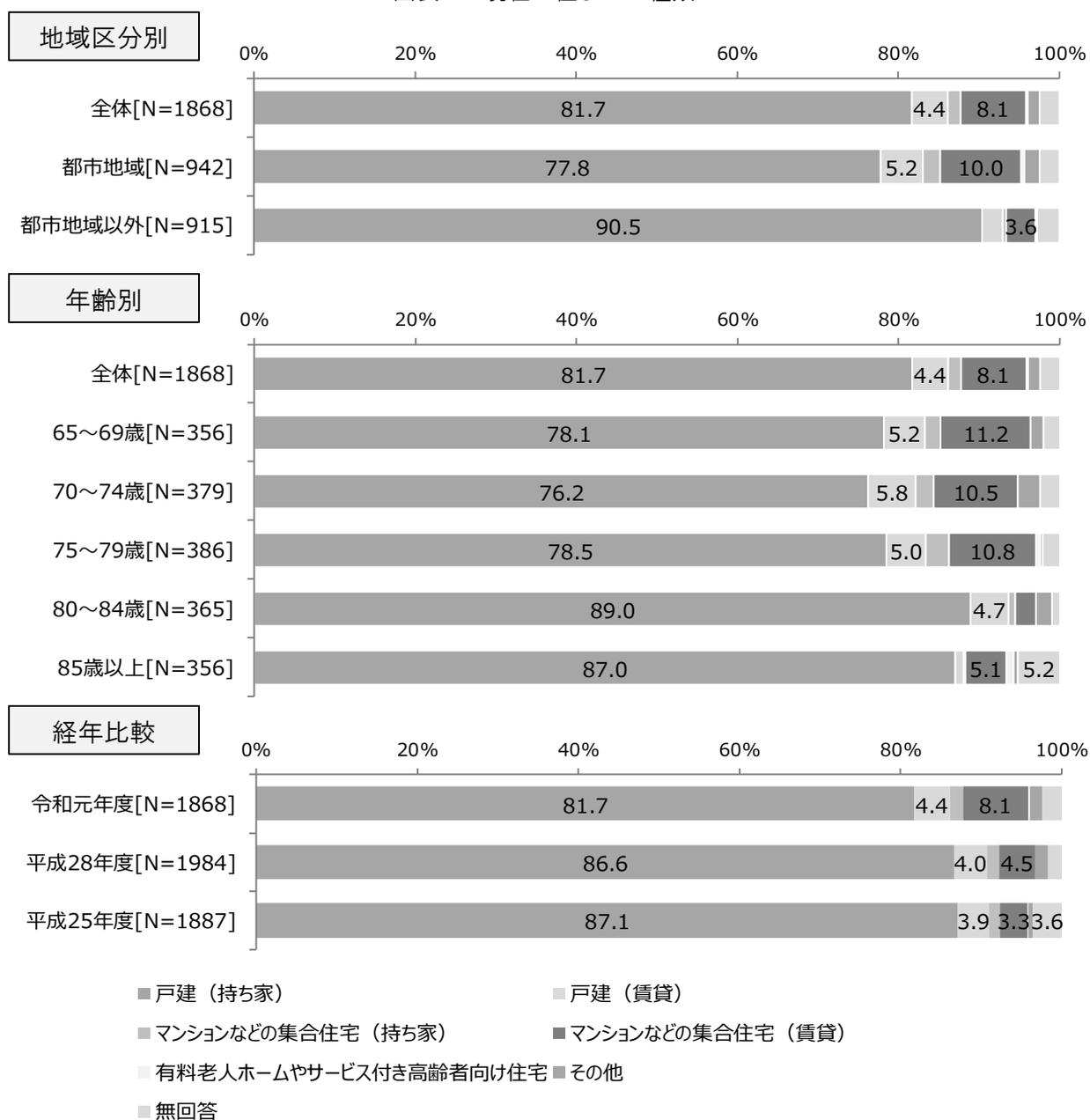
現在の住まいの種類については、「戸建（持ち家）」が81.7%と多くなっています。

地域区別で見ると、都市地域に比べて、都市地域以外で「戸建（持ち家）」の割合が高くなっています。

年齢別に見ると、80歳以上は79歳以下に比べて「戸建（持ち家）」の割合が高くなっています。

経年比較を見ると、「戸建（持ち家）」の割合が減っています。

図表 27 現在の住まいの種類



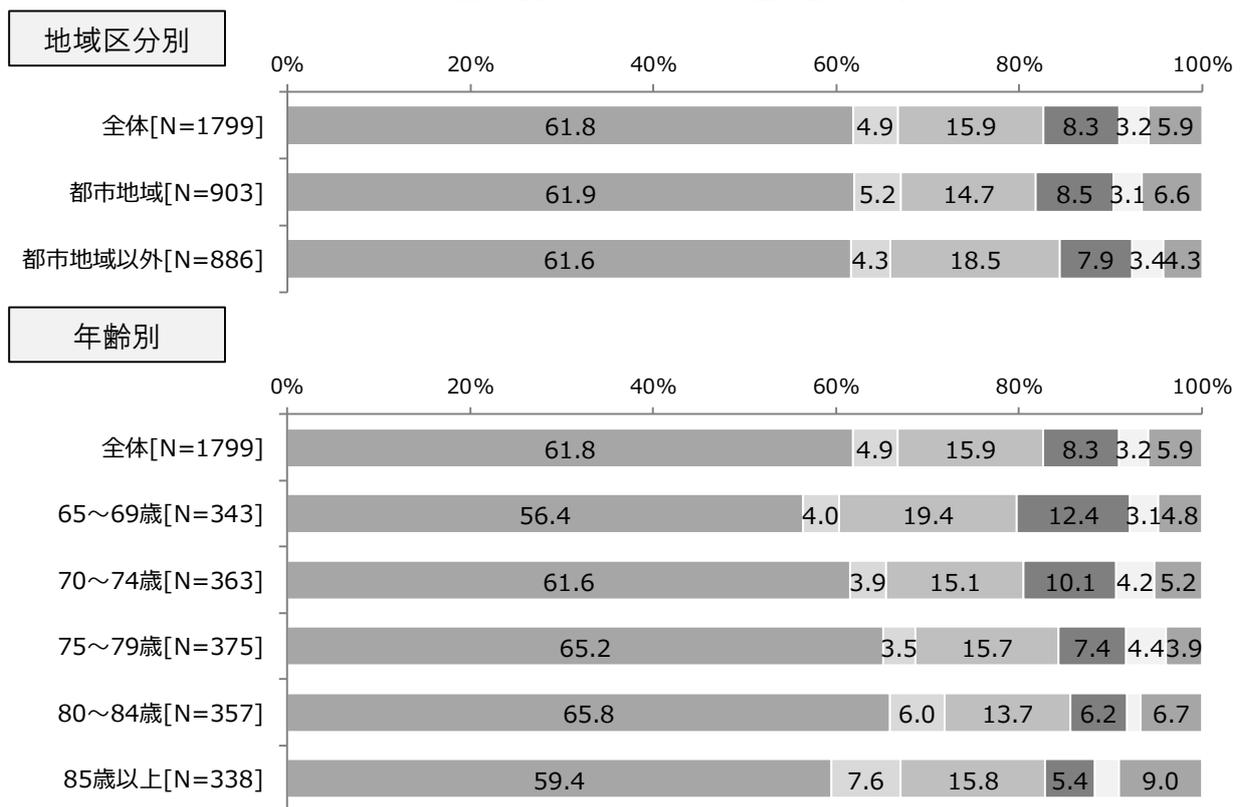
②介護が必要になった場合の住み替え意向

問26 前の問で「1.」～「4.」と答えた方におたずねします。次の(1)～(2)をご回答ください。
 (1)あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

介護が必要になった場合の住み替え意向について聞いたところ、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が61.8%と半数以上を占めます。

地域区分別で見ると、都市地域以外では「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う」という人がやや多くなっています。また、年齢別では、65～69歳で「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う」という人が多くなっています。

図表 28 介護が必要になった場合の住み替え意向



- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

③住み替えで重視すること

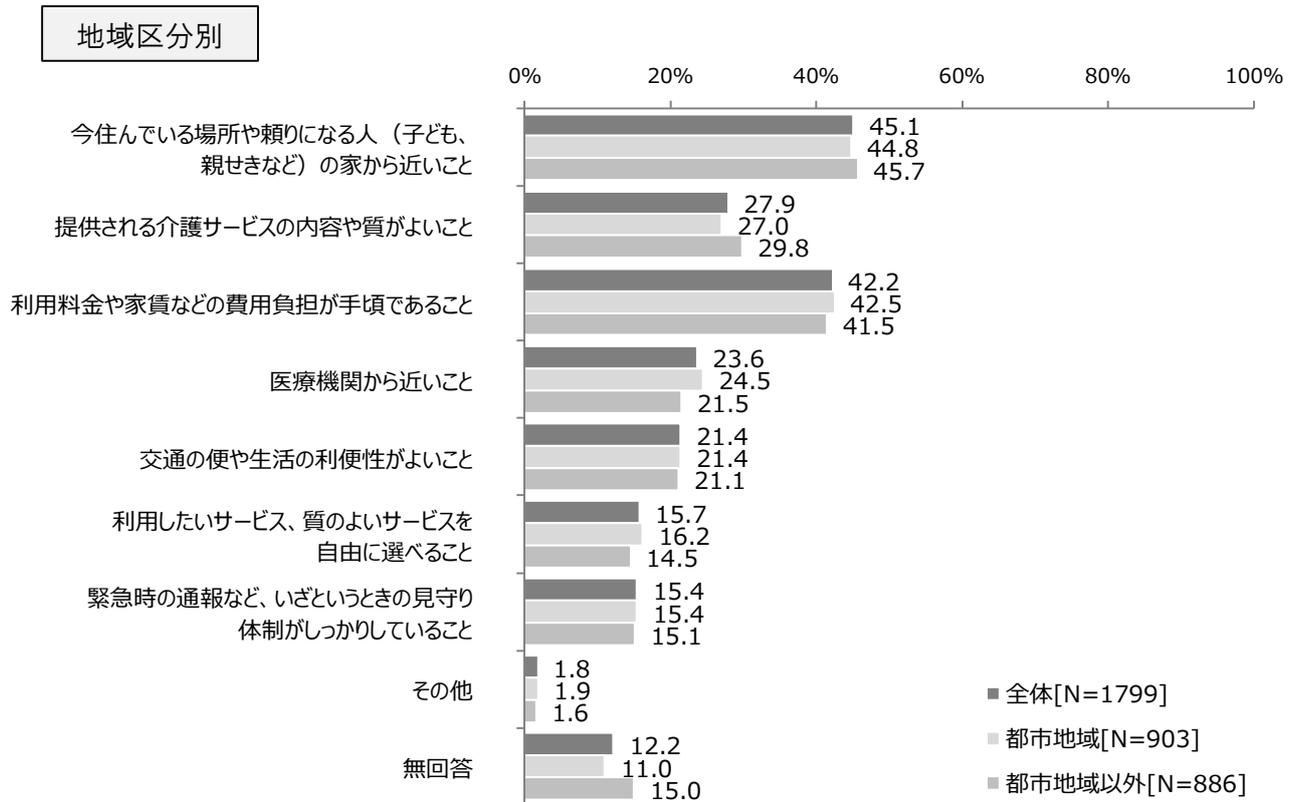
問26 (2)もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(重視する項目3つ以内に○)

住み替えで重視することについて聞いたところ、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が45.1%、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が42.2%等となっています。

地域区別で見ると、それほど大きな違いは見受けられません。

年齢別で見ると、65～69歳で、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が多くなっています。また、80歳以上では、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」と答える人が多くなっています。

図表 29 住み替えで重視すること（複数回答）



年齢別	全体 [N=1799]	65～69歳 [N=343]	70～74歳 [N=363]	75～79歳 [N=375]	80～84歳 [N=357]	85歳以上 [N=338]
今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと	45.1	39.3	36.9	41.0	56.4	52.7
提供される介護サービスの内容や質がよいこと	27.9	34.1	31.4	25.8	25.9	22.2
利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること	42.2	55.6	45.8	45.5	32.7	30.6
医療機関から近いこと	23.6	24.2	21.3	23.9	27.8	20.6
交通の便や生活の利便性がよいこと	21.4	21.6	25.1	24.2	19.7	15.6
利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること	15.7	23.9	16.0	15.3	9.6	13.5
緊急時の通報など、いざという時の見守り体制がしっかりしていること	15.4	13.7	14.9	12.8	16.7	18.9
その他	1.8	1.0	1.6	3.6	1.1	1.7
無回答	12.2	7.1	11.5	11.9	15.1	15.8

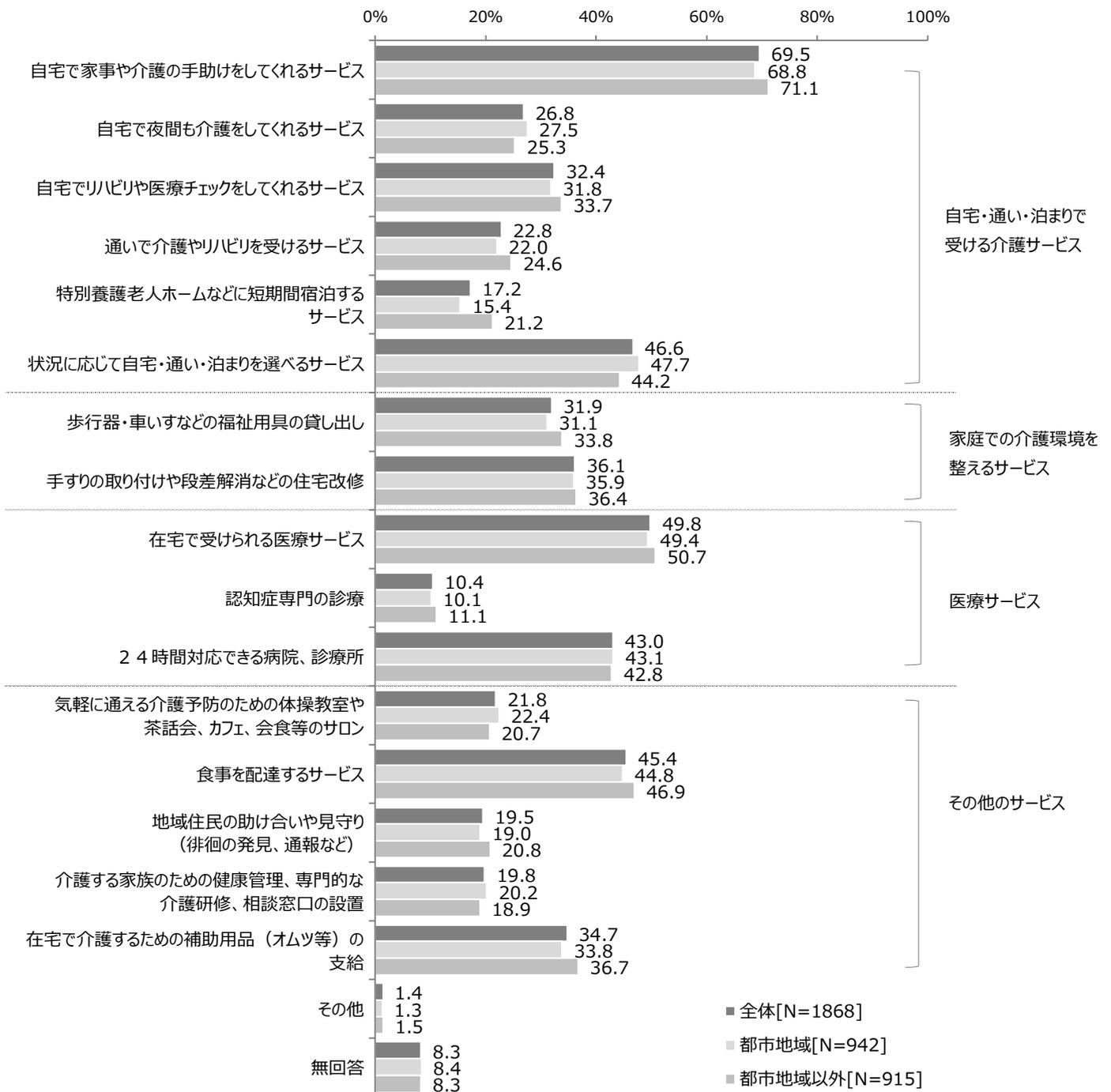
④介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス

問27 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービスについて聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が69.5%と最も多く、次いで、「在宅で受けられる医療サービス」が49.8%、「状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス」が46.6%、「食事を配達するサービス」が45.4%と続いています。

図表 30 介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス（複数回答）

地域区分別



年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス	69.5	71.0	69.2	70.7	71.7	64.6
自宅で夜間も介護をしてくれるサービス	26.8	26.2	24.9	24.4	27.0	31.8
自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス	32.4	27.4	35.6	30.2	33.5	35.1
通いで介護やリハビリを受けるサービス	22.8	25.8	24.5	19.0	19.4	25.6
特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス	17.2	17.9	18.0	14.1	15.0	21.1
状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス	46.6	49.0	47.2	48.3	46.6	41.9
歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し	31.9	32.6	31.1	31.8	34.1	30.0
手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修	36.1	41.7	37.4	34.7	34.5	32.1
【医療サービス】在宅で受けられる医療サービス	49.8	50.1	52.2	49.4	51.2	45.8
認知症専門の診療	10.4	8.6	11.2	8.5	13.5	10.1
24時間対応できる病院、診療所	43.0	46.7	46.3	39.0	39.7	43.7
気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、 カフェ、会食等のサロン	21.8	24.3	21.8	23.3	23.0	16.6
食事を配達するサービス	45.4	51.0	45.9	47.3	44.1	38.6
地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）	19.5	16.1	18.9	20.0	24.4	18.1
介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、 相談窓口の設置	19.8	22.2	19.6	21.8	16.3	19.1
在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給	34.7	41.5	37.2	29.0	32.5	33.7
その他	1.4	1.2	1.6	2.2	1.1	0.6
無回答	8.3	8.5	8.7	8.1	8.9	7.6

(10) 自宅での看取りの考え方などについて

①延命治療等への関心

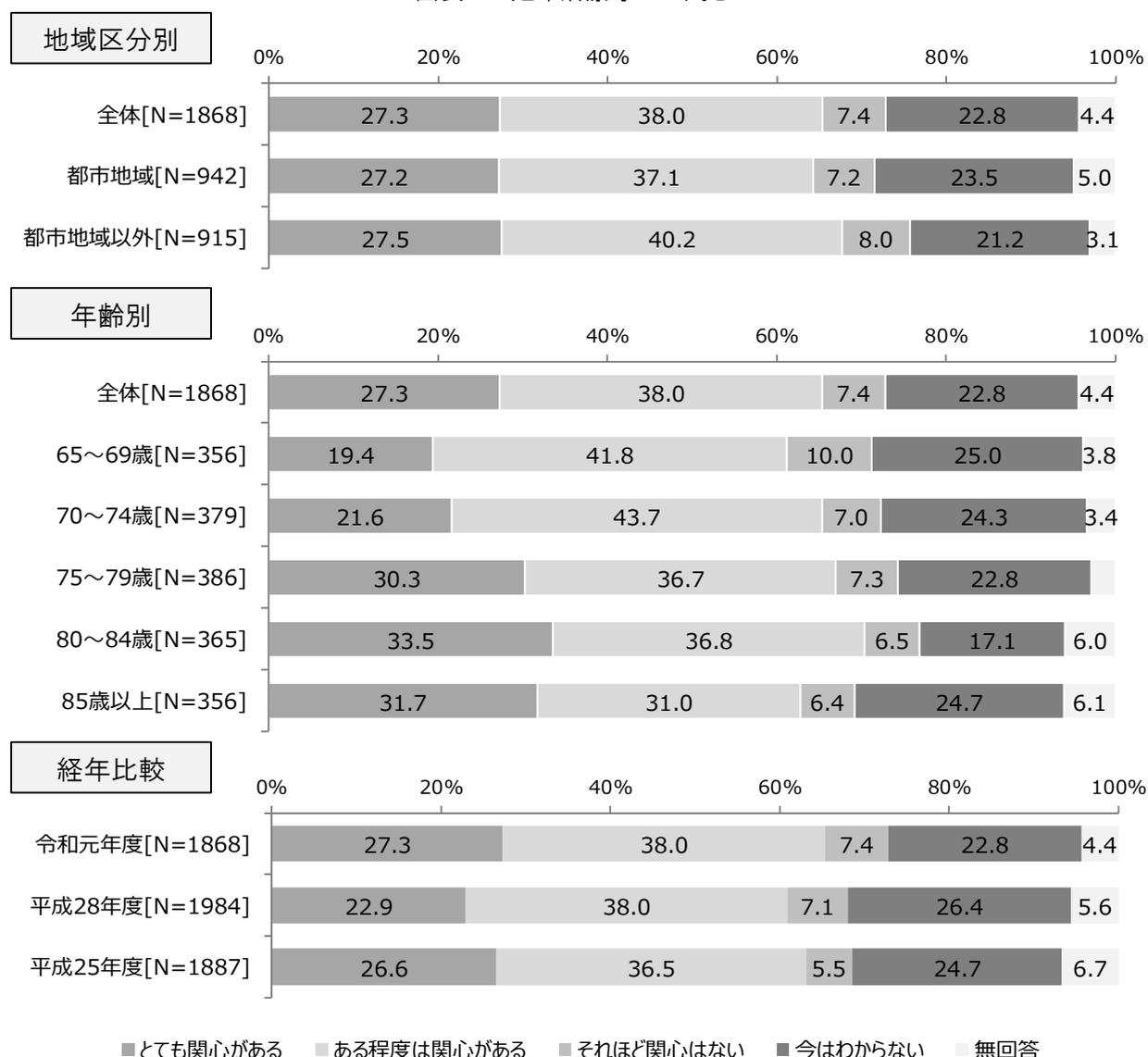
問28 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療等への関心については、「ある程度は関心がある」が38.0%、「とても関心がある」が27.3%、「今はわからない」が22.8%、「それほど関心はない」が7.4%となっています。

75歳以上は、74歳以下に比べて「とても関心がある」が多くなっています。

経年比較では、関心のある人がやや増加し、「今はわからない」という人が減少しています。

図表 31 延命治療等への関心

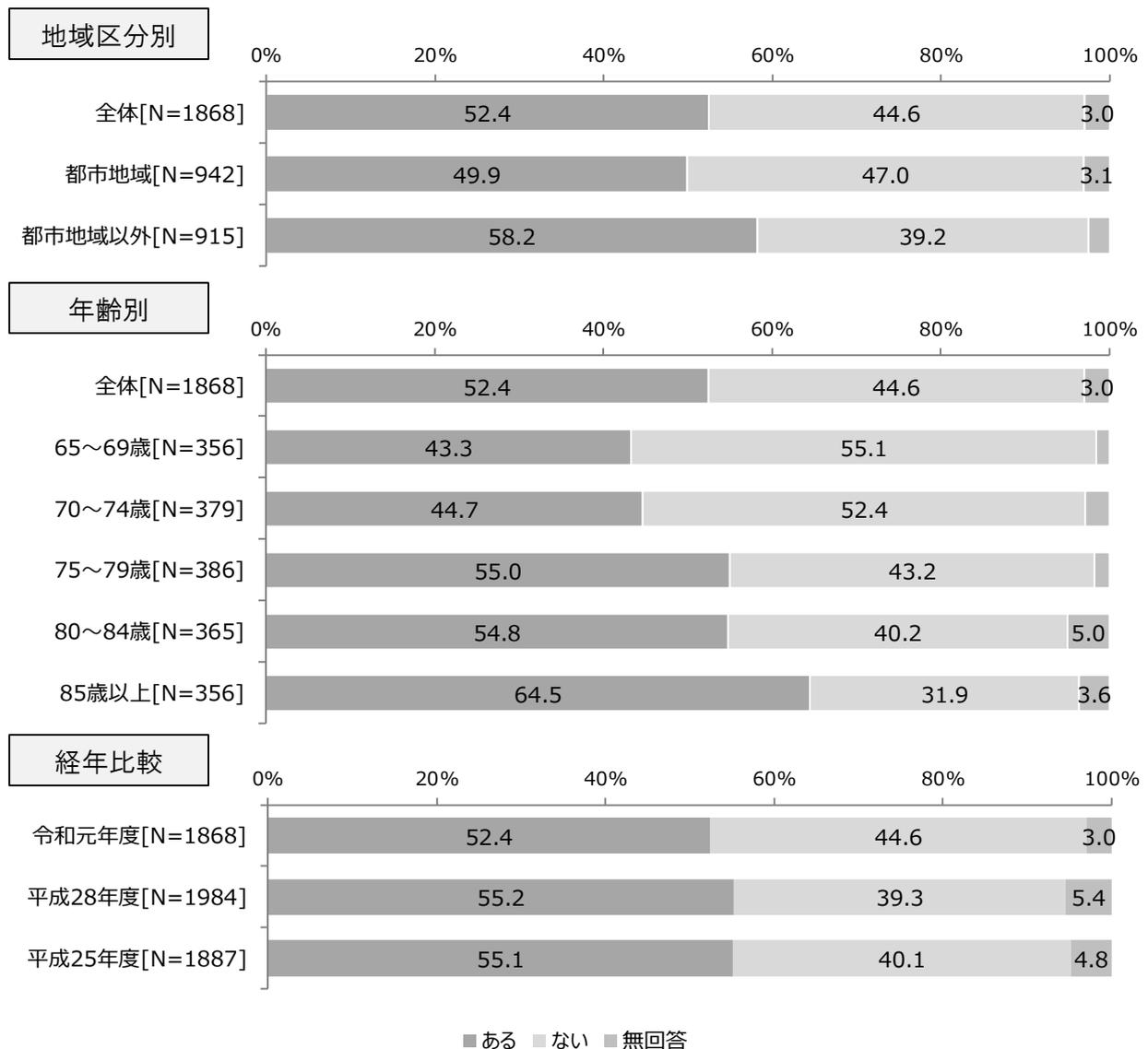


② 自宅で家族を看取った経験の有無

問29 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

自宅で家族を看取った経験について聞いたところ、「ある」が52.4%、「ない」が44.6%となっています。
 年齢別では、年齢が上がるにつれ、「ある」という人が多くなっています。
 経年比較では「ない」という人がやや増えています。

図表 32 自宅で家族を看取った経験の有無



③延命治療への希望

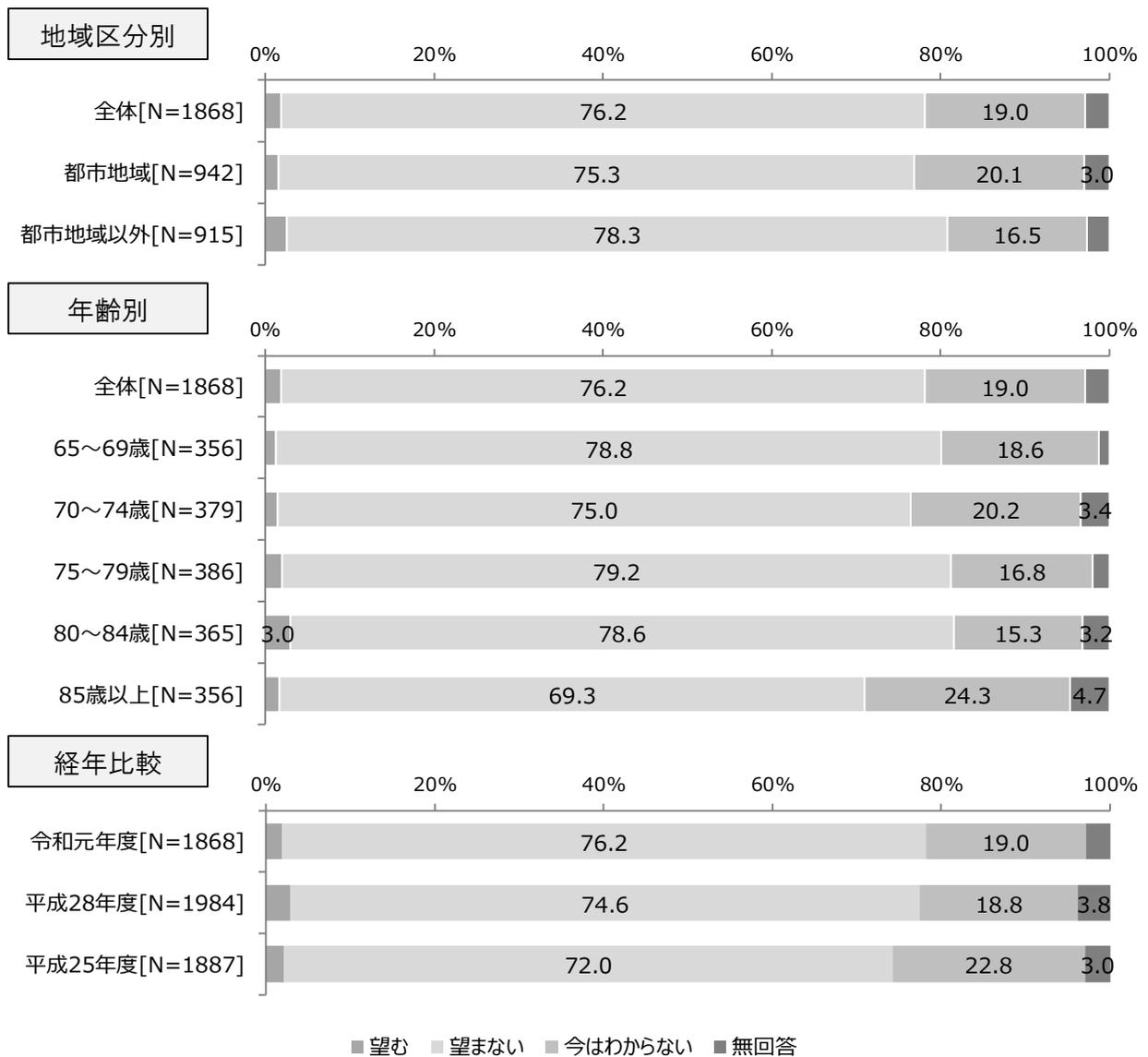
問30 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療の希望については、「望まない」が76.2%、「今はわからない」が19.0%となっています。

年齢別で見ると、85歳以上では、「今はわからない」という人が比較的多くなっています。

経年比較では、「望まない」という人がやや増加しています。

図表 33 延命治療への希望



④最期を過ごしたい場所

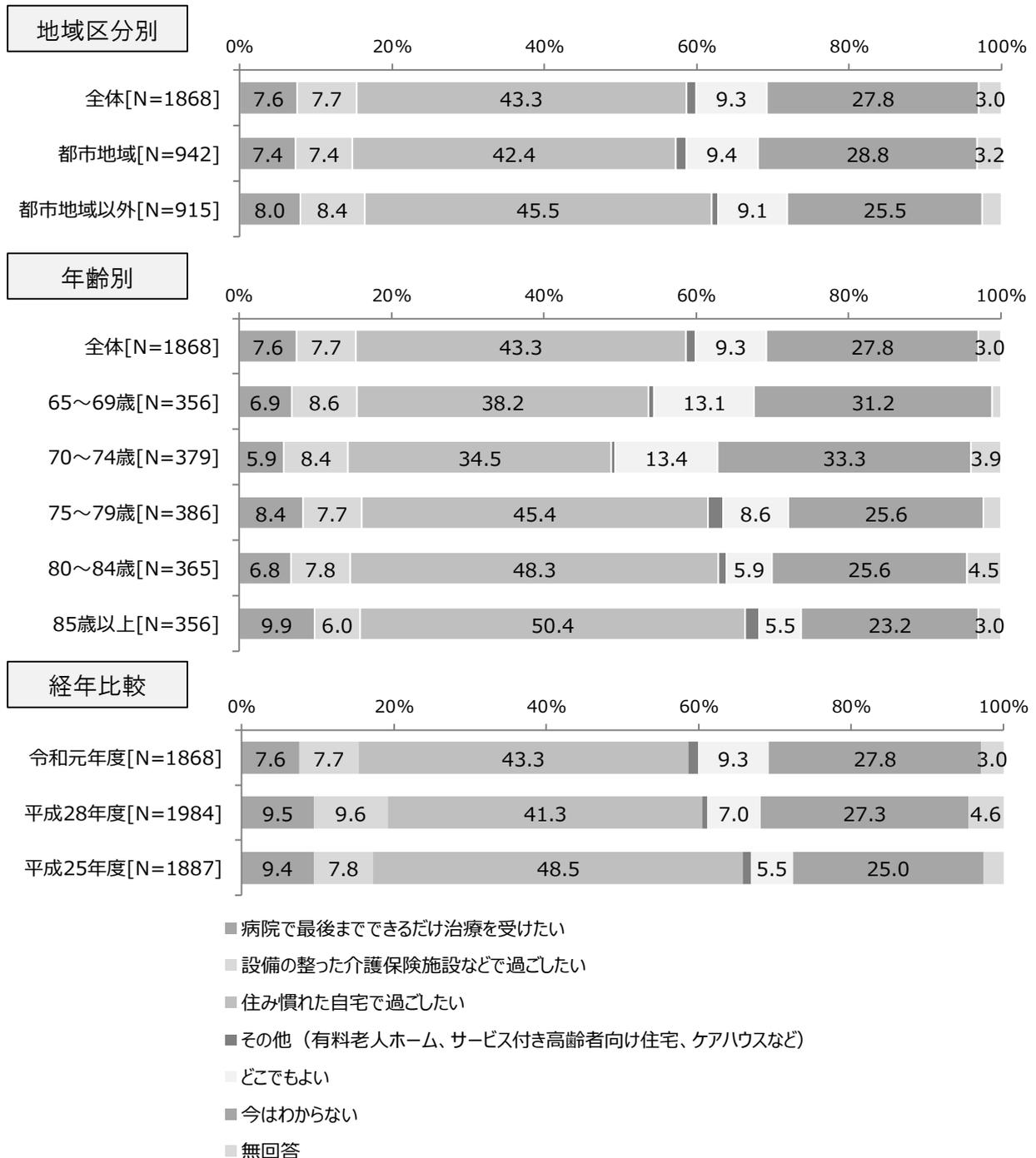
問31 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われますか。(最も近いもの1つに○)

自分が最期を過ごしたい場所について聞いたところ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が43.3%と多くなっています。次いで、「今はわからない」が27.8%となっています。

地域別では、都市地域以外で「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がやや多くなっています。年齢別では、85歳以上の人で、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人が多くなっています。

経年比較では、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がやや増加し、「設備の整った介護保険施設などで過ごしたい」という人がやや減少している傾向が見られます。

図表 34 最後を過ごしたい場所



(11) 高齢者の生活支援や介護の仕事について

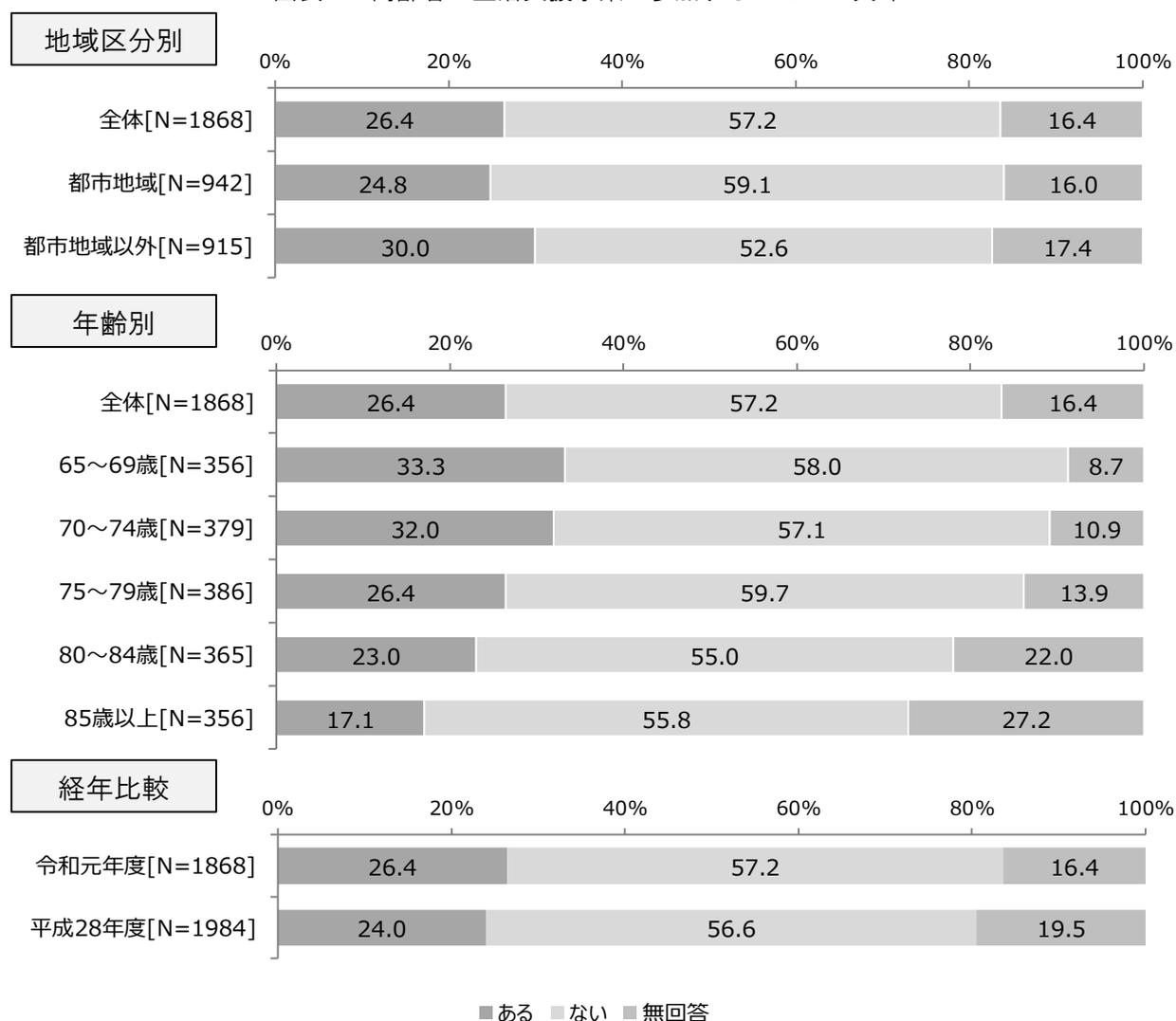
① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

問32 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、「ない」が57.2%、「ある」が26.4%となっています。

年齢別では、年齢が下がるにつれ、「ある」が多くなっています。

図表 35 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味



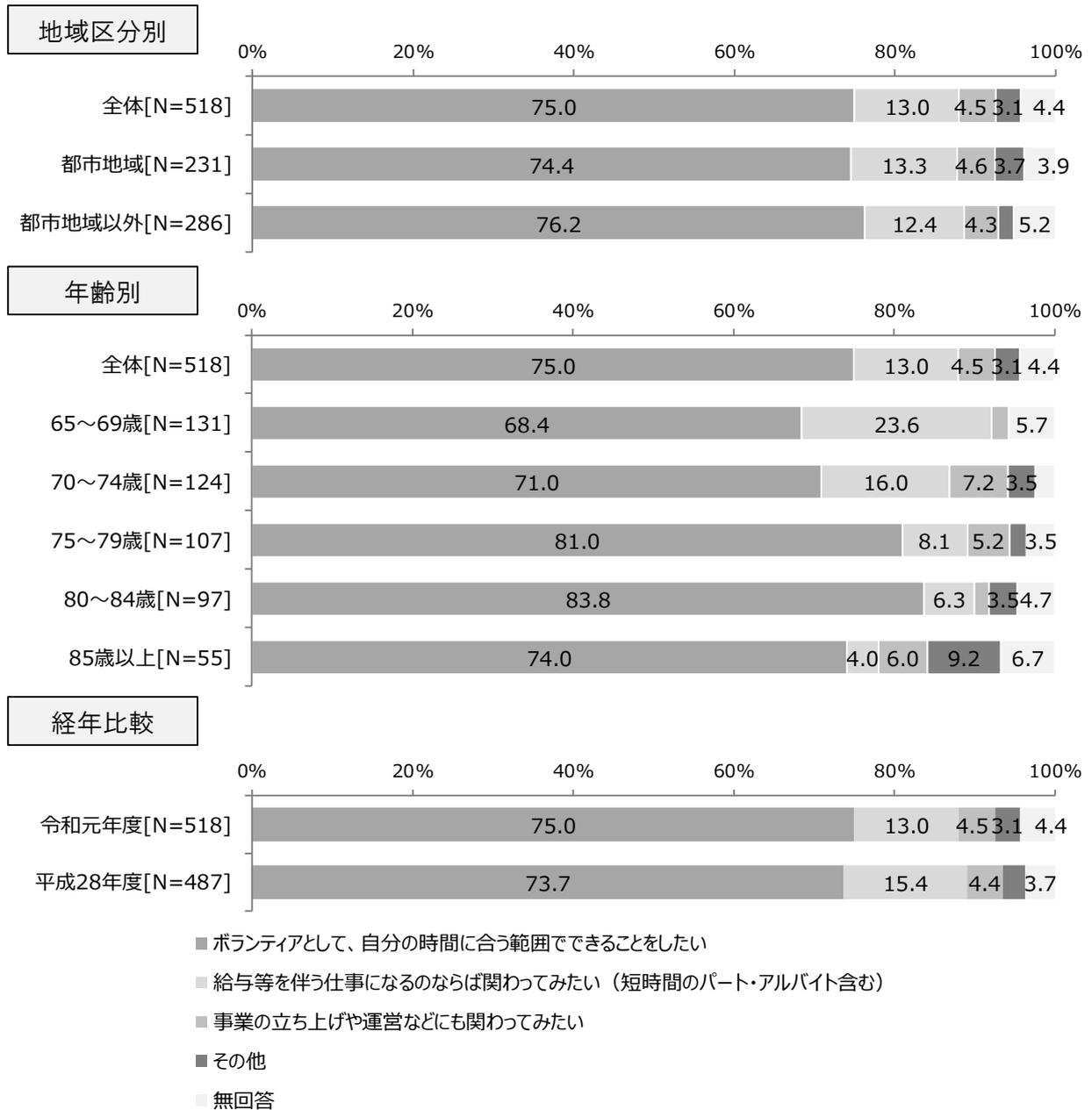
②高齢者の生活支援事業への参加の仕方の希望

問33 前の問で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が75.0%と多くなっています。

年齢別では75～84歳で「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」と回答する人が多くなっています。また65～69歳で「給与等が伴う仕事になるのならば関わってみたい」と回答する人が多くなっています。

図表 36 高齢者の生活支援事業への参加の仕方の希望



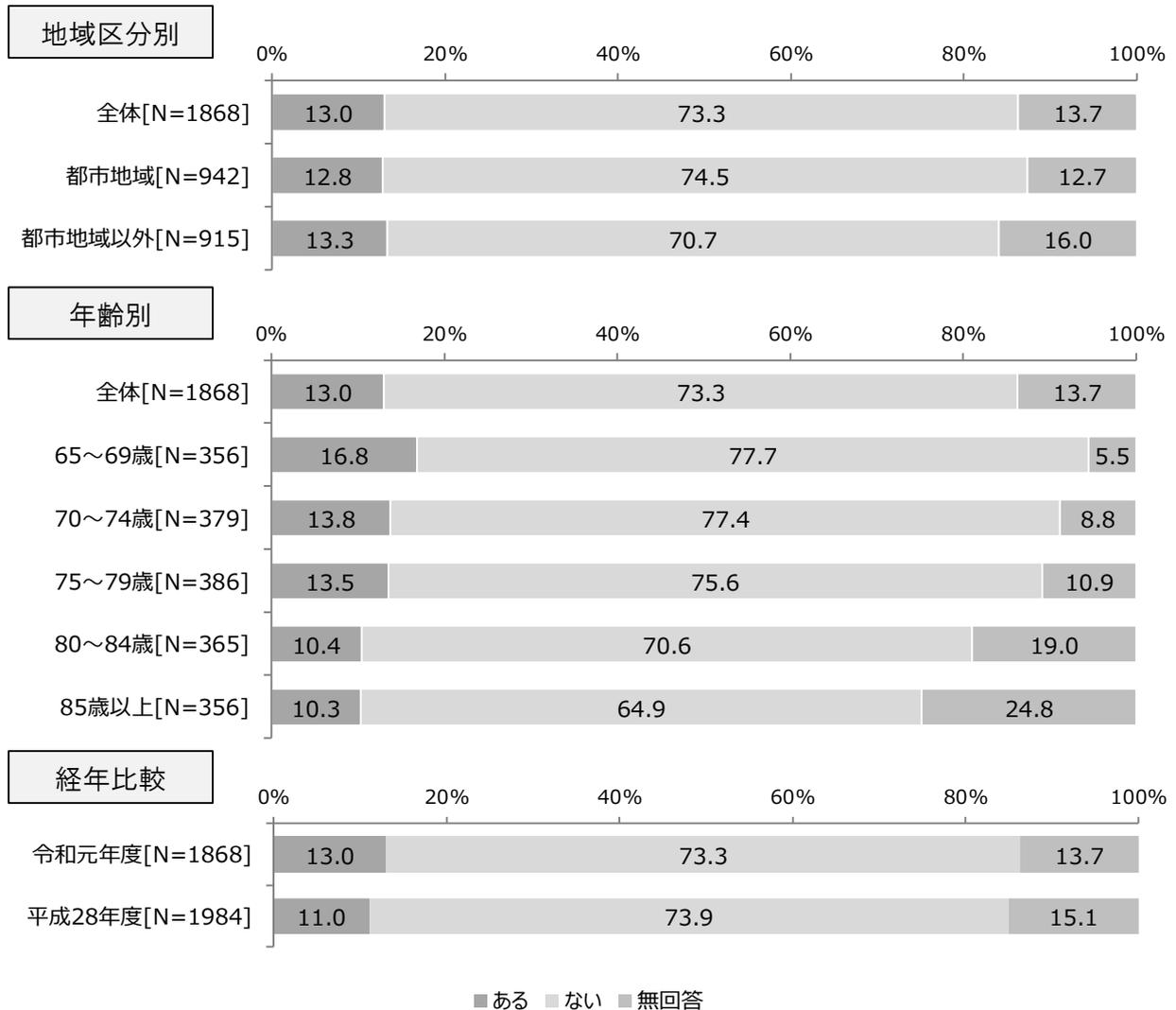
③高齢者施設等での仕事への興味

問34 あなたは、特別養護老人ホームや老人保健施設など、高齢者の介護やリハビリ等を行う施設で仕事をするということについて、興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者施設等で仕事することへの興味について聞いたところ、「ない」が73.3%、「ある」が13.0%となっています。高齢者の生活支援事業への興味と比べると、「ある」という人が少なくなっています。

年齢別で見ると、年齢の若いほど、「ある」という人が多い傾向が見られます。

図表 37 高齢者施設等での仕事への興味

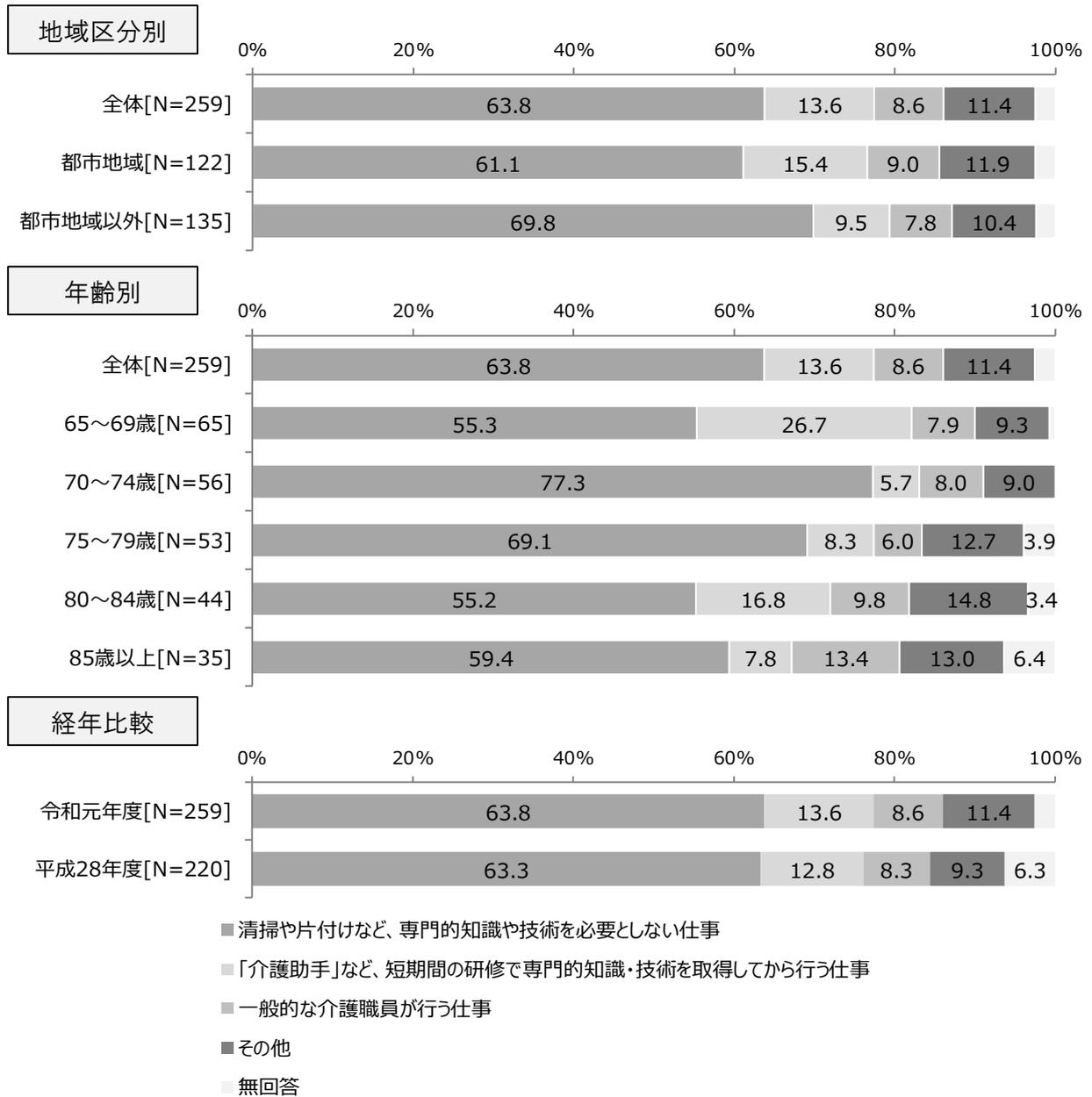


④高齢者施設等での働き方の希望

問35 前の問で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのような働き方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者施設等で仕事をするに興味があると回答した人に、その働き方の希望を聞いたところ、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が63.8%と多くなっています。地域区分別では都市地域以外の「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が都市地域よりも多くなっています。年齢別では65～69歳で「『介護助手』など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事」が26.7%と他の層よりも多くなっています。

図表 38 高齢者施設等での働き方の希望

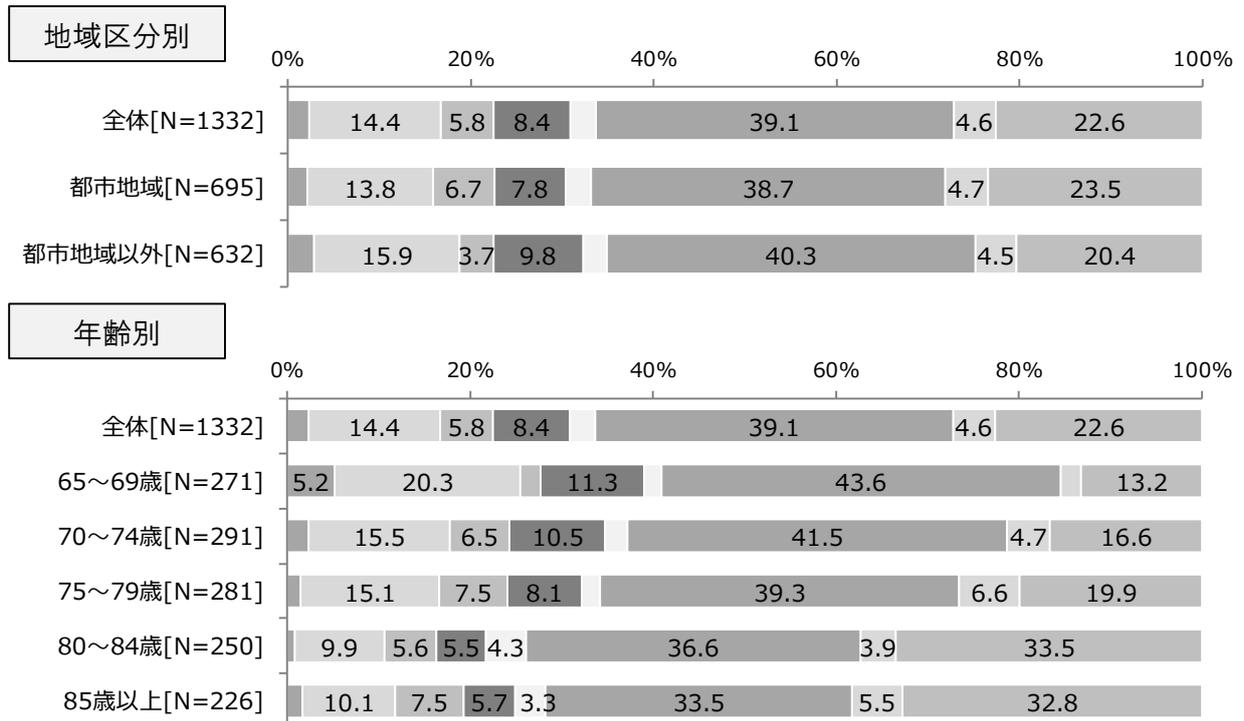


⑤ 高齢者施設等で働く際に興味がわく職場環境

問36 問34で「2. ない」と答えた方におたずねします。どのような職場環境になれば、介護施設での仕事に興味湧きますか。(最も重要と思うもの1つに○)

高齢者施設等で仕事をすることに興味がないと回答した人に、高齢者施設等で働く際に興味がわく職場環境を聞いたところ、「短時間勤務など自分の生活に合った働き方ができる」が14.4%、「仕事のストレスが少ないなど精神的負担が少ない」が8.4%、「力仕事が少ないなど身体的負担が少ない」が5.8%となっています。一方で、「職場環境が改善されても介護施設での仕事に興味湧かない」と回答した人が39.1%となっています。

図表 39 高齢者施設等で働く際に興味がわく職場環境



- 他業種と比べて同等以上の給料がもらえる
- 短時間勤務など自分の生活にあった働き方ができる
- 力仕事が少ないなど身体的負担が少ない
- 仕事のストレスが少ないなど精神的負担が少ない
- 介護現場で働く職員の社会的評価が高まる
- 職場環境が改善されても介護施設での仕事に興味湧かない
- その他
- 無回答

(12) 介護保険制度などについて

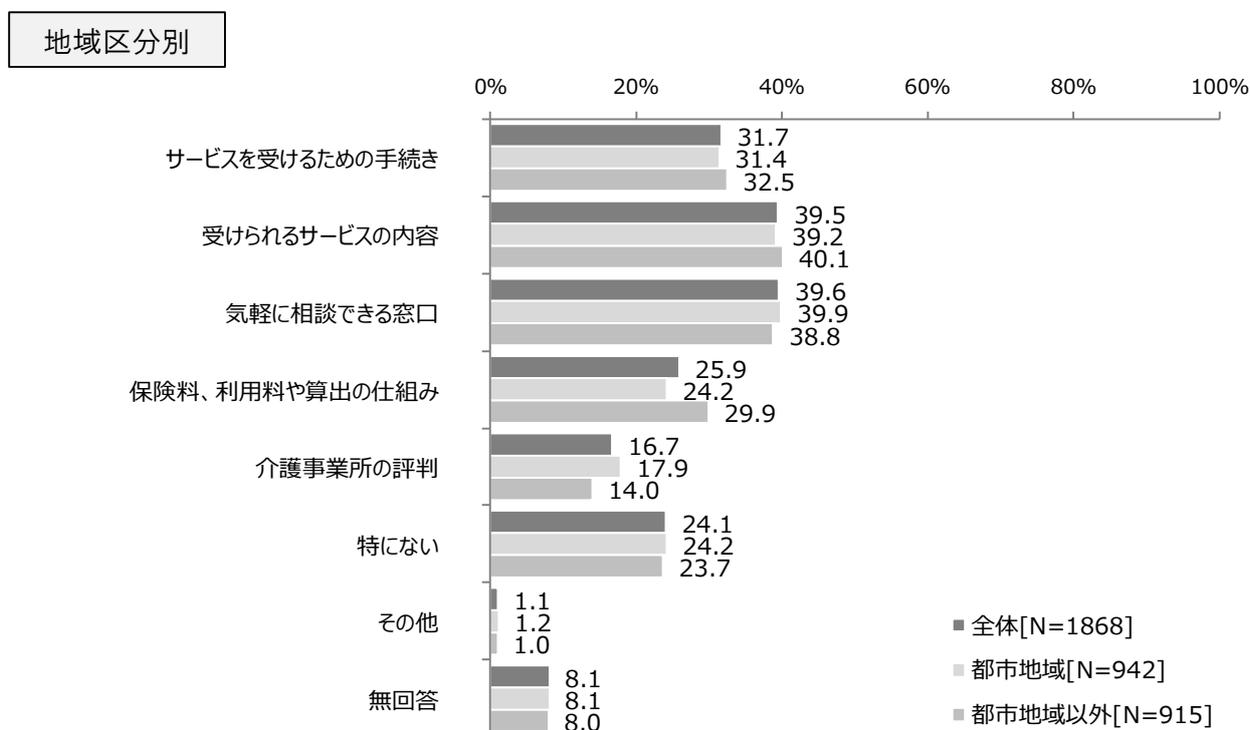
①介護保険制度やサービスについて知りたいこと

問37 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険制度やサービスで知りたいことについて聞いたところ、「気軽に相談できる窓口」が39.6%、「受けられるサービスの内容」が39.5%、「サービスを受けるための手続き」が31.7%、「保険料、利用料や算出の仕組み」が25.9%等となっています。

地域区別で見ると、都市地域以外で「保険料、利用料や算出の仕組み」の割合が高くなっています。年齢別では、65～69歳で「受けられるサービスの内容」が高くなっています。

図表 40 介護保険制度やサービスについて知りたいこと（複数回答）



年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
サービスを受けるための手続き	31.7	28.9	32.4	33.1	34.7	29.4
受けられるサービスの内容	39.5	45.4	40.8	40.8	41.7	28.6
気軽に相談できる窓口	39.6	40.5	41.0	39.8	41.8	34.5
保険料、利用料や算出の仕組み	25.9	28.3	23.5	27.5	28.4	21.9
介護事業所の評判	16.7	17.8	18.4	18.8	17.2	11.1
特にない	24.1	24.3	21.4	24.1	21.7	29.1
その他	1.1	0.8	1.0	1.2	1.6	0.9
無回答	8.1	2.8	5.6	7.1	11.0	14.1

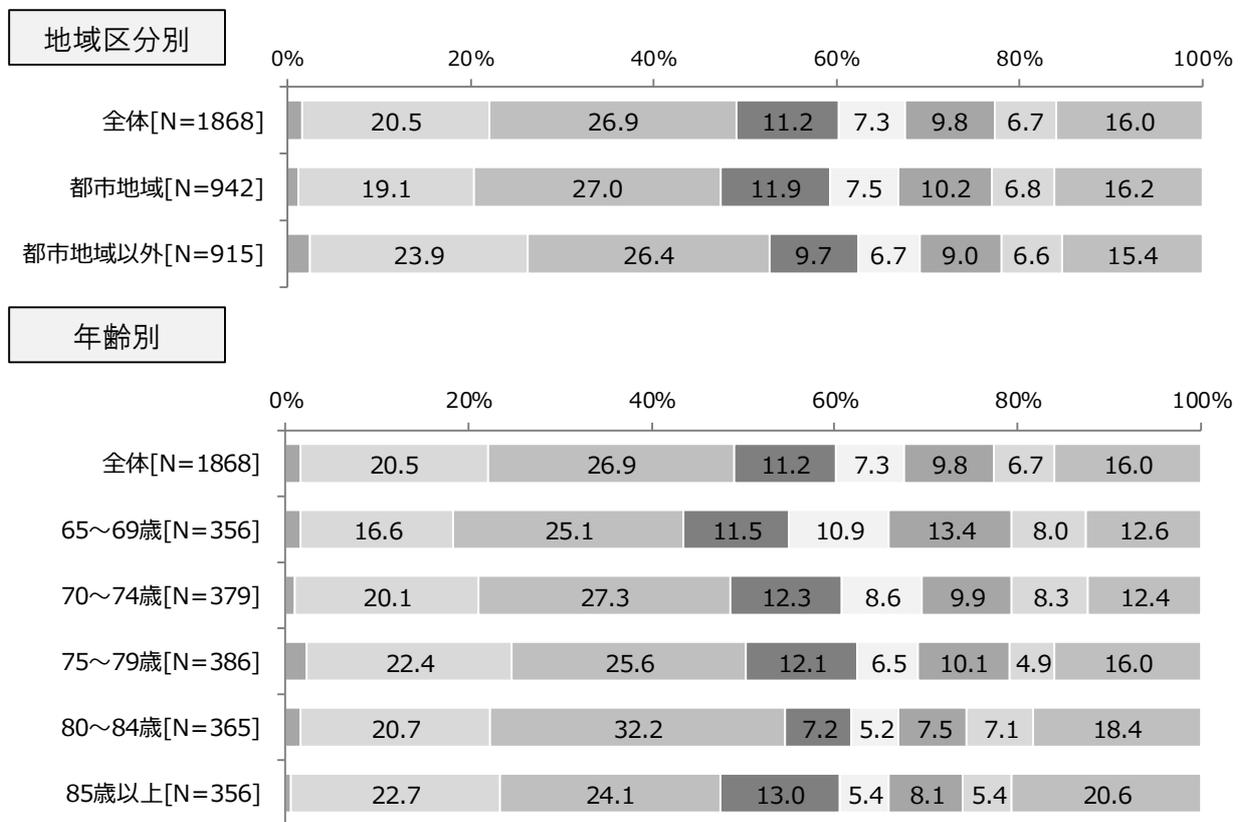
②介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方

問38 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方を聞いたところ、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が26.9%と最も多く、次いで、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が20.5%となっています。

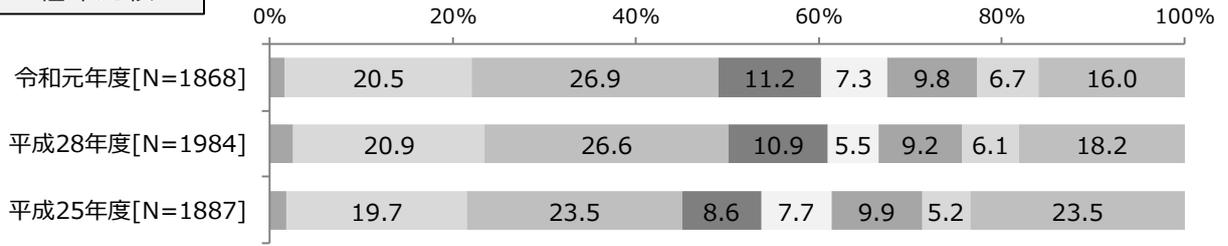
年齢別で見ると、80～84歳は「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」という人がやや多くなっています。

図表 41 介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- 利用者の負担割合（現状1～3割負担）を上げて、サービスの内容を維持すべき
- 利用者の負担割合（現状1～3割負担）を上げて、介護保険料を下げるべき
- その他
- 無回答

経年比較



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- 利用者の負担割合（現状1～3割負担）を上げて、サービスの内容を維持すべき
- 利用者の負担割合（現状1～3割負担）を上げて、介護保険料を下げるべき
- その他
- 無回答

③ 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況

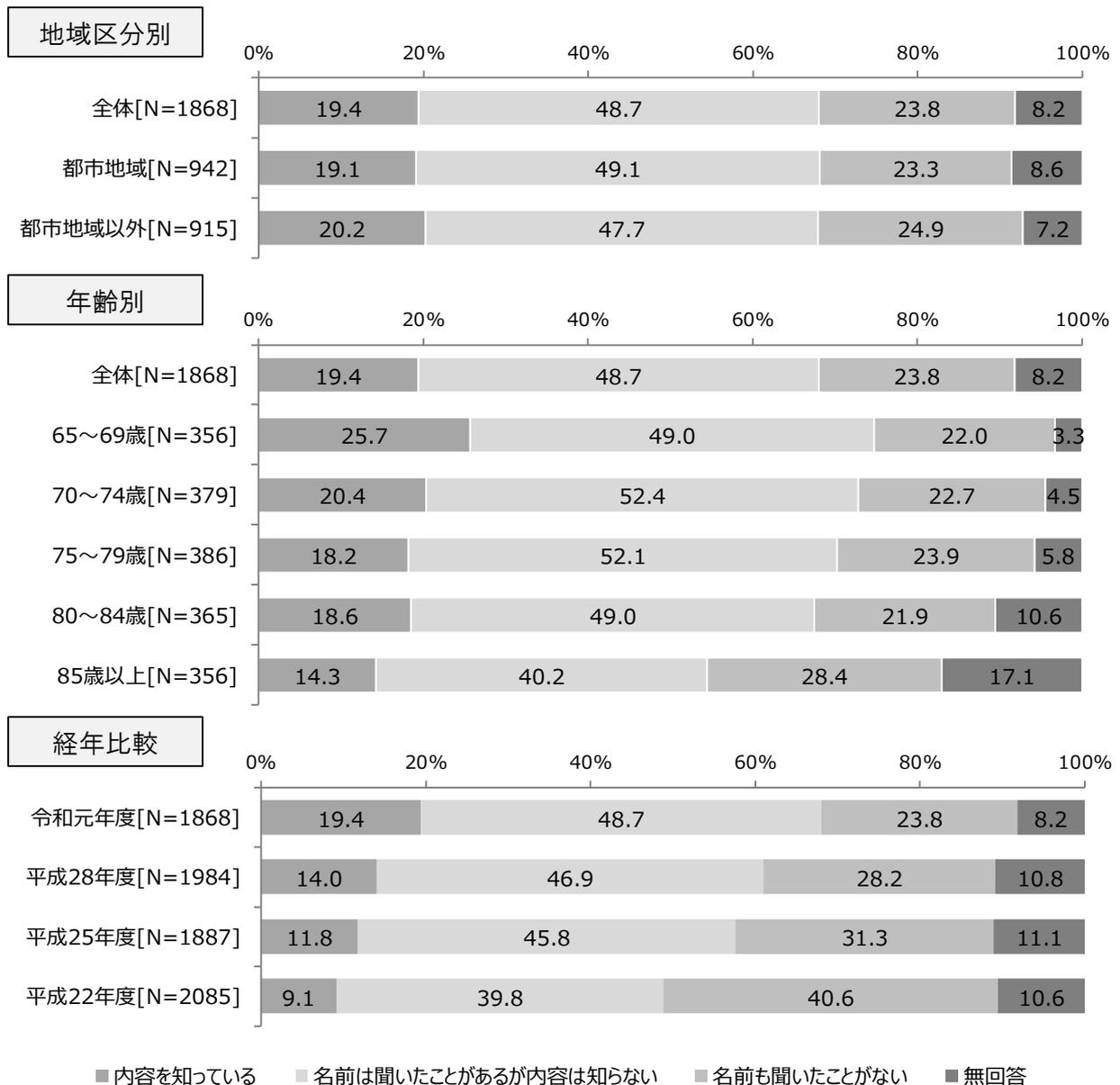
問39 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」について、知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が48.7%、「名前も聞いたことがない」が23.8%、「内容を知っている」が19.4%となっています。

年齢別で見ると、65～69歳で「内容を知っている」という人が多くなっています。

経年比較では、「内容を知っている」が増えているのに対し、「名前も聞いたことがない」という人は減っており、認知状況は向上しています。

図表 42 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況



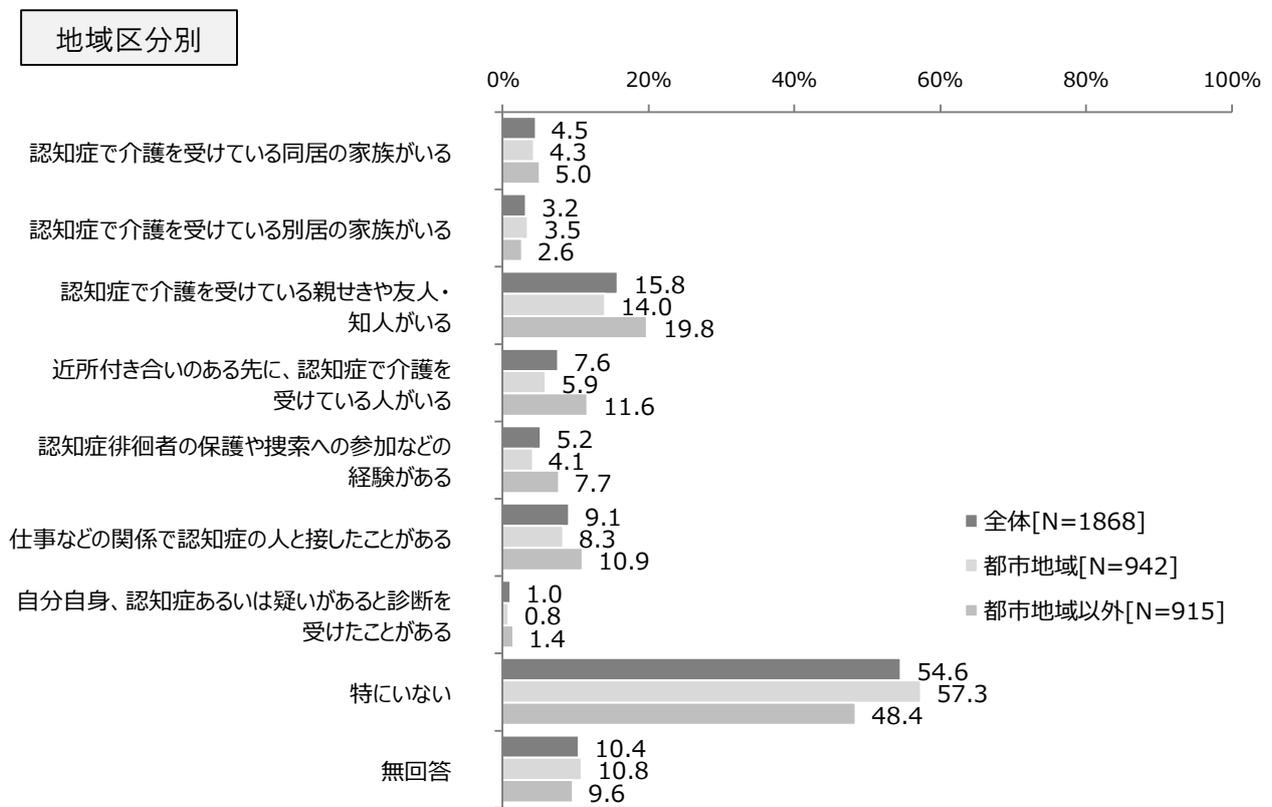
(13) 認知症について

①認知症の人との関わり

問40 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の人とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の人との関わりについては、「特にいない」が54.6%と多くなっています。関わりのある人では、「認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる」が15.8%等となっています。

図表 43 認知症の人との関わり



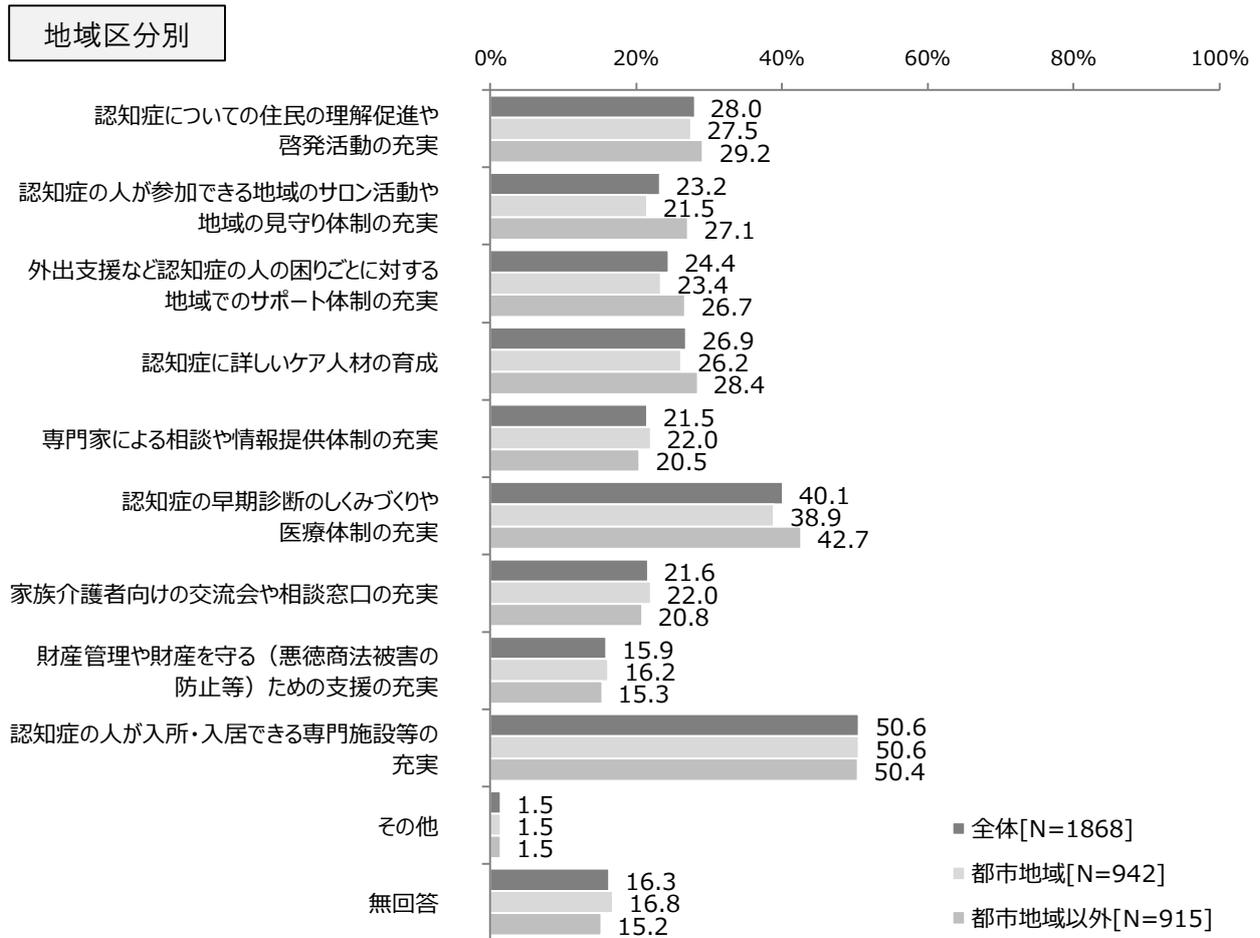
年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
認知症で介護を受けている同居の家族がいる	4.5	4.9	4.9	3.9	2.5	6.3
認知症で介護を受けている別居の家族がいる	3.2	9.0	2.4	1.3	2.0	1.8
認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる	15.8	13.3	15.6	17.6	17.3	14.7
近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がある	7.6	7.0	10.1	6.1	7.9	7.0
認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある	5.2	8.2	5.5	6.3	3.2	2.8
仕事などの関係で認知症の人と接したことがある	9.1	12.4	10.0	9.0	7.4	6.6
自分自身、認知症あるいは疑いがあると診断を受けたことがある	1.0	0.2	0.3	0.7	2.0	1.9
特にいない	54.6	51.8	57.0	53.0	57.6	53.6
無回答	10.4	6.5	5.9	11.9	12.8	15.3

②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

問41 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が50.6%と最も多く、次いで、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が40.1%、「認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実」が28.0%と続いています。

図表 44 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援



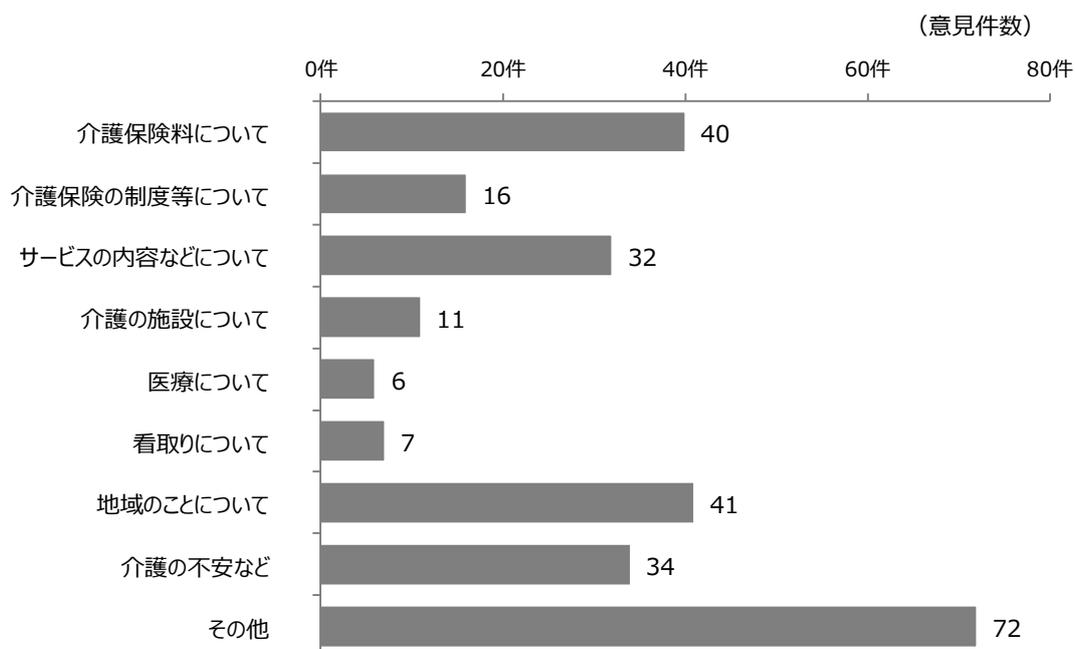
年齢別	全体 [N=1868]	65～69歳 [N=356]	70～74歳 [N=379]	75～79歳 [N=386]	80～84歳 [N=365]	85歳以上 [N=356]
認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実	28.0	26.8	32.9	29.4	29.2	21.2
認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実	23.2	26.4	23.7	22.5	21.4	22.1
外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実	24.4	28.4	27.5	24.6	21.6	19.9
認知症に詳しいケア人材の育成	26.9	30.5	27.8	26.2	26.4	23.4
専門家による相談や情報提供体制の充実	21.5	24.5	24.7	17.5	21.4	19.7
認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実	40.1	39.2	42.4	35.1	46.6	37.3
家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実	21.6	25.4	26.0	20.0	18.4	18.2
財産管理や財産を守る（悪徳商法被害の防止等）ための支援の充実	15.9	15.7	14.9	17.1	18.0	13.8
認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実	50.6	58.8	52.4	52.9	48.1	40.3
その他	1.5	0.6	0.3	1.6	2.4	2.5
無回答	16.3	8.9	11.5	14.8	22.1	24.6

(14) 自由意見

問42 高齢者の生活支援、介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

自由意見は、259件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。地域のこと、介護保険料やサービスの内容についての意見が多くなっています。

図表 45 自由意見の意見内容の内訳



【主な意見】

(介護保険料について)

- 長きにわたって、働き、十分税金を納めてきた国民に対し、70才まで働け、介護保険を上げていくなど、とんでもない国だと思う。国の予算をもっとこちらに回すべきだ。
- 介護保険料のしくみ等を考える必要があるのでは。
- 少ない年金生活者の介護保険料が高いと思うので、利用しない人には年間いくらかは返金してほしいです。
- 介護保険料は私にとって少々高額ですので、厳しく感じています。年金の1/3は普通なんでしょうか。
- 介護保険料について、年金受給者の負担が大きと感じる。若い世代の負担は増加したくないので、他の税、法人税（海外との競争力強化の為、下がっている）を上げるべきではと思う。

(介護保険の制度等について)

- 介護保険制度に頼りすぎな部分が多いと思います。もっと地域で近隣で支え合ったり、健康な高齢者で支え合ったりすることが必要だと思います。
- 介護保険料を払うばかりで利用の仕方等を教えて欲しい。生活支援、保健福祉サービス等のような事が受けられるのか、何も判らない。
- 介護保険料を年金からしっかり納めているのですが、認定がなかなか厳しく、自分の介護がうけにくい90才以上の方が近所に何名もいます。認定はもう少しゆるやかに。

(サービスの内容などについて)

- 免許証を返納すれば病院までタクシーを利用すると片道 8 千円近くかかるので、乗合タクシー等があれば助かります。/医療のため介護タクシーがもっと有ればいい。
- 高齢の母を介護しなければならない状態になった時、デイサービスやショートステイ、また介護用品等のサービスが受けられ、家族として大変助かりました。
- 1人住まいの者にとっては支援が必要になり、そのことについてサービスの相談できる施設が必要である。
- サービスに携わるすべての人材育成にもっと力を入れるべきだと考えます。
- 自宅で生活支援をかなうまで受けることができるようなサービスを充実してほしい。

(介護の施設について)

- 現在政府のオレンジプランなど知らない人が多いのではないか。もっとこんな施設があるとか、こんな利用方法があるとか広報してほしい。
- 国民年金程度で入れる施設をたくさん作って欲しい！今のままでは私達は入れません…。近くに有るのは特別養護老人ホームばかり。高額で入れません。

(地域について)

- 近くに生活必需品の店舗がなく困難です。
- この町内にはスーパーがなく、近隣のスーパーまで車で行かなければ買物できません。主人が免許返納すれば買い物弱者となってしまいます。時折歩いて買い物に行きますが、30分かかり、そう先の話でもなくなって来た今、一番の悩みです。
- サロンを地域内に作って交流出来る様、今後地域で運営する為の指導支援が欲しい。
- 84才の一人暮らしです。台風等はこわくて生きた心地がしない。このような場合に地域の民生委員等のアドバイス等が必要と思うが、今までになかった。

(介護の不安など)

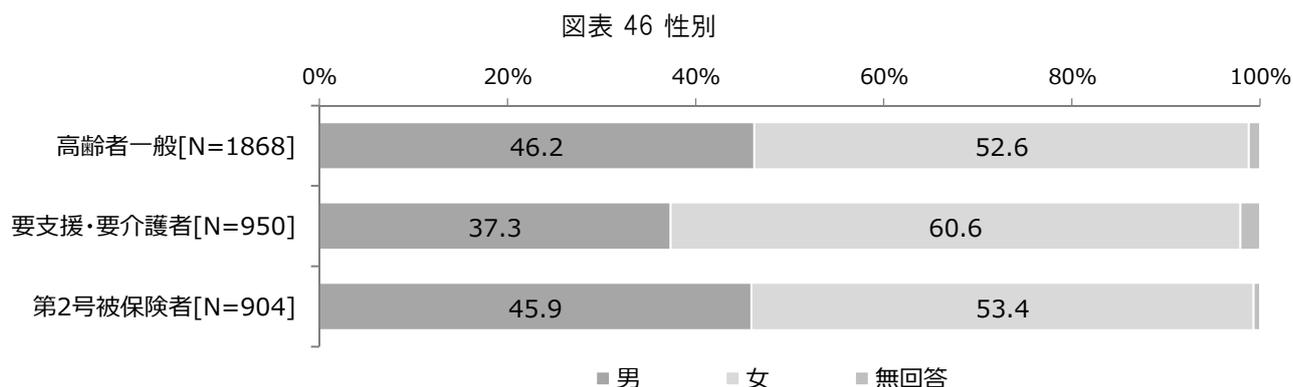
- 一人になった場合のことが非常に不安です。その場合、施設でお世話になりたいと思いますが、簡単でないとの話も聞きます。一人になった場合に入所できる施設の充実を切望します。
- 自身が高齢になっていく先でどのような病気になっていくかわからないので、そのつど気安く相談できる場所があれば良いと思います。
- 今は身体も動かせ、認知症も出ていないので興味はないが、いざその時になったらどう考え、どうしようか慌てると思う。
- 私自身の心配事は、もし入院したり施設への入所の際には保証人が必要とのことですが、長生きすればするほど依頼する人が少なくなってくるので、公的機関等で保証人代わりにしてくれるようになると安心できます。
- 一人すまいの高齢者が病気になり入院、後に延命治療を拒否した場合、受け皿となる場所。自宅に居てヘルパーさんに手に負えないような重篤になった場合。たとえ一人暮らしでなく老々介護になった時の場合、等々に陥った時にどのような選択肢があるのか、不安になります
- 今後何らかの理由で、生活支援や介護サービス等を受けなくてはならない時を考えると費用面、及びサービスの内容等不安になる事が多くて、とても不安です。

3 調査間の比較

(1) 回答者の属性

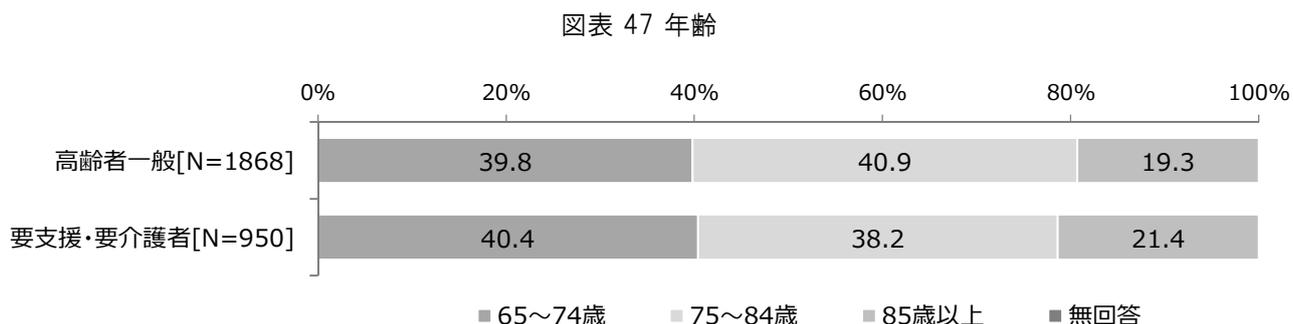
①性別

性別は、高齢者一般で「女」が52.6%、「男」が46.2%、要支援・要介護者で「女」が60.6%、「男」が37.3%、第2号被保険者で「女」が53.4%、「男」が45.9%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。



②年齢

年齢は、高齢者一般では「65～74歳」が39.8%、「75～84歳」が40.9%、「85歳以上」が19.3%となっています。要支援・要介護者では「65～74歳」が40.4%、「75～84歳」が38.2%、「85歳以上」が21.4%となっています。

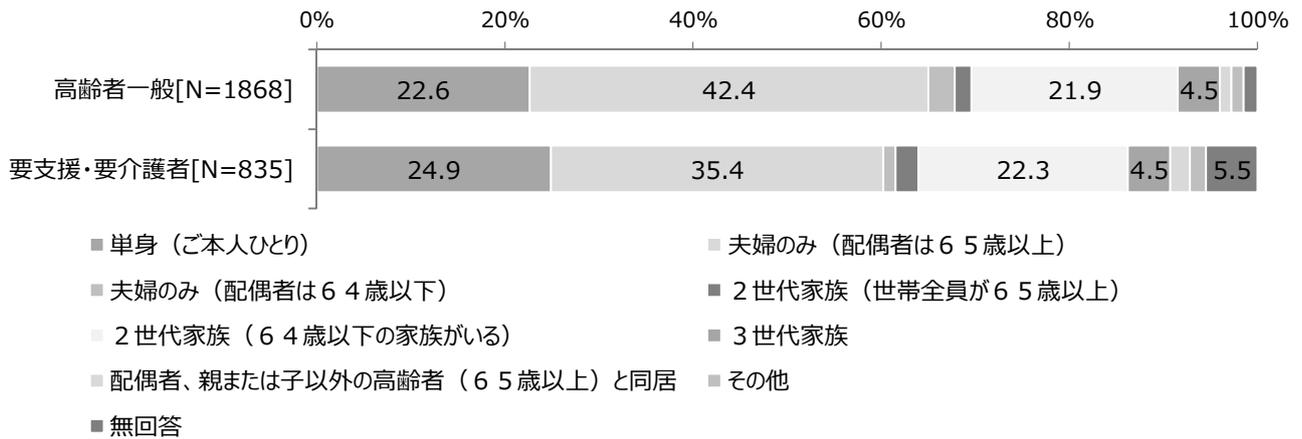


③世帯

世帯については、高齢者一般で、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が42.4%、「単身（ご本人ひとり）」が22.6%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が21.9%等となっています。

また、要支援・要介護者の世帯は、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が35.4%、「単身（ご本人ひとり）」が24.9%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が22.3%等となっています。高齢者一般に比べて要支援・要介護者は「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が少なくなっています。

図表 48 世帯

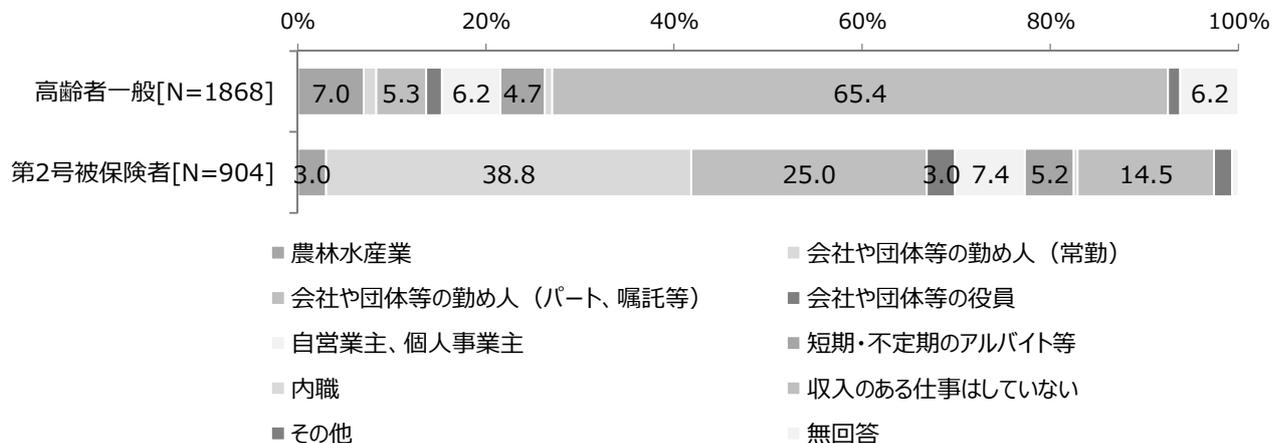


④仕事

仕事は、第2号被保険者では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が38.8%と最も高く、次いで、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が25.0%、「収入のある仕事はしていない」が14.5%となっています。

高齢者一般では「収入のある仕事はしていない」が65.4%となっており、仕事をしている人では、「農林水産業」が7.0%、「自営業主、個人事業主」が6.2%等となっています。「農林水産業」は第2号被保険者より高齢者一般で高い割合となっています。

図表 49 仕事



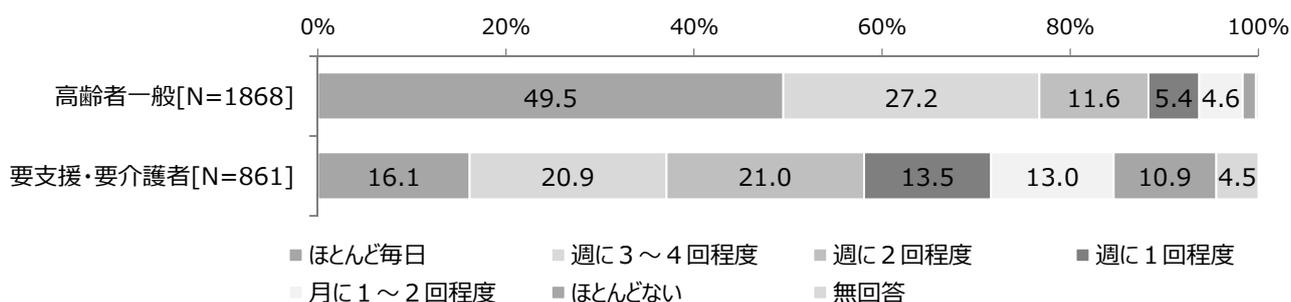
(2) 日常生活について

①外出の頻度

高齢者に対し、外出の程度を聞いたところ、高齢者一般では、「ほとんど毎日」が49.5%、「週に3～4回程度」が27.2%となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「週に2回程度」が21.0%、「週に3～4回程度」が20.9%等となっており、外出が少ない様子が見えます。

図表 50 外出の頻度

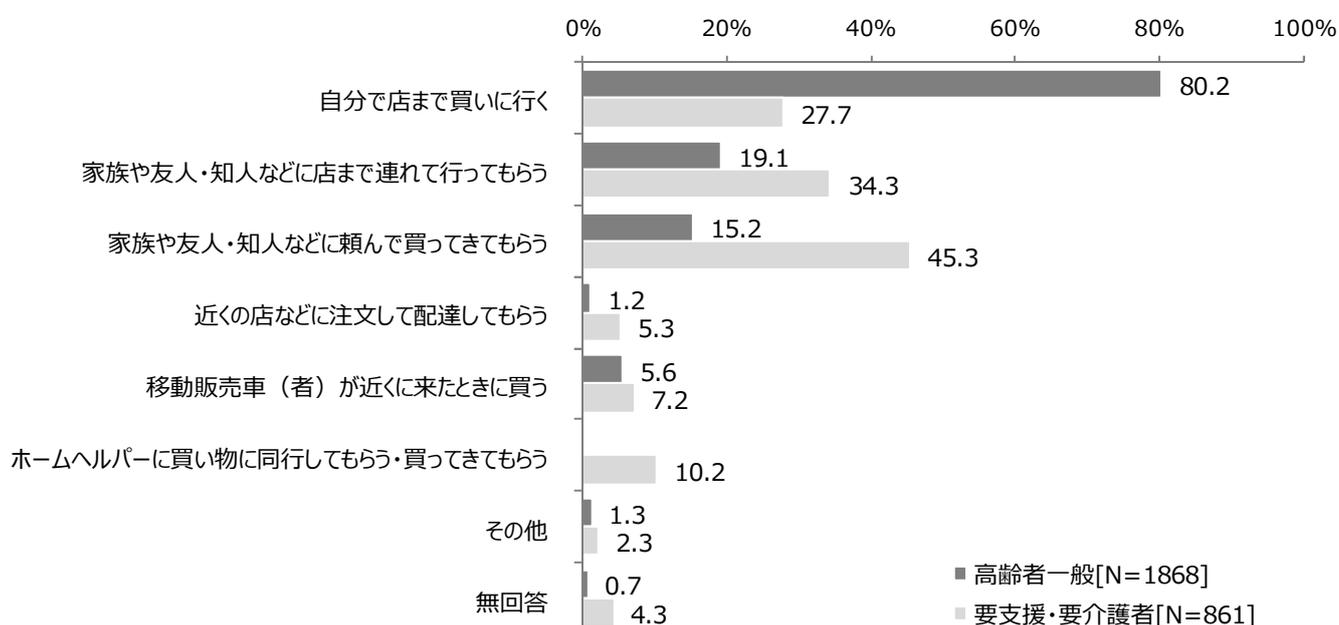


②買い物の状況

高齢者に対し、現在の買い物の方法を聞いたところ、高齢者一般では、「自分で店まで買いに行く」が80.2%と多くを占めます。また、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が19.1%、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が15.2%となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が45.3%と半数近くを占めています。次いで、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が34.3%となっており、多くの人が家族等を頼って買い物をしている様子が見えます。

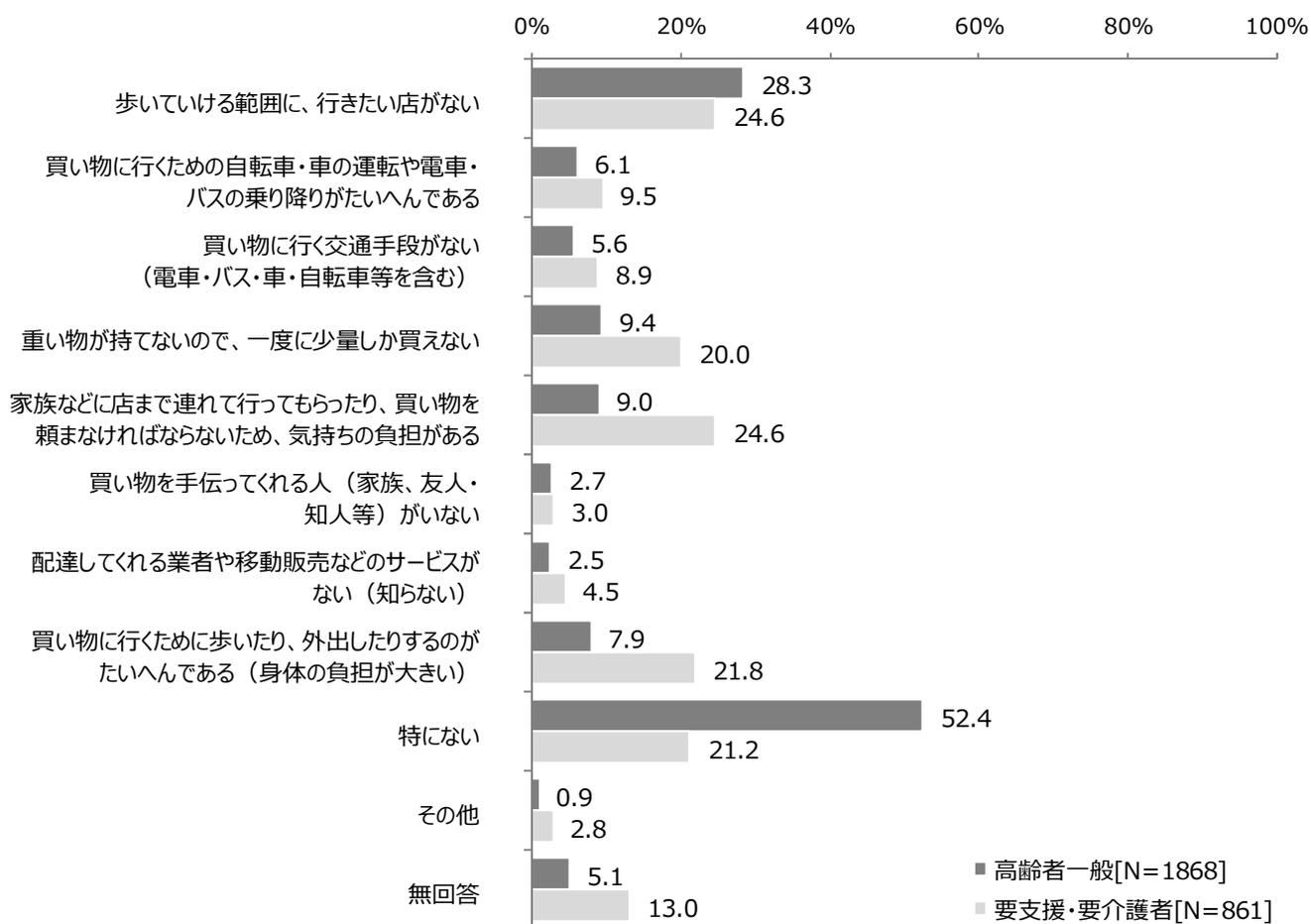
図表 51 買い物の方法（複数回答）



また、買い物で困っていることについては、高齢者一般では「特にない」が52.4%と半数を占めます。困っていることに関しては、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が28.3%となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」のいずれもが24.6%、「買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）」が21.8%、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が20.0%等と比較的高い割合となっており、「特にない」という人は21.2%と2割台になっています。

図表 52 買い物で困っていること（複数回答）

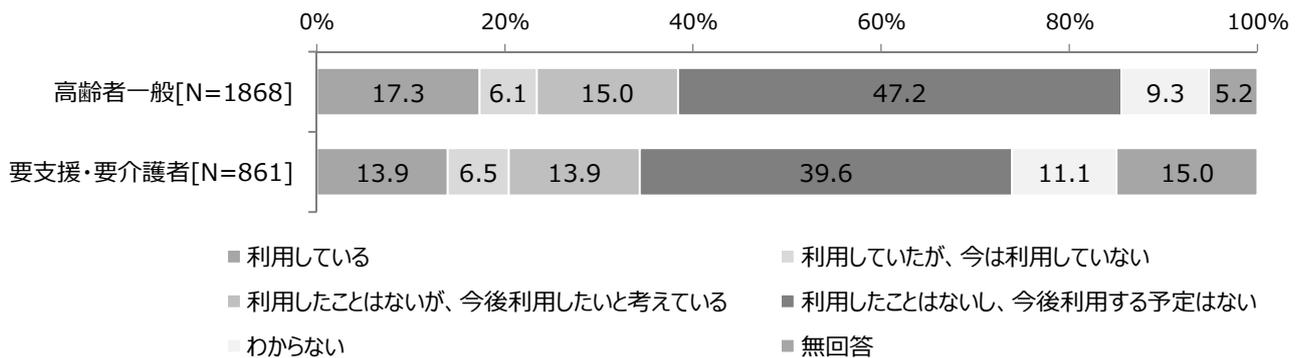


③介護予防で利用している介護予防サービス

介護予防のためのサービスの利用の有無については、高齢者一般では、「利用している」が17.3%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が15.0%、「利用していたが、今は利用していない」が6.1%となっています。一方で「利用したことはないし、今後利用する予定はない」は47.2%となっています。

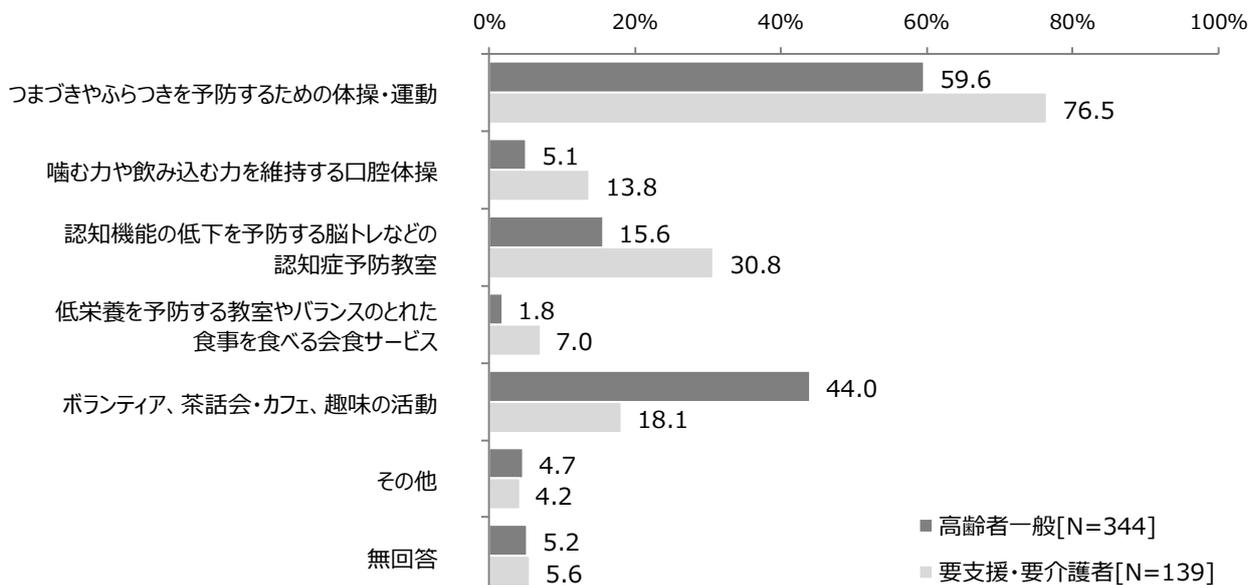
要支援・要介護者については、「利用している」が13.9%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が13.9%、「利用していたが、今は利用していない」が6.5%となっています。「利用したことはないし、今後利用する予定はない」については39.6%となっています。

図表 53 介護予防のためのサービス利用の有無



利用している介護予防サービスについては、高齢者一般では「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が59.6%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が44.0%、「脳トレなどの認知症予防教室」が15.6%等となっています。要支援・要介護者については、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が76.5%、「脳トレなどの認知症予防教室」が30.8%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が18.1%等となっています。

図表 54 利用している介護予防サービス（複数回答）

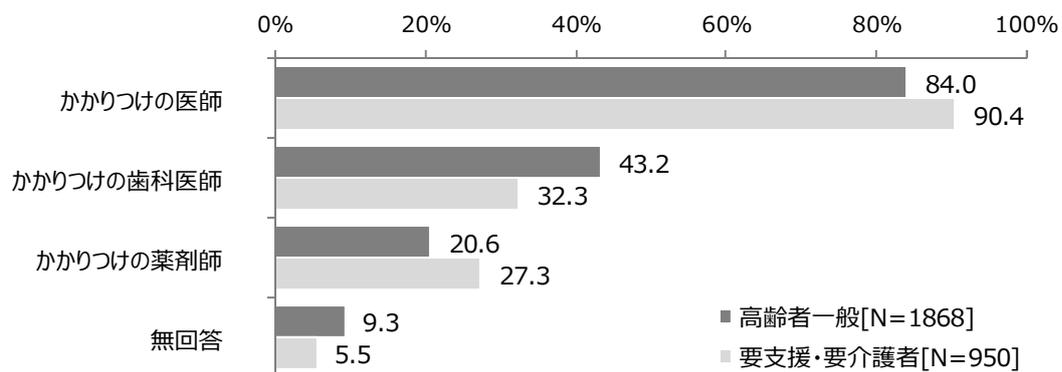


(3) 医療等の状況について

① かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

高齢者に対し、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無について聞いたところ、「かかりつけの医師」がいる人は、高齢者一般で84.0%、要支援・要介護者で90.4%となっており、多くの高齢者にかかりつけの医師がいます。

図表 55 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



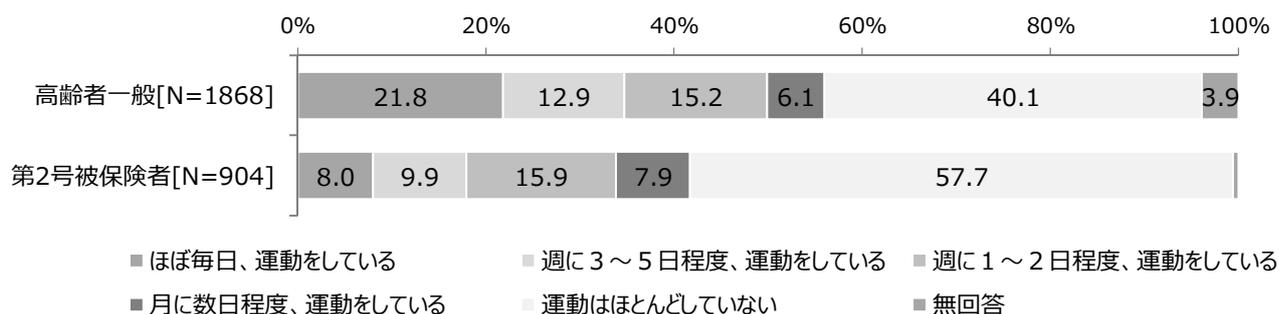
(4) 健康について

①運動の状況

運動の状況は、高齢者一般では、「運動はほとんどしていない」が40.1%である一方、「ほぼ毎日、運動をしている」も21.8%と多くなっています。

第2号被保険者では、「運動はほとんどしていない」が57.7%と半数以上みられ、次いで、「週に1～2日程度、運動をしている」が15.9%となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は運動をしていない人が多くなっています。

図表 56 運動の状況

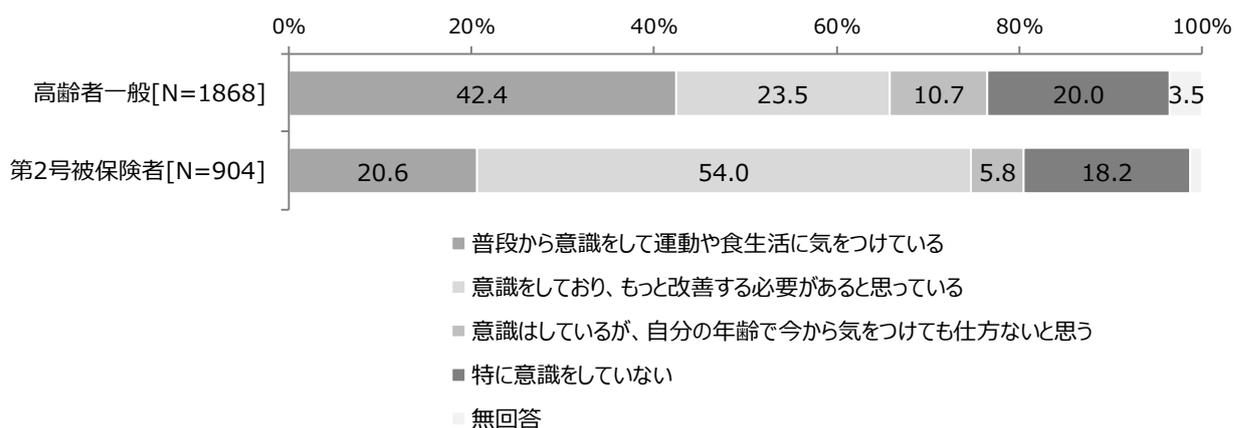


②健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、高齢者一般では、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が42.4%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が23.5%となっています。

第2号被保険者では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が54.0%と半数以上を占め、次いで、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が20.6%となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は意識をしている人は多いですが、普段から気をつけている人は少ない傾向が見られます。

図表 57 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

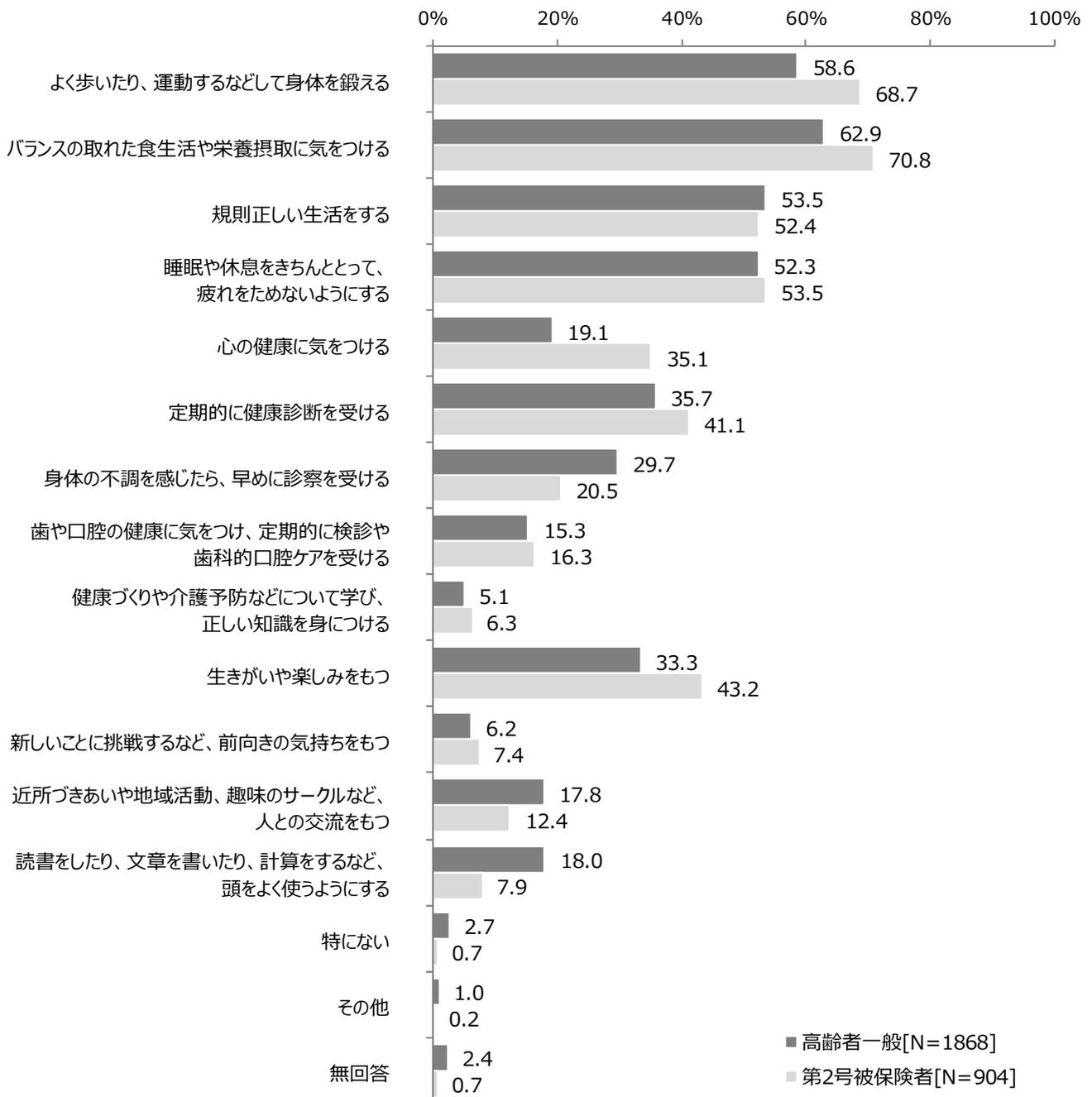


③健康づくり等で重要と思うこと

健康づくり等で重要と思うことは、高齢者一般では、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が62.9%と最も高くなっており、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が58.6%と続いています。

一方、第2号被保険者では、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が70.8%と最も高く、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が68.7%となっています。また、「生きがいや楽しみをもつ」ことも43.2%と高い割合です。高齢者も第2号被保険者もほぼ同様なことを重要と考えていますが、第2号被保険者では「生きがいや楽しみを持つ」こと、「心の健康に気をつける」ことなどの割合が高齢者と比べて高くなっています。

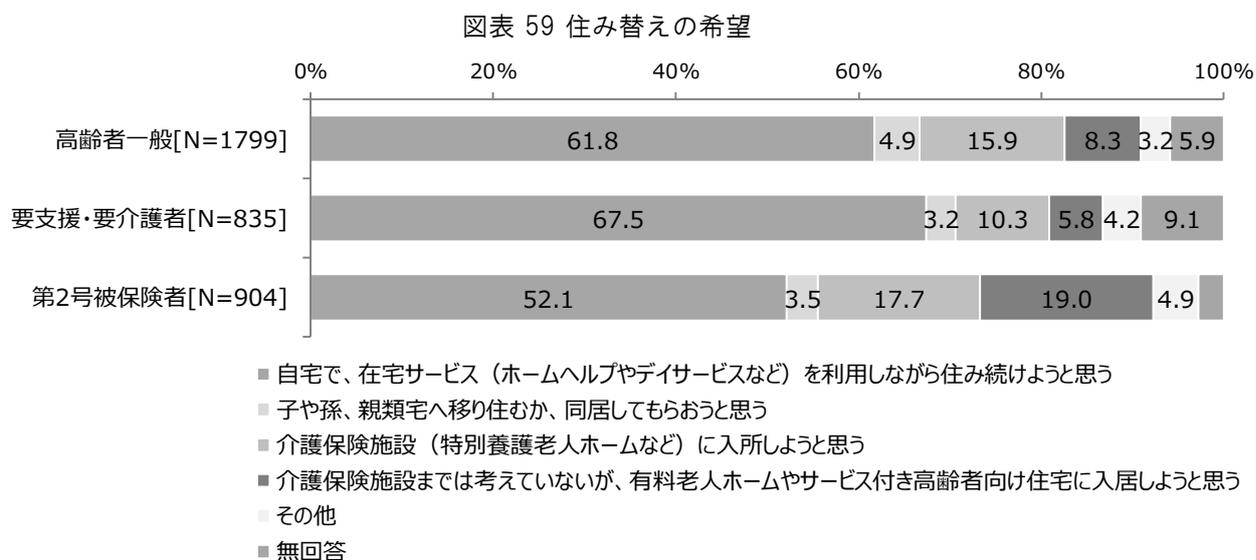
図表 58 健康づくり等で重要と思うこと（複数回答）



(5) 住まい、住み替えなどについて

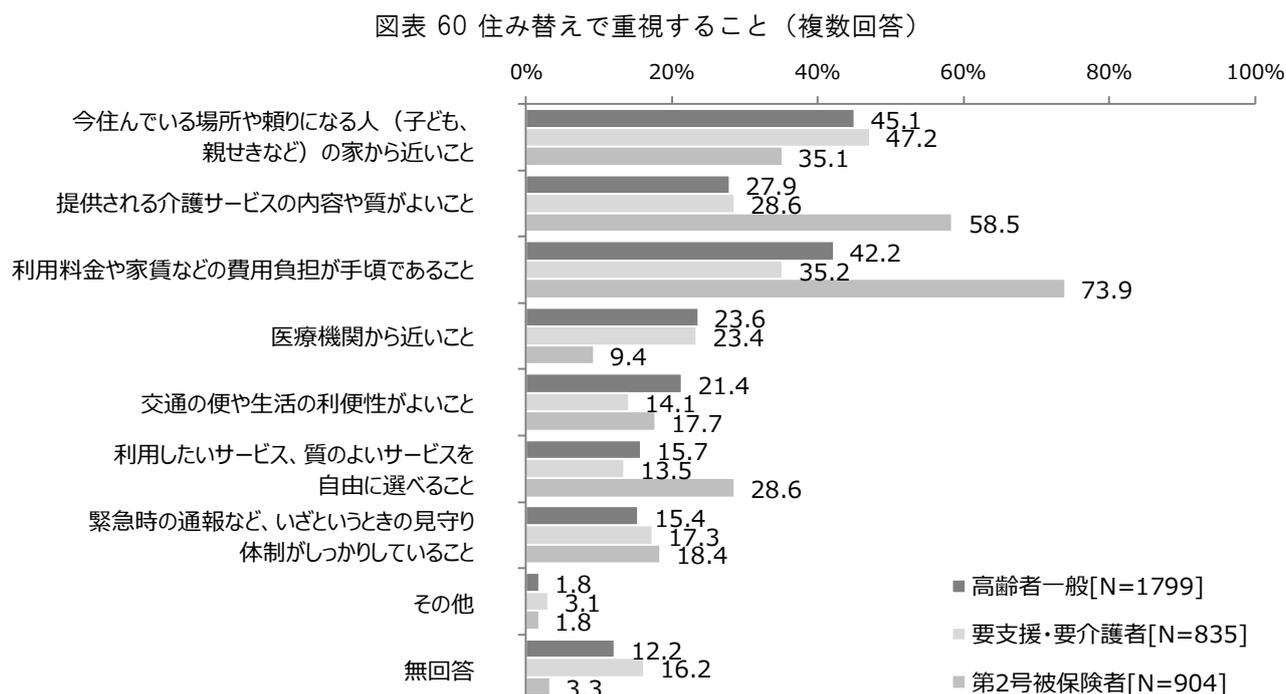
①住み替えの希望

将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者で、「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が高くなっており、高齢者では、現在の場所に住み続けたいという人が多くなっています。一方、第2号被保険者では、「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が52.1%となっている一方、施設入所や住み替えを考える人も多くなっています。



②住み替えで重視すること

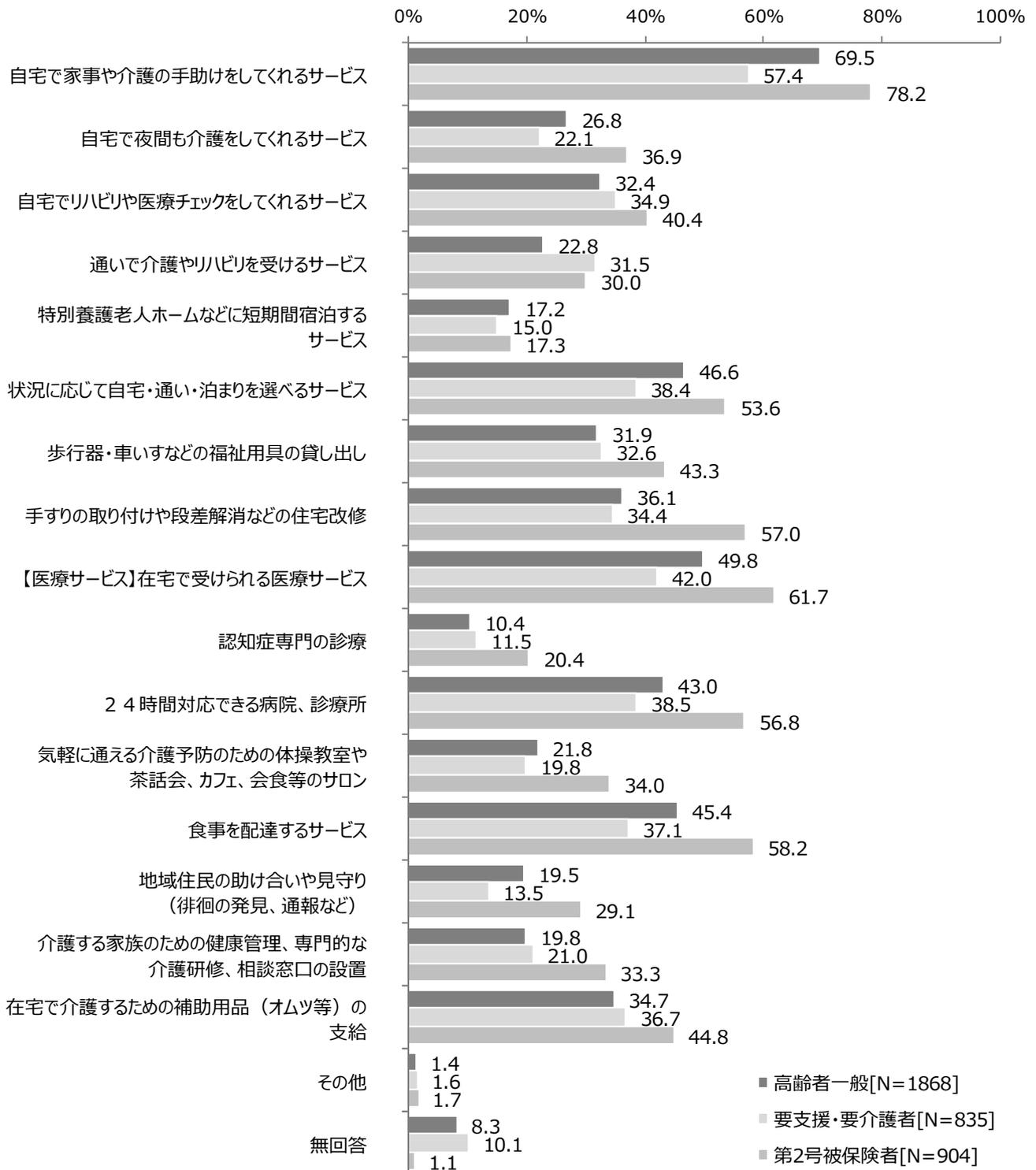
住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」などが高い割合となっています。一方、第2号被保険者では、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」や「提供される介護サービスの内容や質が良いこと」が高い割合となっており、第2号被保険者で費用負担やサービスの質を重視する人が多くなっています。



③在宅生活に必要なサービス

在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、高齢者一般に比べ、第2号被保険者で必要と思う割合が全般的に高くなっています。また、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者いずれも「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が最も多くなっています。

図表 61 在宅生活に必要なサービス（複数回答）

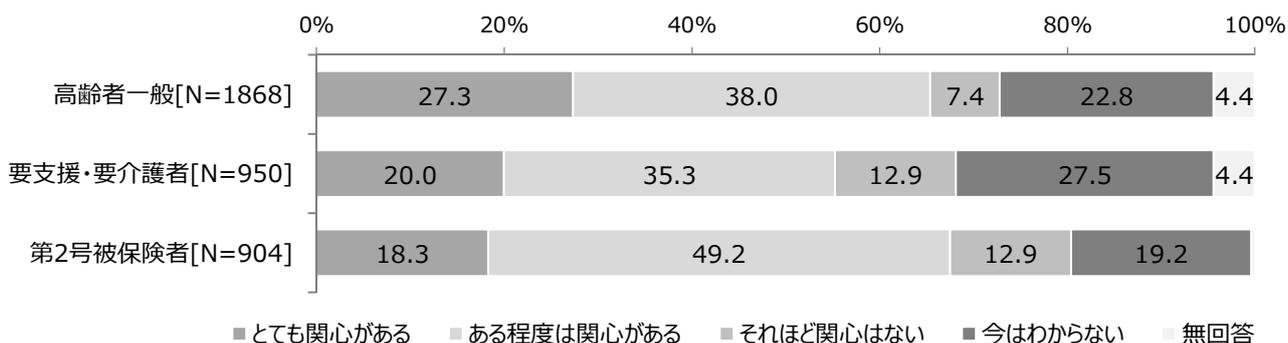


(6) 看取りなどについて

①延命治療等への関心

延命治療等への関心について聞いたところ、高齢者一般、第2号被保険者では関心のある人が6割台となっています。一方、要支援・要介護者では関心のある人が5割台となっています。

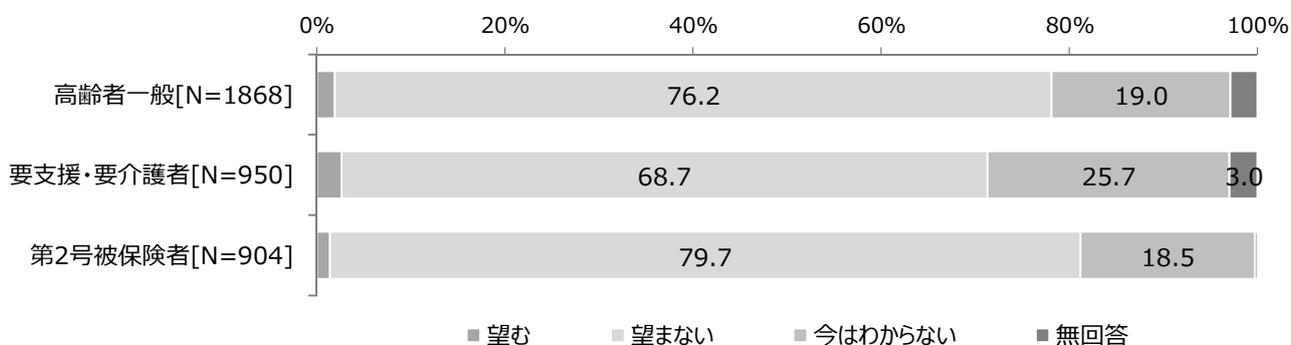
図表 62 延命治療等への関心



②延命治療に対する希望

延命治療に対する希望を見ると、延命治療は「望まない」という人が6～7割台でいずれも多くなっています。要支援・要介護者では「今はわからない」という人も比較的多くなっています。

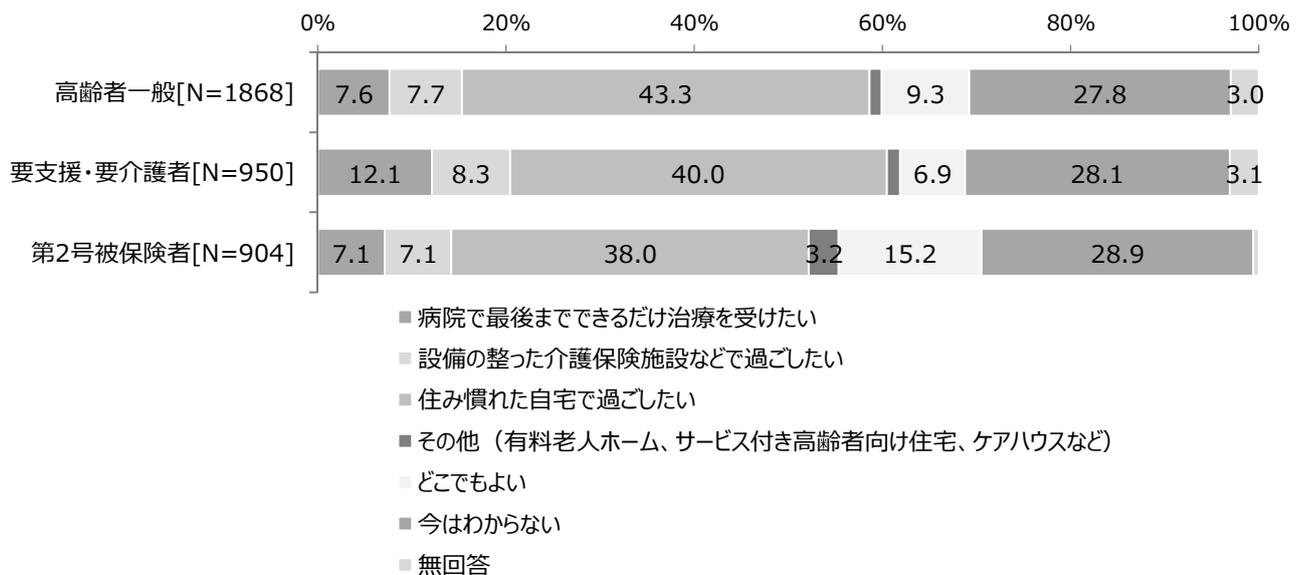
図表 63 延命治療に対する希望



③最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人が4割前後と多くなっています。一方、「今はわからない」という人がいずれも3割近く見られます。

図表 64 最期を迎えたい場所



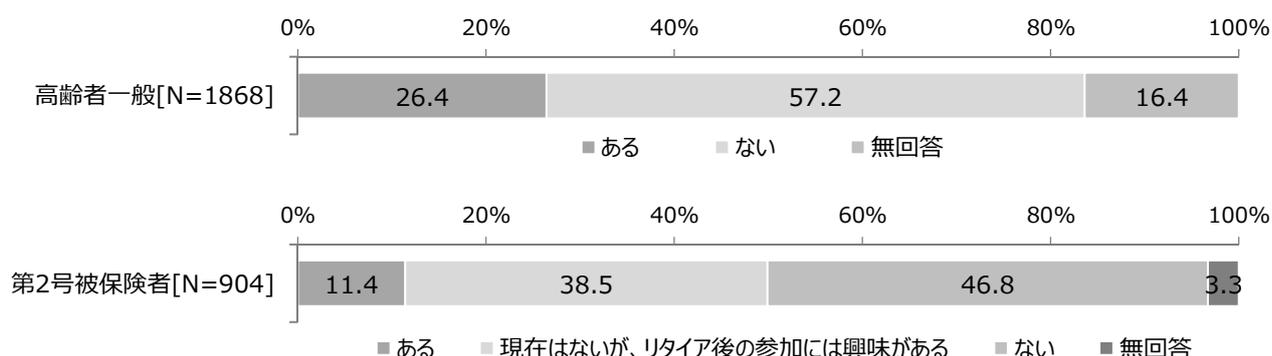
(7) 高齢者の生活支援や介護の仕事について

① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、高齢者一般では「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が57.2%、「ある」が26.4%、「ない」が16.4%となっています。

第2号被保険者では、「ない」が46.8%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が38.5%、「ある」が11.4%となっており、高齢期になってから興味のある人が比較的多くなっています。

図表 65 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

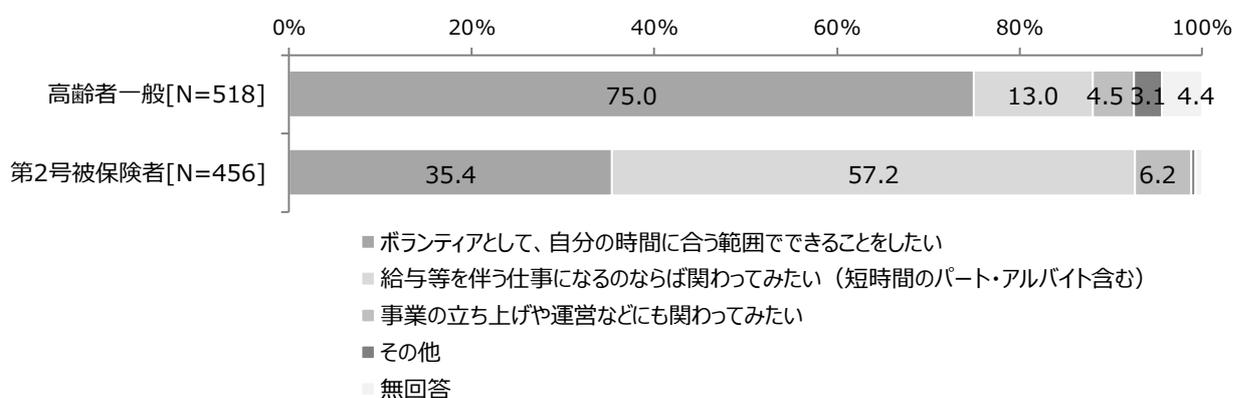


② 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、高齢者一般では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が75.0%と多くなっています。

一方、第2号被保険者では、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が57.2%となっており、仕事として考える人が多くなっています。

図表 66 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

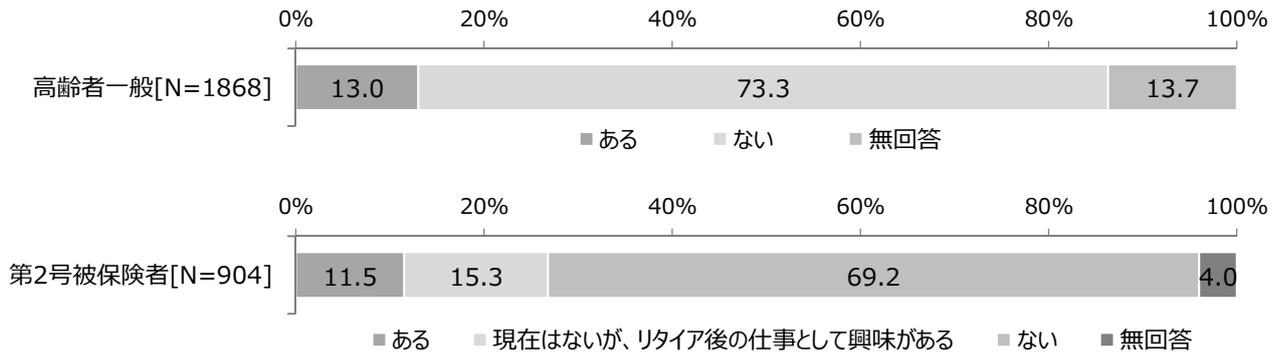


③高齡者施設等での仕事への興味

高齡者施設等で仕事をする事への興味について聞いたところ、高齡者一般では「ない」が73.3%、「ある」が13.0%となっています。

第2号被保険者では、「ない」が69.2%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が15.3%、「ある」が11.5%となっています。いずれも、生活支援事業より興味度が低くなっています。

図表 67 高齡者施設等での仕事への興味

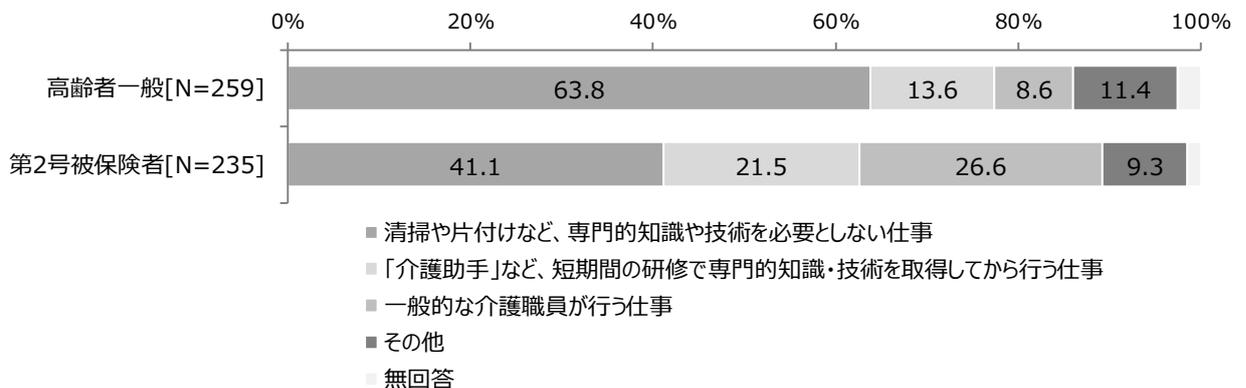


④高齡者施設等での働き方の希望

高齡者施設等で仕事することに興味があると回答した人に、その働き方の希望を聞いたところ、高齡者一般では、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が63.8%と最も多くなっています。

一方、第2号被保険者でも、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が41.1%と最も多いものの、「『介護助手』など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事」「一般的な介護職員が行う仕事」の希望も比較的多く見られます。

図表 68 高齡者施設等での働き方の希望



(8) 介護保険制度について

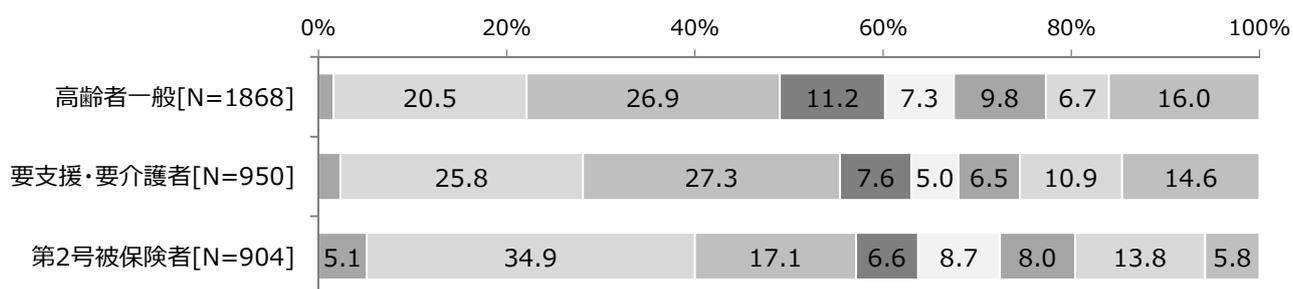
① サービスと保険料負担の考え方

サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が26.9%と最も多くなっています。要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」と「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が、ほぼ同じ割合となっています。

一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が34.9%と最も多くなっています。

介護保険料については、高齢者では、介護保険料は現状程度にすべきという人がやや多い傾向が見られますが、第2号被保険者では、介護保険料が上がってもよい・仕方ないという人が多くなっています。

図表 69 サービスと保険料負担の考え方

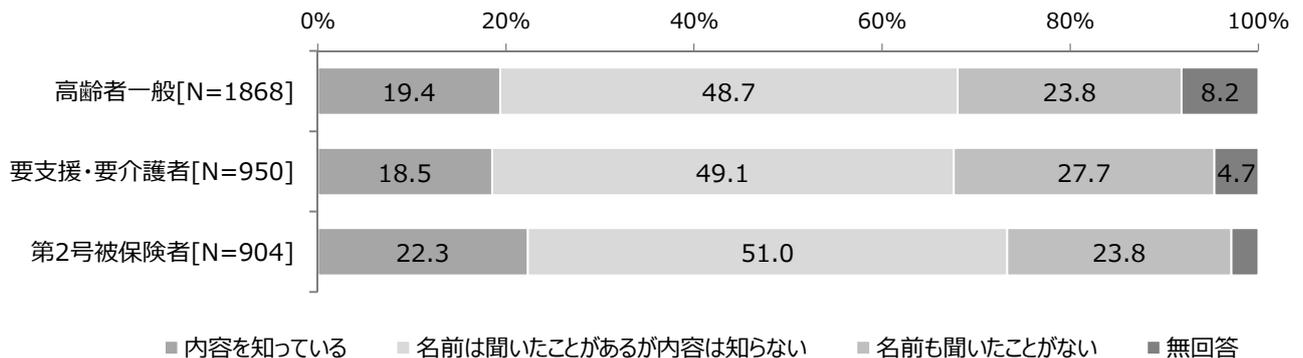


- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- 利用者の負担割合（現状1～3割負担）を上げて、サービスの内容を維持すべき
- 利用者の負担割合（現状1～3割負担）を上げて、介護保険料を下げるべき
- その他
- 無回答

② 「福祉サービス利用援助」や「成年後見人制度」の認知

福祉サービス利用援助や成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では48.7%、要支援・要介護者では49.1%、第2号被保険者では51.0%となっています。福祉サービス利用援助や成年後見制度等があることを知ってはいても、内容まで知っている人は少ないことが見てとれます。

図表 70 「福祉サービス利用援助」や「成年後見人制度」の認知

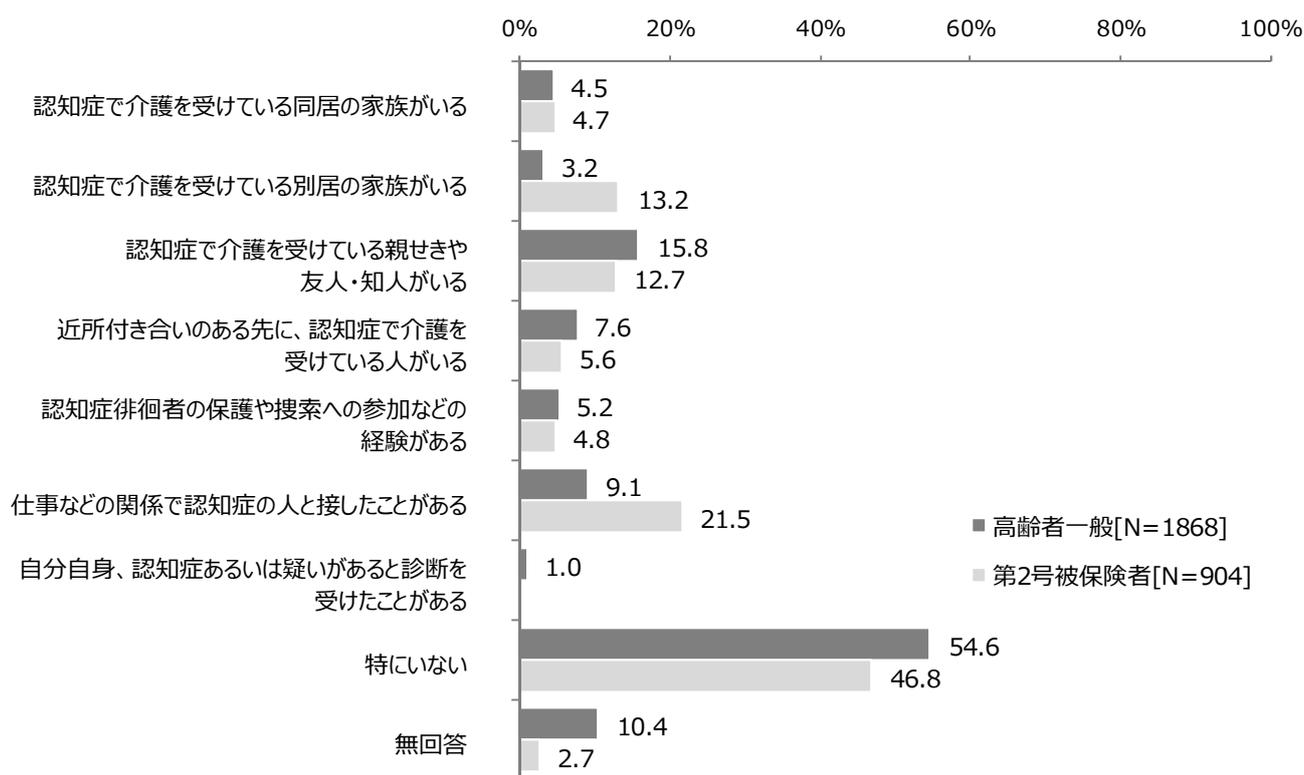


(9) 認知症について

① 認知症の人との関わり

認知症の人との関わりについては、高齢者一般、第2号被保険者とも、「特にいない」という人が多くなっています。第2号被保険者では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」という人が比較的に見られます。

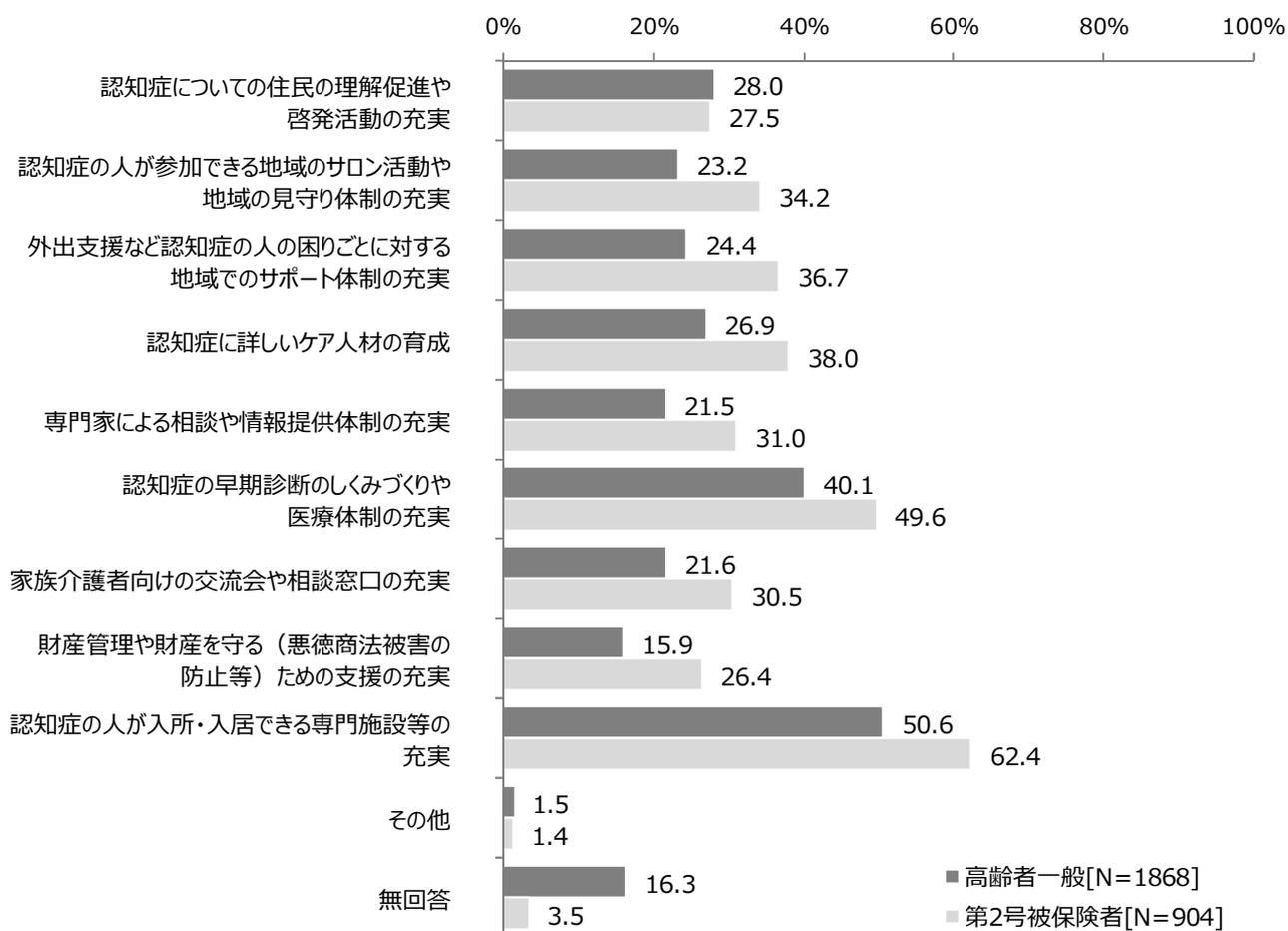
図表 71 認知症の人との関わり



②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、高齢者一般、第2号被保険者と
も、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が最も多くなっています。また、第2号被保険者で
は、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が半数程度見られます。

図表 72 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援



参考資料：アンケート調査票

ちょう さ ひょう
調 査 票

【記入に際してのお願い】

- この調査の対象者は、令和元年10月1日現在、県内にお住まいの65歳以上の方で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない方です。

◎ 調査票の文字や内容が分かりにくいときは、説明しますので、電話してください。

調査の内容などに関するお問い合わせ

高齢者等生活意識調査事務局【フリーダイヤル】0120-221-438

※受付時間：午前10時00分～午後6時00分（土・日・祝日を除く）

質問項目等の問い合わせに限らず、心身の状況により回答することが困難な場合なども、お気軽にご連絡ください。

※この調査業務は、和歌山県から株式会社ジャパン・マーケティング・エージェンシーに委託しています。調査事務局は委託先会社に設置しています。

※なお、次のような場合はご記入いただく必要はありませんので、下記に○をつけて、以降は回答せず、調査票をそのまま同封の返信用封筒でご返送ください。

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定を申請中もしくは認定済
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

■ この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、代わりにご家族の方などがご本人の立場に立ってお答えくださいますようご協力をお願いします。

■ 調査票にご回答いただきましたら、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。（切手は不要です。）

★★ 11月11日までにご投函ください ★★

【ここからご回答ください】

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

1. あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

1. 男	2. 女
------	------

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

明治・大正・昭和	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ	(満	<input type="text"/>	歳)
----------	----------------------	---	----------------------	------	----	----------------------	----

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

1. 和歌山市	2. 海南市	3. 橋本市
4. 有田市	5. 御坊市	
6. 田辺市 (旧田辺市)	7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	
8. 新宮市 (旧新宮市)	9. 新宮市 (旧熊野川町)	
10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)	
12. 岩出市	13. 紀美野町	
14. かつらぎ町	15. 九度山町	16. 高野町
17. 湯浅町	18. 広川町	19. 有田川町
20. 美浜町	21. 日高町	22. 由良町
23. 印南町	24. みなべ町	25. 日高川町
26. 白浜町	27. 上富田町	28. すさみ町
29. 那智勝浦町	30. 太地町	31. 古座川町
32. 北山村	33. 串本町	

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 単身 (ご本人ひとり)
2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上)
3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下)
4. 2世代家族 (世帯全員が65歳以上)
5. 2世代家族 (64歳以下の家族がいる)
6. 3世代家族
7. 配偶者、親または子以外の高齢者 (65歳以上) と同居
8. その他 ()

問5 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんどない	2. ときどきある	3. 常にそうである
-----------	-----------	------------

★買い物などの日常の状況、不便を感じていることなどについておたずねします。

問12 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。
(よく使う方法すべてに○)

1. 自分で店まで買いに行く
2. 家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう
3. 家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう
4. 近くの店などに注文して配達してもらう
5. 移動販売車(者)が近くに来たときに買う
6. その他()

問13 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 歩いていける範囲に、行きたい店がない
2. 買い物に行くための自転車・車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである
3. 買い物に行く交通手段がない(電車・バス・車・自転車等を含む)
4. 重い物が持てないので、一度に少量しか買えない
5. 家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある
6. 買い物を手伝ってくれる人(家族、友人・知人等)がない
7. 配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない(知らない)
8. 買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである(身体の負担が大きい)
9. 特にない
10. その他()

問14 あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 理・美容所まで行くのが困難・外出できない
2. 家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある
3. 訪問理・美容を利用したいが、利用できない(地域にサービスがないなど)
4. 訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい(予約がとりづらい、料金が高等)
5. 特にない
6. その他()

問15 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | | |
|-----------------------------|---|-------|---|-------|
| 1. 利用している | } | →問17へ | | |
| 2. 利用していたが、今は利用していない | | | | |
| 3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている | | | } | →問18へ |
| 4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない | | | | |
| 5. わからない | | | | |

→ 問16 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。次の(1)、(2)をご回答ください。

(1) 現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. つまづきやふらつきを予防するための体操・運動 |
| 2. 噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操 |
| 3. 認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室 |
| 4. 低栄養を予防する教室やバランスのとれた食事を食べる会食サービス |
| 5. ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動 |
| 6. その他 () |

(2) 現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 週に2回以上 | 2. 週1回程度 |
| 3. 月に2～3回程度 | 4. 月に1回程度 |
| 5. その他 () | |

→問18へ

問17 問15で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。

体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由を下記からご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 自宅の近くに体操教室やサロンがないから |
| 2. 知らない人ばかりいそうだから |
| 3. 健康や体力面に心配があるから |
| 4. 体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから |
| 5. 時間的な余裕がないから |
| 6. 興味・関心がないから |
| 7. その他 () |

★通院などの状況についておたずねします。

問18 あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. めったにない(年に1回あるかないか) | 2. 年に数回程度 |
| 3. 月に1回程度 | 4. 月に2~3回程度 |
| 5. 週に1回程度 | 6. 週に数回程度 |
| 7. ほぼ毎日 | |

問19 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. かかりつけの医師 | 2. かかりつけの歯科医師 |
| 3. かかりつけの薬剤師 | |

★健康についておたずねします。

問20 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

- | |
|---|
| 1. たいへん健康である |
| 2. 大した病気や障害もなく普通に生活している |
| 3. 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる |
| 4. 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である |

問21 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. ほぼ毎日、運動をしている |
| 2. 週に3~5日程度、運動をしている |
| 3. 週に1~2日程度、運動をしている |
| 4. 月に数日程度、運動をしている |
| 5. 運動はほとんどしていない |

問22 あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことが重要だと思いますか。(特に重要と思うこと5つまでに○)

1. よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える
2. バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける
3. 規則正しい生活をする
4. 睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする
5. 心の健康に気をつける
6. 定期的に健康診断を受ける
7. 身体の不調を感じたら、早めに診察を受ける
8. 歯や口腔の健康に気をつけ、定期的に検診や歯科的口腔ケアを受ける
9. 健康づくりや介護予防などについて学び、正しい知識を身につける
10. 生きがいや楽しみをもつ
11. 新しいことに挑戦するなど、前向きな気持ちをもつ
12. 近所づきあいや地域活動、趣味のサークルなど、人との交流をもつ
13. 読書をしたり、文章を書いたり、計算をするなど、頭をよく使うようにする
14. 特にない
15. その他 ()

問23 あなたは、ご自身の健康づくりや介護予防に関して、日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
2. 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
3. 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
4. 特に意識をしていない

※ロコモ予防：生活不活発病(身体を動かさないことによる運動機能の低下)を予防する取り組み
※メタボ予防：生活習慣病を予防する取り組み

★普段の暮らしぶりについておたずねします。

問24 以下の質問に、「はい」か「いいえ」で答ください。(いずれか1つに○)

(1)携帯電話を使うことができますか

1. はい 2. いいえ

(2)ATMを使うことができますか

1. はい 2. いいえ

(3)ビデオやDVD(ブルーレイ)プレーヤーの操作ができますか

1. はい 2. いいえ

(4)携帯電話やパソコンでメールができますか

1. はい 2. いいえ

(5)外国のニュースや出来事に感心がありますか

1. はい 2. いいえ

(6)健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか

1. はい 2. いいえ

(7)美術品、映画、音楽を鑑賞することがありますか

1. はい 2. いいえ

(8)教育・教養番組を視聴していますか

1. はい 2. いいえ

(9)詐欺、ひったくり、空き巣等の被害にあわないように対策をしていますか

1. はい 2. いいえ

(10)生活の中でちょっとした工夫をすることがありますか

1. はい 2. いいえ

(11)病人の看病ができますか

1. はい 2. いいえ

(12)孫や家族、知人の世話をしていますか

1. はい 2. いいえ

(13)地域の祭りや行事などに参加していますか

1. はい 2. いいえ

(14)町内会・自治会で活動していますか

1. はい 2. いいえ

(15)自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか

1. はい 2. いいえ

(16)奉仕活動やボランティア活動をしていますか

1. はい 2. いいえ

★今後の在宅での暮らし、住み替えなどについておたずねします。

問25 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

※入院中の方は、入院前のお住まいでご回答ください。

1. 戸建(持ち家)
2. 戸建(賃貸)
3. マンションなどの集合住宅(持ち家)
4. マンションなどの集合住宅(賃貸)
5. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
6. その他()

→問27へ

問26 前の問で「1. 戸建(持ち家)」、「2. 戸建(賃貸)」、「3. マンションなどの集合住宅(持ち家)」、「4. マンションなどの集合住宅(賃貸)」と答えられた方におたずねします。

次の(1)～(2)をご回答ください。

(1)あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 自宅で、在宅サービス(ホームヘルプやデイサービスなど)を利用しながら住み続けようと思う
2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
3. 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所しようと思う
4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
5. その他()

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

(2)もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(重視する項目3つ以内に○)

1. 今住んでいる場所や頼りになる人(子ども、親せきなど)の家から近いこと
2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと
3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること
4. 医療機関から近いこと
5. 交通の便や生活の利便性がよいこと
6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること
7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること
8. その他()

問27 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り(徘徊の発見、通報など)
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品(オムツ等)の支給
17. その他()

★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。

問28 現在、わが国では、多くの方が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度は関心がある |
| 3.それほど関心はない | 4.今はわからない |

問29 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問38 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実すべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
5. 利用者の負担割合(現状1～3割負担)を上げて、サービスの内容を維持すべき
6. 利用者の負担割合(現状1～3割負担)を上げて、介護保険料を下げるべき
7. その他()

問39 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等(認知症高齢者など)を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

★認知症についておたずねします。

問40 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の人とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症で介護を受けている同居の家族がいる
2. 認知症で介護を受けている別居の家族がいる
3. 認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる
4. 近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる
5. 認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある
6. 仕事などの関係で認知症の人と接したことがある
7. 自分自身、認知症あるいは疑いがあると診断を受けたことがある
8. 特にいない

問41 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実
4. 認知症に詳しいケア人材の育成
5. 専門家による相談や情報提供体制の充実
6. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
7. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
8. 財産管理や財産を守る(悪徳商法被害の防止等)ための支援の充実
9. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
10. その他()

★質問は以上です。ご回答ありがとうございました。

和歌山県高齢者等生活意識調査
(高齢者一般調査)
報告書

令和2年3月

発行：和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 長寿社会課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1